

別冊

科研費  
KAKENHI

平成28年度

科学研究費助成事業

# 科研費

公募要領

特別推進研究、基盤研究（S・A・B・C）  
挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B）

（応募書類の様式・記入要領）

平成27年9月1日

独立行政法人日本学術振興会

（<http://www.jsps.go.jp/>）



# 1 研究計画調書

## (1) 特別推進研究

研究計画調書等作成・記入要領（新規）	1
<前半部分・応募情報（Web入力項目）>	1
応募情報（Web入力項目）（画面イメージ）	4
<後半部分・応募内容ファイル>	6
応募情報（Web入力項目）の出力イメージ	10
（応募内容ファイル）様式S-1-1(1) 研究計画調書	11
（応募内容ファイル）様式S-1-1(2) 研究計画調書	14

研究計画調書等作成・記入要領（継続）	23
<前半部分・応募情報（Web入力項目）>	23
応募情報（Web入力項目）（画面イメージ）	25
<後半部分・応募内容ファイル>	26
応募情報（Web入力項目）の出力イメージ	27
（応募内容ファイル）様式S-1-2 研究計画調書	28

## (2) 基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B）

<前半部分・応募情報（Web入力項目）>	
応募情報（Web入力項目）（基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B））作成・入力要領	35
応募情報（Web入力項目）（画面イメージ）	38

<後半部分・応募内容ファイル>	
基盤研究（S）（新規）	
研究計画調書等作成・記入要領	47
応募情報（Web入力項目）の出力イメージ	50
（応募内容ファイル）様式S-1-6 研究計画調書	51
基盤研究（A・B）（一般）（新規）	
研究計画調書作成・記入要領	59
応募情報（Web入力項目）の出力イメージ	61
（応募内容ファイル）様式S-1-7 研究計画調書	63

基盤研究（C）（一般）（新規）	
研究計画調書作成・記入要領	71
応募情報（Web入力項目）の出力イメージ	73
（応募内容ファイル）様式S-1-8 研究計画調書	74

基盤研究（A・B）（海外学術調査）（新規）	
研究計画調書作成・記入要領	81
応募情報（Web入力項目）の出力イメージ	84
（応募内容ファイル）様式S-1-9 研究計画調書	86

基盤研究（B）（特設分野研究）（新規）	
研究計画調書作成・記入要領	95
応募情報（Web入力項目）の出力イメージ	97
（応募内容ファイル）様式T-1-1 研究計画調書	98

基盤研究（C）（特設分野研究）（新規）	
研究計画調書作成・記入要領	107

応募情報（Web 入力項目）の出力イメージ ······	109
(応募内容ファイル) 様式 T-1-2 研究計画調書 ······	110
挑戦的萌芽研究（新規）	
研究計画調書作成・記入要領 ······	119
応募情報（Web 入力項目）の出力イメージ ······	121
(応募内容ファイル) 様式 S-1-10 研究計画調書 ······	122
若手研究（A）（新規）	
研究計画調書作成・記入要領 ······	127
応募情報（Web 入力項目）の出力イメージ ······	129
(応募内容ファイル) 様式 S-1-12 研究計画調書 ······	130
若手研究（B）（新規）	
研究計画調書作成・記入要領 ······	137
応募情報（Web 入力項目）の出力イメージ ······	139
(応募内容ファイル) 様式 S-1-13 研究計画調書 ······	140
継続研究課題	
研究計画調書作成・記入要領 ······	147
応募情報（Web 入力項目）の出力イメージ ······	149
(応募内容ファイル) 様式 S-1-14 研究計画調書 ······	159

## 2 研究分担者承諾書

様式 C-1-1、F-1-1、Z-1-1、CK-1-1（共通）研究分担者承諾書 （他機関用） ······	163
様式 C-1-2、F-1-2、Z-1-2、CK-1-2（共通）研究分担者承諾書 （同一機関用） ······	163

## 3 補助事業完了届

様式 U-1-1 平成 27 年度補助事業完了届《補助金分》 ······	164
様式 U-1-2 補助事業完了届《基金分》 ······	167
様式 U-1-3 平成 27 年度補助事業完了届《一部基金分》 ······	170

※応募内容ファイルの様式については、本会ホームページ（以下 URL 参照）よりダウンロードできます。

(URL)

<http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/index.html>

## 平成28年度 特別推進研究 研究計画調書等作成・記入要領（新規）

- 新規・継続区分  
「新規」を選択してください。

- 継続の場合の研究課題番号  
継続応募の場合のみの入力項目ため、入力できません。

研究計画調書は、科研費の交付を申請し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」といいます。）へ提出するものであり、日本学術振興会の科学研究費委員会における審査資料となるものです。つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。  
なお、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内定の通知が行われ、この通知に基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることになります。

### 言己

※ この研究計画調書様式は、「特別推進研究」の「新規応募（研究計画最終年度前年度の応募を含む）」に際して使用する様式です。  
※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領に基づいて、研究代表者が責任をもって作成してください。なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領3.1～3.2ページを参照してください。  
※ 様式は、「I 応募情報（Web入力項目）」、「II 応募内容ファイル：【様式S-1-1（1）】（添付ファイル項目）」及び「III 応募内容ファイル：【様式S-1-1（2）】（添付ファイル項目）」からなります。所定の様式の改変は認めません。  
※ 科学研究費委員会の審査委員員及び国内の研究機関に所属する審査意見書作成者は、 「I 応募情報（Web入力項目）」及び「II 応募内容ファイル：【様式S-1-1（1）】（添付ファイル項目）」により、海外の研究機関に所属する審査意見書作成者は、「I 応募情報（Web入力項目）」により審査します。  
※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。なお、「応募情報入力」画面において、左上の「Japanese ▶ Englishボタンをクリックすると、英語表記の入力画面に切り替わります。

### I 応募情報（Web入力項目）

応募書類のうち研究計画調書の「応募情報（Web入力項目）」については、この情報に基づいて応募内容の確認及び審査資料の作成を行うため、これらの入力内容によっては当該応募研究課題が審査に付されないこいや審査の結果に影響を及ぼすことがありますので、作成に当たっては十分注意してください。  
「応募情報（Web入力項目）」は、研究代表者が所属研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより「研究費電子申請システム」（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接受入を行ふものであり、このデータは同時に研究計画調書の前半部分を兼ねることとなります。  
なお、応募情報の一部（エフォート等）は、e-Radに登録することになります。  
作成に当たっては、以下の点に留意しつつ公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持って作成してください。  
また、研究代表者の氏名や所属等については、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、確認時に誤りを見つけた場合は、入力データを一時保存した上で所属研究機関の事務局に連絡し、その指示に従ってください。

- 新規・継続区分  
「新規」を選択してください。

- 継続の場合の研究課題番号  
継続応募の場合のみの入力項目ため、入力できません。

- 研究計画最終年度前年度の応募  
「応募しない」・「応募する」のうち該当する区分を選択してください。  
また、「応募する」を選択した場合は、研究計画最終年度前年度の応募の対象となる平成28年度が最終年度である継続研究課題の課題番号を必ず入力し、「応募内容ファイル【様式S-1-1（2）】（添付ファイル項目）」の「研究計画最終年度前年度の応募を行う場合の記入事項」欄に必要事項を必ず記述してください。
- 審査希望分野（系等の区分）  
審査を希望する系等を「人文・社会系」・「理工系（数物系科学）」・「理工系（化学）」・「理工系（工学）」・「生物系」の区分から必ず一つ選択してください。
- 研究代表者氏名  
「氏名」欄は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者が正しく登録されていることを確認してください。  
なお、下段の（英語）欄には、「氏名」を姓、名の順にアルファベットで入力してください。
- 研究代表者所属研究機関・部局・職  
「所属研究機関」欄、「部局」欄及び「職」欄は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者に係る研究計画調書作成時点での正しい所属情報が登録されていることを確認してください。  
なお、下段の（英語）欄には、それぞれ英語で入力してください。

- (1) 「部局」欄について、自動表示されている部局名が実際に所属する部局名と異なる場合は、実際の部局名を入力してください。（部局レベルの所属がない場合は名称欄の入力は不要です）  
(2) 「職」欄について、自動表示されている職名が実際の職名と異なる場合は、実際の職名を入力してください。
- 研究課題名  
「研究課題名」欄には、研究期間終了時までの研究内容を具体的に表すような研究課題名（一般的、抽象的な表現は避けください。）を40字以内（全角のみ）で入力してください。  
研究課題名の変更是原則として認めません。  
入力に当たっては、濁点、半濁点はそれだけで独立して1字とはなりませんが、アルファベット、数字、記号等はすべて1字として表記されることは留意し、化学式、数式の使用は極力避けしてください（表示例  $C_{a^{2+}} \rightarrow C_{a^2+}$ ）。  
なお、下段の（英語）欄には、英語で200字以内（半角のみ）で入力してください。全角の記号等は入力できません。
- 研究経費  
「研究経費」欄には、研究計画に基づき、年度別・使用内訳別に応募研究経費を入力してください。その際、以下に記載している「対象となる経費（直接経費）」及び「対象となら

ない経費」に留意してください。また、研究期間のいすれかの年度における研究経費の額が、10万円未満の研究計画は公募の対象となりませんので、ご注意ください。

年度ごと、使用内訳ごとの合計額については、入力後の確認画面において自動表示されますので、入力した金額と併せて確認してください。

入力に当たっては、金額を「人件費・謝金」と「旅費」又は「人件費・謝金」と「旅費」又は「人件費・謝金」と併せて切り捨ててください。

また、①応募する年度において該当しない費目、②応募しない年度の全ての費目について、必ず全ての欄に「0」を入力してください。

なお、下段には、1ドル＝120円で換算された金額が自動表示されます。

「対象となる経費(直接経費)」<sup>1</sup> 研究計画の遂行に必要な経費 (研究成果の取りまとめに必要な経費を含む) を対象とします。

研究計画のいすれかの年度において、「設備品費」、「旅費」又は「人件費・謝金」のいずれかの経費が90%を超える研究計画及びその他の費用で特に大きな割合を占める経費がある研究計画の場合は、当該経費の研究遂行上の必要性について、研究計画調書に記載しなければなりません。

#### 「対象とならない経費」

次の経費は対象となりません。

- ① 建物等の施設に関する経費 (直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な経費等のための経費を除く。)
  - ② 補助事業遂行中に発生した事故・災害の処理のための経費
  - ③ 研究代表者又は研究分担者の人件費・謝金
  - ④ その他、間接経費 (注) を使用することが適切な経費
- (注) 研究計画の実施に伴う研究機関の管理等に必要な経費 (直接経費の30%に相当する額) であり、研究機関が使用するものです。
- 今回、公募を行いうる研究種目には間接経費が措置される予定ですが、研究代表者は、間接経費を応募書類に記載する必要はありません。

#### 9. 関連研究分野研究者 (PDFファイルには出力されません)

「関連研究分野研究者」欄には、当該応募研究課題の関連分野に最も精通し、かつ、当該応募研究課題の研究内容を的確に評価できると思われる研究者の情報と、国内の研究機関に所属する研究者（3名。原則として、科研費の応募資格を有する者（公募要領1.6-ページを参照））及び海外の研究機関に所属する研究者（3名以上5名以内）のそれぞれについて入力してください。（なお、国内の研究機関に所属する研究者については「氏名」「所属研究機関」「職」が、海外の研究機関に所属する研究者については「氏名」「所属研究機関」「Email」が、それぞれ必須の入力項目となります）。

入力した国内及び海外の関連研究分野研究者たち、各1名程度に審査意見書の作成を依頼する予定です。

ただし、本応募研究課題の同一研究組織内の研究者、研究代表者本人と同一機関に所属する研究者及び下記の①から⑤に該当する者を除きます。

① 親族関係もしくはそれと同等の親密な個人的関係

② 緊密な共同研究を行ふ関係

（例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆もしくは同一目的の研究会メンバーにおいて、緊密な関係にある者）

③ 同一研究単位での所属関係（同一講座の研究者等）

原則として全ての研究課題について、海外の研究者による審査意見書の作成を行いますが、研究代表者が海外の研究者による審査が難しい又は適当ではないと判断する場合には、「海外の研究者による審査の適否」欄は、「適当でない」を選択するとともに、その理由を「**Ⅲ.応募内容**」欄に記述してください。

その理由欄に記述して下さい。この場合、Web入力項目のうち、「審査意見書作成者としてふさわしいと思われる海外の研究機関に所属する関連研究分野研究者」欄及び「海外の研究機関に所属する研究者として避けてほしい者」欄に、それぞれ入力してください（任意、各3名まで）。

#### 10. 関連研究分野(細目)

「関連研究分野(細目)」欄には、当該応募研究課題の研究内容に最も関連が深いと思われる分野・分科・細目を2つまで選定し（最低1つは選定してください）、関連が深い順に入力してください。

細目番号一覧は入力画面から呼び出すことができます。また、公募要領（3.5～3.9ページ）にも掲載していますので適宜参照してください。

#### 11. 研究代表者連絡先 (PDFファイルには出力されません)

「研究代表者連絡先」欄には、研究代表者と直接連絡が必要な場合に備えた情報を入力してください（例えは勤務先住所は、本部所在地ではなく研究代表者が実際に勤務するキャンパスの所在地を入力してください。）。

#### 12. 研究組織

「研究代表者」、「応募者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義は、次のとおりです。

##### 「研究代表者」(応募者)

ア 研究代表者は、補助事業者であり、研究計画の遂行（研究成果の取りまとめを含む。）に關してすべての責任を持つ研究者のことをいいます。  
イ なお、研究期間中に応募資格の喪失などの理由により、研究代表者としての責任を果たせなくなることが見込まれる者は、研究代表者となることを避けください。(注)

(注) 研究代表者は、研究計画の遂行に關してすべての責任を持つ研究者であり、重要な役割を担っています。応募に当たっては、研究期間中に退職等により応募資格を喪失し、責任を果たせなくなることが見込まれる者は研究代表者となることを避けよう。

求めており、研究代表者を交換することは認めません。  
ただし、「新学術領域研究（研究領域提案型）」の総括研究室課題及び「生命科学系3分野支援活動」については、研究代表者（領域代表者）の交替を認められます。

イ 研究代表者は、研究組織を構成する場合には、研究分担者との関係を明らかにするため、当該研究分担者が異なる研究機関に所属する者の場合には、「研究分担者承諾書（他機関用）」を、同じ研究機関に所属する者の場合には、「研究分担者承諾書（同一機関用）」を必ず微し、保管しておかなければなりません。

ウ 研究代表者は、e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されているほか、科研費やそれ以外の競争的資金で、不正使用、不正受給又は不正行為を行ったとして、平成 28 年度に、「その交付の対象としないこと」とされていなことが必要です。

#### 「研究分担者」

ア 研究分担者は、補助事業者であり、研究計画の遂行に関して研究代表者と協力しつつ、補助事業としての研究遂行責任を分担して研究活動を行う者のことをいい、分担金の配分を受ける者でなければなりません（研究代表者と同一の研究機関に所属する研究分担者であっても、分担金の配分を受けなければなりません。）。なお、研究期間中に応募資格の喪失などの理由により、研究分担者としての責任を果たせなくなることが見込まれる者は、研究分担者となることを避けてください。

イ 研究分担者は、研究代表者と同様、e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されているほか、科研費やそれ以外の競争的資金で、不正使用、不正受給又は不正行為を行ったとして、平成 28 年度に、「その交付の対象としないこと」とされないことが必要です。

#### 「連携研究者」

ア 連携研究者は、研究分担者又は研究分担者の監督の下、研究組織の一員として研究計画に参画する研究者のことをいいます。

イ 連携研究者は、研究代表者及び研究分担者と同様、e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されていることがあります。

※ 「研究分担者」と「連携研究者」の違いは、科研費制度上の位置付けの違いです。

あつて、研究活動における役割の重要性は同じです。

#### 「研究協力者」

ア 研究協力者は、研究代表者、研究分担者及び連携研究者以外の者で、研究課題の遂行に当たり、協力をを行う者のことをいいます。（例：ボストン・リサーチアシスタント（RA）、日本学術振興会特別研究員（DC）及び研究従事機関として本会に届け出ている研究機関において応募要件を満たさない S.P.D・P.D・R.P.D）、外国の研究機関に所属する研究者（海外共同研究者）、科学研究費補助金取扱規程第 2 条に基づく指定を受けない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者等）

イ 研究協力者は、必ずしも e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されている必要はありません。

また、「研究組織」は、次のことに留意して入力してください。

- (1) 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）の「人材欄」は、入力画面左側の「追加」ボタンを入数分押すごとでデータ入力欄が表示されます。  
使用しないデータ入力欄（入力したが使いしない場合や全く入力しなかった場合）については、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除してください。  
画面最下部に表示される「研究組織人数」欄は、データ入力欄の数により自動表示されます。
- 「研究組織人数」欄の数字と実際に入力したデータの合計人数が合わない場合は、入力後の確認画面においてエラーが表示されますので、入力しなかったデータ入力欄は必ず削除してください。

#### (2) 研究分担者、連携研究者の別

- 「区分」欄には、「研究分担者」、「連携研究者」のうち該当する区分を選択してください。
- (3) 海外共同研究者や科研費への応募資格を有しない企業の研究者等との共同研究を含む場合、これらの研究者は「研究協力者」となることから、当該研究課題の研究組織には入力せず、研究計画調書等作成・記入要領の指示に従い、作成する研究計画調書の「研究計画・方法」欄等、全体の研究計画を説明する中で記載してください。
- (4) 研究者情報 (1)「研究者番号」、(2)「氏名（フリガナ・英語）」、(3)「年齢（平成 28 年 4 月現在）」、(4)「所属研究機関・部局・職」、(5)「現在の専門」及び(6)「学位」は、当該研究者に応する正確な情報を、各研究者本人及び研究者の所属研究機関事務局に確認のうえ、入力または選択してください（所属研究機関・部局・職の番号一覧は、入力画面から呼び出すことができます。）。
- ただし、研究代表者に係る情報のうち(1)(2)(3)(4)は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者の情報が正確に登録されていることを確認してください。
- (5)「部局」欄について、部局番号一覧の名称が実際に所属する部局名と異なる場合は、実際の部局名を入力してください（部局レベルの所属がない場合は各称欄には入力不要です。）。
- (6)「職」欄について、職番号一覧の名称が実際の職名と異なる場合は、実際の職名を入力してください。
- (7)「役割分担」欄には、平成 28 年度の研究実施計画に対する分担事項を中心いて、研究代表者、研究分担者及び連携研究者がどのように協力して研究を行うのか、それぞれの関連がわかるように入力してください。
- (8)「平成 28 年度研究経費」欄は、研究計画に基づき、研究代表者及び研究分担者への配分額を千円単位で入力してください（連携研究者については分担金の配分ができるまで入力不要です。）。
- また、各研究者への配分額の合計金額が「8. 研究経費」の「平成 28 年度の研究経費欄の合計金額」と一致するようにしてください（一致しない場合は、入力後の確認画面においてエラーが表示されます。）。
- (9)「エフォード」欄は、研究代表者及び研究分担者について、本応募研究課題が採択された場合を想定した時間の配分率（1～100 の整数）を入力してください（連携研究者については入力不要です。）。
- 時間の配分率の決定にあたっては、総合科学技術会議におけるエフォードの定義である「研究者の年間の全仕事時間を 100 %とした場合、そのうち当該研究の実施に必要な時間の配分率 (%)」という考え方で決定してください。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。
- また、本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォードを

## 応募情報（W eb入力項目）画面イメージ【特別推進研究】①

(1 O) (英語) と表記された各欄には、それぞれの項目の英訳を入力してください。

**1.3 応募内容ファイル選択**

「(1) 作成した応募内容ファイル (Word又はPDF) を選択してください」欄には、「応募内容ファイル：【様式S-1-1-(1)】(添付ファイル項目)」をアップロードしてください。また、ファイル名は必ず「en」(大文字でも可)で始めるようにしてください。

「(2) 作成した応募内容ファイル (Word又はPDF) を選択してください」欄には、「応募内容ファイル：【様式S-1-1-(2)】(添付ファイル項目)」をアップロードしてください。また、ファイル名は必ず「jp」(大文字でも可)で始めるようにしてください。

※(1)のいた項目は新規、既存どちらも必須項目です。  
 ● 人件費に定められた機会が得られない場合があります。該用「時限料」がかかる場合で、  
 機会を保有していくため、できるだけ早く提出して下さい。  
**複数のコード(種類)を並んで用意するとき、システムが正常に動作しない場合があります。複数のコードでのご利用は控えください。**

<注意事項>

- ※(2)のいた項目は新規、既存どちらも必須項目です。
- 人件費に定められた機会が得られない場合があります。該用「時限料」がかかる場合で、機会を保有していくため、できるだけ早く提出して下さい。
- 複数のコード(種類)を並んで用意するとき、システムが正常に動作しない場合があります。複数のコードでのご利用は控えください。

● 応募情報を表示して次へ進む

● 一時保存

● 画面を表示してから39分経過

● 保存せずに戻る

平成28年度(2016年度)特別推進研究 研究計画開示

\* (※他には、該用機会が得られない場合は該用機会を削除します。)

新規・複数区分

※ (※他には、該用機会が得られない場合は該用機会を削除します。)

複数の場合の研究課題番号

※ (複数場合の研究課題番号)

研究計画最終年度前年度の応募

(平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画の課題番号を入力)

審査希望分野(分野の区分)

\* (平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画の課題番号を入力)

研究代表者氏名  
(漢字等、代表一部)(英語)(姓)(名)

所属研究機関  
(番号)989899  
(日本語)AAA大学  
(英語)AAA University

部門  
(番号)9899  
(日本語)〇〇部  
(英語)

職  
(番号)20  
(日本語)教授  
(英語)

研究課題番号  
\* (日本語)  
(英語)  
(半角英数字以内。)

一時保存

年度	研究経費	単位(上段:千円、下段:USD)	1ドル120円で自動換算されます。			
	設備備品費	消耗品費	旅費	人件費	謝金	その他
平成28年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*
平成29年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*
平成30年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*
平成31年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*
平成32年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*
総計	0	0	0	0	0	0

【研究経費(千円未満の端数は切り捨ててる)] (0の場合は入力すること。)

画面を表示してから29分経過

一時保存

決定していたとき、e-Radに登録することとなります。

### 1.3. 応募内容ファイル選択

「(1) 作成した応募内容ファイル (Word又はPDF) を選択してください」欄には、「応募内容ファイル：【様式S-1-1-(1)】(添付ファイル項目)」をアップロードしてください。また、ファイル名は必ず「en」(大文字でも可)で始めるようにしてください。

「(2) 作成した応募内容ファイル (Word又はPDF) を選択してください」欄には、「応募内容ファイル：【様式S-1-1-(2)】(添付ファイル項目)」をアップロードしてください。また、ファイル名は必ず「jp」(大文字でも可)で始めるようにしてください。

※(1)のいた項目は新規、既存どちらも必須項目です。

- 人件費に定められた機会が得られない場合があります。該用「時限料」がかかる場合で、機会を保有していくため、できるだけ早く提出して下さい。
- 複数のコード(種類)を並んで用意するとき、システムが正常に動作しない場合があります。複数のコードでのご利用は控えください。

● 応募情報を表示して次へ進む

● 一時保存

● 画面を表示してから39分経過

● 保存せずに戻る

平成28年度(2016年度)特別推進研究 研究計画開示

\* (※他には、該用機会が得られない場合は該用機会を削除します。)

新規・複数区分

\* (※他には、該用機会が得られない場合は該用機会を削除します。)

複数の場合の研究課題番号

\* (複数場合の研究課題番号)

研究計画最終年度前年度の応募

(平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画の課題番号を入力)

審査希望分野(分野の区分)

\* (平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画の課題番号を入力)

(フリガナ)ダイゴウイチロウ

(漢字等、代表一部)(英語)(姓)(名)

所属研究機関

(番号)989899  
(日本語)AAA大学  
(英語)AAA University

部門

(番号)9899  
(日本語)〇〇部  
(英語)

職

(番号)20  
(日本語)教授  
(英語)

(日本語)  
(英語)  
(半角英数字以内。)

【研究経費(千円未満の端数は切り捨てる)] (0の場合は入力すること。)

画面を表示してから29分経過

一時保存

## 応募情報（Web 入力項目）画面イメージ【特別推進研究】②

【審査意見書作成者としてふさわしいと思われる国内の研究機関に所属する関連研究分野研究者】※PDFファイルにて提出されません。						
氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門	連絡先	Email
【海外の研究機関に所属する研究者で審査意見書作成者として選ばれました（任意）】※PDFファイルにて提出されません。						
氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門	連絡先	Email
【海外の研究機関による審査の適否】 □是外の研究機関による審査を受けることとなるので、適当であるを選択すること。 □海外の研究者による審査の適当な場合に、研究計画調書にその理由を入力すること。						
【審査意見書作成者としてふさわしいと思われる海外の研究機関に所属する関連研究分野研究者】※PDFファイルにて提出されません。						
氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門	連絡先	Email
【海外の研究機関に所属する研究者で審査意見書作成者として選ばれました（任意）】※PDFファイルにて提出されません。						
氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門	連絡先	Email
【関連研究分野（細目）】 (1)ご専門分野の深い研究分野 (2)ごに開拓の深、研究分野を入力すること。 新規の場合、少なみども(1)は選択すること。)						
細目番号	(1)	(2)				
分野						
分野						
細目						
【研究代表者連絡先】 〒* (住所)* 電話番号:* FAX番号: Email:* ※PDFには登録されません。						
画面を表示してから20分経過 一時保存						

【研究組織・研究会員（代表者・研究分担者及び連携研究者）】 ※追加登録ボタンを押すと連携研究者が登録できます。 ※新規登録の場合は、新規登録ボタンを押すと登録が開始されます。 ※既存登録の場合は、既存登録ボタンを押すと登録が完了します。						
区分	氏名（年齢）		現までの専門		研究者登録 年度別登録 (U.S.)	
			1.現までの専門 2.専門 3.教員分担		平成28年度 平成29年度 (U.S.)	
<input checked="" type="checkbox"/>	1.番号: 99999999 研究者番号 (99999999) 研究所等代表 (Dainippon Ichirou) (英語)001教授		1.* (英語)		1.* (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	2.番号: 9999 AAA大学 AAU Department (英語)一郎 (英語)001教授		2.* (英語)		2.* (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	3.番号: 20 教授 Professor (英語)		3.* (英語)			
*研究者番号						
<input checked="" type="checkbox"/>	(英語)		1.番号: (英語)		1.* (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(日本語) (英語)		2.番号: (日本語) (英語)		2.* (日本語) (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(漢字等) (注)* (英語)		3.* (注)* (英語)		3.* (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(年齢) 才 (英語)		4.* (年齢) 才 (英語)		4.* (年齢) 才 (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(性別) 男 (英語)		5.* (性別) 男 (英語)		5.* (性別) 男 (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(年齢) 才 (英語)		6.* (年齢) 才 (英語)		6.* (年齢) 才 (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(年齢) 才 (英語)		7.* (年齢) 才 (英語)		7.* (年齢) 才 (英語)	
研究組織人数 3名 画面を表示してから20分経過 一時保存						

【研究組織・研究会員（代表者・研究分担者及び連携研究者）】 ※追加登録ボタンを押すと連携研究者が登録できます。 ※新規登録の場合は、新規登録ボタンを押すと登録が開始されます。 ※既存登録の場合は、既存登録ボタンを押すと登録が完了します。						
区分	氏名（年齢）		現までの専門		研究者登録 年度別登録 (U.S.)	
			1.現までの専門 2.専門 3.教員分担		平成28年度 平成29年度 (U.S.)	
<input checked="" type="checkbox"/>	1.番号: 99999999 研究者番号 (99999999) 研究所等代表 (Dainippon Ichirou) (英語)001教授		1.* (英語)		1.* (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	2.番号: 9999 AAA大学 AAU Department (英語)一郎 (英語)001教授		2.* (英語)		2.* (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	3.番号: 20 教授 Professor (英語)		3.* (英語)			
*研究者番号						
<input checked="" type="checkbox"/>	(英語)		1.番号: (英語)		1.* (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(日本語) (英語)		2.番号: (日本語) (英語)		2.* (日本語) (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(漢字等) (注)* (英語)		3.* (注)* (英語)		3.* (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(年齢) 才 (英語)		4.* (年齢) 才 (英語)		4.* (年齢) 才 (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(性別) 男 (英語)		5.* (性別) 男 (英語)		5.* (性別) 男 (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(年齢) 才 (英語)		6.* (年齢) 才 (英語)		6.* (年齢) 才 (英語)	
<input checked="" type="checkbox"/>	(年齢) 才 (英語)		7.* (年齢) 才 (英語)		7.* (年齢) 才 (英語)	
研究組織人数 3名 画面を表示してから20分経過 一時保存						

## II 応募内容ファイル：【様式S-1-1(1)】（添付ファイル項目）

以下の項目は、「応募内容ファイル」：【様式S-1-1(1)】（添付ファイル項目）」の内容であり、後述する「応募内容ファイル」：【様式S-1-1(2)】（添付ファイル項目）とともに、研究計画調書（PDFファイル）の後半部分を構成することになります。

- このファイルの内容は、海外の研究機関に所属する審査意見書作成者が、あるか
- ① 当該研究者が当該研究分野において国際的に高い評価を得ているか
- ② 当該研究分野の現状と動向の中で当該研究課題が国際的に高い評価を得られるものであるか

について審査を行うための資料となるほか、後述する「応募内容ファイル」：【添付ファイル項目】」と合わせて、科学研究費委員会の審査委員及び国内の研究機関に所属する審査意見書作成者が行う審査に付されるものです。

研究代表者は、「応募内容ファイル」：【様式S-1-1(1)】（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学費助成事業から様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください。（3MB以上のファイルは添付不可）。

このファイルについては、記入は全て英語で行き、原則として使用する文字サイズ及びフォントは、それぞれ10ポイント以上、「Century」としてください。

ただし、「海外の研究者による審査の適否」欄で「適当でない」に該当する場合は、2.  
「CURRICULUM VITAE」欄のみを記入してください（この場合、記入は日本語で構いません）。

なお、「応募内容ファイル」（Word又はPDF）を選択してください」欄にアップロードしてください。また、「ファイル名は必ず「en」（大文字でも可）で始めようにしてください。

※ 電子申請システム上に添付する際は、記入済みのファイルを、「応募内容ファイル選択」の「(1) 作成した応募内容ファイル（Word又はPDF）を選択してください」欄にアップロードしてください。また、「ファイル名は必ず「en」（大文字でも可）で始めようにしてください。

### 1. 「PROJECT DESCRIPTION」欄

本欄は、海外の審査意見書作成者が前述の①及び②の点を審査する上で参考にするものです。このことを念頭に、(1) この提案に至るまでの研究の背景・経緯（これまでの研究代表者等の研究成果を含む）、(2) 本提案の必要性・重要性及び当該学問分野での位置付け、(3) それを踏まえてこの提案が目指す到達目標を、関連する文献を適宜引用（卷号を明記しつつ、英語で簡潔に（全体で2ページ以内に収まるよう）記述してください）。

なお、ここでは、その漏洩が応募者に重大な不利益を与えるような機密な研究アイディア等について、記述する必要はありませんので、十分に注意してください。

応募研究課題の詳細は、「応募内容ファイル」：【様式S-1-1(2)】（添付ファイル項目）」の各欄に記述してください。

### 2. 「CURRICULA VITAE」欄

下記の指示及びそれとの記入欄に記載されている指示に従い、研究代表者、研究分担者二と（研究組織欄に記載の順番）に別ページで作成してください。

なお、特別推進研究は一人又は比較的少人数の研究者で組織する研究計画を対象としていることから、研究組織の一員として参画する連携研究者についても必要に応じて作成してください。

また、下記（1）～（5）の様式は、一体となるものですので、研究者ごとにまとめてく

ださい。

〔例〕 研究組織が、研究代表者、研究分担者①、研究分担者②の場合

〔研究代表者〕	特推1-3
〔研究分担者①〕	特推1-3
〔研究分担者②〕	特推1-3
	特推1-5

〔研究代表者〕	特推1-3
〔研究分担者①〕	特推1-3
〔研究分担者②〕	特推1-3
	特推1-5

〔研究代表者〕	特推1-3
〔研究分担者①〕	特推1-3
〔研究分担者②〕	特推1-3
	特推1-5

〔研究代表者〕	特推1-3
〔研究分担者①〕	特推1-3
〔研究分担者②〕	特推1-3
	特推1-5

〔研究代表者〕	特推1-3
〔研究分担者①〕	特推1-3
〔研究分担者②〕	特推1-3
	特推1-5

※ 特推1-4-（）の（）内には、研究者ごとに1から順に通し番号を記入してください。

(1) 「Age」欄には、平成28年4月1日現在の年齢を記入してください。  
〔Institution (University, College, etc.), Academic Unit (School, Faculty, etc.) & Position」欄には、研究計画書作成時点の所属研究機関・部・職を記入してください。

(3) 「Research Careers and Experience」欄には、最終学校卒業後の主たる研究歴を、

現在から順に年度をさかのぼって記入してください。

(4) 「RECENT RESEARCH ACTIVITIES I (Publications)」欄には、応募研究課題の内容に限ることなく、これまでに発表した論文、著書（教科書、学会抄録、講演要旨は除く）、産業財産権等のうち主要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年（曆年）毎に区分（線は移動可）し、通知番号を付して3ページ以内で記入してください。研究業績については、主に2011年以降の業績を中心に記入してください。それ以前の業績であっても本研究に深く関わるものや今までに発表した主要な論文等（10件以内）を記入しても構いません。

なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。また、参考論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください（各項目が記載されなければ項目の順序を入れ替えてても可）。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、「掲載されている順番／全著者数」のように記入）して也可。研究代表者には二重下線を、研究分担者等には一重下線を付してください。なお、応募研究課題に関係するものについてauthorには左に\*印を付してください。  
〔authorには左に+印を付してください。〕

(5) 「RECENT RESEARCH ACTIVITIES II (Invited Lectures and Talks, Prizes, etc.)」欄には、主に2011年以降を中心として特に重要な国際学会での招待講演・受賞歴などから、主要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年(毎年)毎に区分(線は移動可)し、1ページ以内で記入してください。特に記載するものがない場合は空欄でも構いません。

なお、国際学会での招待講演については、国際学会等の名称、開催日時・場所、講演題目等を記入し、受賞歴については、賞の名称等を記入し、応募研究課題に関係するものについては、最初に+を付してください。

※ 電子申請システム上に添付する際は、記入済みのファイルを、「応募内容ファイル選択」の「(2)作成した応募内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください」欄にアップロードしてください。また、ファイル名は必ず「jp」(大文字でも可)で始めるようにしてください。

### III 応募内容ファイル：【様式 S-1-1 (2)】(添付ファイル項目)

(5) 「応募内容ファイル：【様式 S-1-1 (2)】(添付ファイル項目)」の以下の項目は、「応募内容ファイル：【様式 S-1-1 (2)】(添付ファイル項目)」の内容であり、研究計画調書（PDFファイル）の後半部分を構成することになります。

研究代表者は、「応募内容ファイル：【様式 S-1-1 (2)】(添付ファイル項目)」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください。(3MB以上のファイルは添付不可)。

#### 1. 全体研究計画

全体の研究計画を、下記の指示及びそれぞれの記入欄に記載している指示に従い、下記(1)～(9)については、1.1ボタン以上のお文字等を使用して記入してください。  
また、下記(1)～(8)の各欄については、ページを追加しても差し支えありませんが、(1)～(8)全体で1.4ページを超えないように要点をまとめてください。  
なお、次のようないくつかの研究計画は公募の対象としていませんので、ご注意ください。

- ① 単に既製の研究機器の購入を目的とする研究計画
- ② 他の経費で指置されるのがふさわしい大型研究装置等の製作を目的とする研究計画
- ③ 商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究計画(商品・役務の開発・販売等に係る市場動向調査を含む。)
- ④ 業として行う受託研究
- ⑤ 研究期間のいざれかの年度における研究経費の額が1.0万円未満の研究計画  
また、今回応募する研究種目について、「競争的資金の適正な執行に関する指針」(公募要領5ページ参照)に示される「不合理な重複」の考え方に関する場合には、審査の段階で「不合理な重複」と判断される可能性がありますので、研究計画調書を作成する際には、十分に御留意ください。

##### (1) 「研究目的」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

##### (2) 「研究の必要性」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

##### (3) 「応募者のこれまでの研究成果を引用した他の研究者の論文」欄

- (1) 及び (2) に關係する当該論文について、研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

##### (4) 「研究計画・方法」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

##### (5) 「今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況等」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。  
なお、科研費は国民から徴収された税金等でまかなく説明するものであるため、研究者は、その研究結果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められています。このため、研究結果を社会・国民に発信する方法(例えば、ホームページの作成、研究成果広報用パンフレットの作成、公開行事等への参加、マスメディアへの発表予定)等についても記述してください。(公募要領8～9ページ参照)

(6) 「これまでに受けた研究費とその成果等」欄  
研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。

(7) 「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性」欄  
研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。  
なお、該当しない場合は、その旨記述してください。

(8) 「研究計画最終年度の応募を行いう場合の記入事項」欄  
研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。  
なお、該当しない場合は、その旨記述してください。

(9) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄

該当者は、研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。  
なお、該当しない場合は、その旨記述してください。

(10) 「研究施設」欄

この研究計画のために利用可能な主な研究室・実験室について記入してください。  
なお、共同利用施設や他の研究計画と共に利用する場合は、週当たり利用可能時間、その他他の説明を備考欄に記入してください。

(11) 「現有設備」欄

この研究計画のために利用可能な機器類について記入してください。  
なお、共同利用設備や他の研究計画と共に利用する場合は、週当たり利用可能時間、そ  
の他の説明を備考欄に記入してください。

(12) 「設備備品費の明細」欄

研究計画調書に記載されている指示に従い、年度ごとに区分し、金額の合計も記入して  
ください。記入欄（年度ごとの枠）については、記述量に合わせて調整しても構いません  
が、3ページ以内に収まるようにしてください。  
なお、研究期間の最終年度に設備備品を購入する場合は、当該年度の「必要性・妥当性  
等」欄に、必要な理由を記入してください。

(13) 「消耗品費等の明細」欄

次のこととに留意して、年度ごとに区分し、金額の合計も記入してください。  
1. 消耗品費は、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名ごとに記入してください。  
2. 旅費は、国内旅費及び国外旅費に分けて、研究代表者、連携研究者及び  
研究協力者の海外・国内外出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）  
のための経費（交通費、宿泊費、日当）等その事項ごとに記入してください。  
3. 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケート  
の配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者（ポストドクター・リサーチアシス  
タント(RA)・外国の機関に所属する研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者  
派遣業者への支払いのための経費等その事項ごとに記入してください。  
(例：資料整理（内訳：○人×○月）・△△△千円)

4. その他は、上記のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・  
焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設  
において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール  
類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具  
等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究結果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ  
作成費用、研究成 果広報用パンフレット制作費用、一般市民を対象とした研究成果  
広報活動費用等）、実験廃棄物処理費等その事項ごとに記入してください。  
なお、記入欄（年度ごとの枠）については、記述量に合わせて調整しても構いません  
が、3ページ以内に収まるようにしてください。

(14) 「応募総額が5億円を超える理由」欄  
該当する場合、研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。

2. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

- 研究代表者及び研究分担者ごと（研究組織欄に記載の順番）に別ページで、応募時点における「（1）応募中の研究費」、「（2）受入予定の研究費」、「（3）その他活動」のそれについて、研究計画調書に記載の注意事項と、次のことに留意して記入してください。
- ・「（1）応募中の研究費」、「（2）受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。
  - ・複数の研究費を記入する場合は、枠を追加して記入してください。
  - ・所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても、「（1）応募中の研究費」又は「（2）受入予定の研究費」欄に記入してください。
  - ・所属研究機関の特定の目的（ミッション）に沿つて行われるプロジェクト研究に参加している場合に、配分される研究費についても「（1）応募中の研究費」又は「（2）受入予定の研究費」欄に記入してください。
  - ・なお、個人へ配分される研究費が明確でない場合は、その旨を「I：研究内容の相違点」欄に記入してください。
  - ・所属研究機関内で、研究活動等を職務として行うため一律に配分されるような基盤的経費については、「（1）応募中の研究費」又は「（2）受入予定の研究費」に記入する必要はありませんが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフォートは、「（3）その他の活動」欄に記入してください。
  - ・科研費の連携研究者として参画している研究課題に係るエフォートは、「（3）その他の活動」に記入してください。
  - ・研究分担者が日本学術振興会特別研究員（SPD、PD、RPD）であって、平成28年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合には、「（2）受入予定の研究費」に記入してください。なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金（研究遂行経費）についても、記入しないでください。
  - ・連携研究者については、記入する必要はありません。
  - ・右上の「特推2-1-4-( )」の( )内には、次のとおり研究代表者から順に通し番号を記入してください。

例) 研究組織が、研究代表者、研究分担者①、研究分担者②の場合	特推2-1-4-(1)
【研究代表者】	特推2-1-4-(2)
【研究分担者①】	特推2-1-4-(3)
【研究分担者②】	特推2-1-4-(4)
【研究分担者】	特推2-1-4-(5)
【研究分担者】	特推2-1-4-(6)

- (1) 「資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）」  
研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。なお、科研費の場合には  
研究種目・審査区分名（新学術領域研究（研究領域提案型）にあつては、「計画研究・公  
募研究」の別を含む。）及び研究期間の分記入してください。ただし、特別研究員奨励費  
については、課題番号も記入してください。

(例1) 基盤研究(C) 評查区分「一般」で研究期間が平成27～30年度  
→ 基盤研究(C) (一般) (H27～30)

- (例 2) 挑戦的萌芽研究で研究期間が平成 28～30 年度  
→ 挑戦的萌芽研究 (H28～30)
- (例 3) 新学術領域研究 (研究領域提案型) の計画研究で研究期間が平成 28～  
32 年度  
→ 新学術領域研究 (研究領域提案型) (計画研究) (H28～32)
- (例 4) 特別研究員奨励費で研究期間が平成 27～29 年度  
→ 特別研究員奨励費 (H27～29) 15,112345

(2) 「研究課題名 (研究代表者氏名)」

研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、( ) 書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

(3) 「役割 (代表・分担の別)」

当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

(4) 「平成 28 年度研究経費 (期間全体の額) (千円)」

平成 28 年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額 (応募中のものは応募額) を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額 (予定額) を下段に( )書きで記入してください。

また、本人が研究分担者等の場合は、平成 28 年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額 (予定額) を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の総額 (予定額) を下段に( )書きで記入してください (分担金が配分されない場合は、それぞれ「0」を記入してください)。

なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を、「本応募研究課題と当該研究課題との関係」欄の「I：研究内容の相違点」に記入してください。

(5) 「エフォート」

本欄に記入する、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」及び「(3) その他活動による全仕事時間を 1.00 %として、そのうちそれ以外の研究活動等の実施に必要となる時間の配分率 (%)」を記入してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。なお、科研費においては、重複応募は可能であっても、特別推進研究と重複して採択されることがない研究種目を記載する場合は、「-」と記入してください。

また、競争的資金制度により研究を行う場合には、当該研究活動に係るエフォートを必ず記入してください。本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定していただき、e-Rad に登録することとなります。

(6) 「本応募研究課題と当該研究課題との関係」

応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の関連性を、「I」欄に研究内容の相違点、「II」欄に当該研究課題に加えて本応募研究課題に応募する理由、「III」欄に現在遂行中の研究（「新学術領域研究」、「基礎研究」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究（A・B）」及び「研究活動スタート支援」の研究課題を終了しません。また、他の研究種目の研究課題に研究分担者として参画することはできません。なお、「新学術領域研究」（研究領域提案型・計画研究）については、その研究の実施

及び研究に参画することはできません。

3. 「海外の研究者による審査が適当でない場合、その理由」欄  
研究計画調書に記載されている指示に従つて記述してください。  
なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）  
PROJECT MEMBERS

	氏名 (年齢) Name (Age)	所属研究機関 Institution (University, College, etc.)	部局 Academic Unit (School, Faculty, etc.)	職位 Position	現在の専門 Field of Specialization	学位 Academic Degree	役割分担 Roles	平成28年度 研究経費 (千円) Budget Requested for FY2016 [U.S.\$]	エフォート Effort (Time Spent on Project) (%)
								[ ]	
								0000000 (00)	(0000)
研究代表者 Principal Investigator (PI)	(フリガナ) (漢字等) (in Roman Letters)	所属研究機関 Institution (University, College, etc.)	部局 Academic Unit (School, Faculty, etc.)	職位 Position	研究代表者 PI	研究代表者 PI	研究代表者 PI	(000)	[ ]
								(000)	
								(00)	
								(00)	
								0000000 (00)	(0000)

平成28年度 特別推進研究 研究計画調書（新規）  
PROPOSAL FOR GRANT-IN-AID FOR SPECIALLY PROMOTED RESEARCH (FY2016)  
平成XX年XX月XX日

研究代表者氏名 Principal Investigator (PI)	研究課題名 Title of Proposed Project	年 度 FY	使用内訳 (千円) Details				
			研究経費 (千円) Annual Budget [U.S.\$]	設備備品費 Equipment	消耗品費 Consumables	旅費 Travel Expenses	人件費・謝金 Personnel (Technical, Labor Cost, etc.)
研究経費 [ 千円未満の 端数は切り 捨てる ]		平成28年度 2016	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
		平成29年度 2017	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
		平成30年度 2018	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
		平成31年度 2019	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
		平成32年度 2020	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]
		総計 Total Amount	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

日本学術振興会で使用 FOR JSPS USE ONLY

(一) 分野 (細目) 分野	細目番号	細目番号	
		分野	分科
分科			細目
細目			

研究計画最終年度 前年度の応募 海外の研究者による審査の否 機関・整理番号	(平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画の課題番号を記入) [ ]
合計 Total Number of Members: 00	研究経費合計 Total Amount: [ ]

**PROJECT DESCRIPTION**

Give a description of maximum two pages on the following topics. (You can refer to related publications.)

(1) Background of Research Project and Past-related Achievements of Applicants

(2) Importance and Necessity of this Project and its Expected Impact upon the Target Field of Research

(3) Research Objectives and Targeted Goals of this Project

**PROJECT DESCRIPTION (Continued)**

Specially Promoted Research 1 – 3

CURRICULA VITAE

1. PI /Co-I(s)		Name	
		Date of Birth	Age
		Institution (University, College, etc.), Academic Unit (School, Faculty, etc.) & Position	
		Academic Degree	
2. Roles		Field of Specialization	
3. Research Careers and Experience			

Specially Promoted Research 1 – 4 – ( )

RECENT RESEARCH ACTIVITIES I (Publications)	
<p>List your significant academic contributions (research papers, articles, books) and intellectual properties up to the present regardless the relevance to this project. Begin with your most recent one. Do not include research papers under submission. Textbooks, abstracts for conferences and address summaries should not be included in this list either. Size of the box for each year can be adjusted accordingly to the number of entries. The list should be 3 pages at most. Enter research achievements focusing primarily on achievements from 2011 onward. It is also acceptable to enter key research papers, or other key achievements, which you published up to the present or which are closely related to the current research (up to ten items), even if they were published before 2011.</p>	
Name of PI or Co-I(s)	
<p>Title and Authors etc. (e.g., For research papers, list the title of the paper, authors, name of the journal, refereed or not, volume number, the first and last page numbers, year of publication)</p> <p>Notes:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. It is not necessary for above information to be listed in this order shown above, as long as all information is included.</li> <li>2. Put a plus (+) sign at the head of the publication related to this project.</li> <li>3. You need not list all co-authors. If part of the author list is omitted, write the total number of authors (A) and your entry number in the author list counted from the first author (B). (e.g., "B)/(A")</li> <li>4. Mark PI with a double underline, and Co-I(s) with a single underline.</li> <li>5. Put an asterisk (*) at the head of each corresponding author.</li> </ol>	
2015~	
2014	
2013	
2012	
2011	
~2010	

Specially Promoted Research 1 –5

**RECENT RESEARCH ACTIVITIES II (Invited Lectures and Talks, Prizes, etc.)**

List your important lectures/talks (e.g., invited lecture at an international conference) and prizes, if any, focusing primarily on achievements from 2011 onward in one page. Begin with your most recent one. Size of the box for each year can be adjusted according to the number of the items. Put a plus (+) sign at the front of the item that is related to this project.

Name of PI or Co-I(s)	Name of International Conference, Date and Place, Title of Lecture(s)/Talk(s), and Name of Prizes, if any.
2015~	
2014	
2013	
2012	
2011	
~2010	

## S-1-1 (2) 応募内容ファイル (添付ファイル項目)

### 特徴2-1-( )

#### 研究目的

本欄には、研究の全体構思及びその中での本研究の具体的な目的について、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、  
焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。（記述に当たっては「科学研究費助成事業における審査及び評価に關する規程」（公  
表要領75頁参照）を参考にしてください。）  
1. 研究期間内に何を、どこまで明らかにしてよとうとするのか  
2. 当該分野における本研究（計画）の学術的な特色、独創的か新色  
3. 国内・国外の関連する研究の中での本研究（計画）の位置づけ  
4. 平成28年度において、継続して科研費以外の研究費（府省、地方公共団体、民間企業等からの研究費）の助成を  
受ける場合は、当該継続研究課題と本研究課題との相違点  
5. 研究分担者等の担当する部分（「後割分担」欄に分担事項を記載した場合）の具体的目標

#### 研究の必要性

本欄には、研究の必要性・位置づけについて、次の点が明確に読み取れよう留意して記述してください。  
1. 本研究の背景となる研究動向の進展状況（国内・国外の研究の現状と動向及びその中の応募者自身の貢献度  
(研究成果に対する国際的評価)  
2. 本研究の独創的点及びその着想に至った経緯  
3. 期待される研究成果とその学術上の意義・インパクト  
4. 特別推進研究として応募する理由、本研究の緊急性

### 特徴2-2-( )

<p><b>研究計画・方法</b></p> <p>本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、平成28年度の計画と平成29年度の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確が記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時等を、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を記述してください。研究分担者とともに実行研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割(図表を用いる等)、学術的観点からの研究組織の必要性、妥当性及び研究目的の関連性についても述べてください。</p> <p>また、研究体制の全貌像を明らかにするために、連携研究者及び研究協力者(海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行なう者、大学院生等(氏名、員数を記入することも可))の役割についても記述してください。</p> <p>なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。</p>
---

<p><b>応募者のこれまでの研究成果を引用した他の研究者の論文</b></p> <p>応募者のこれまでの研究成績をどのように位置づけ・評価しているか、どのように利用しているか等を、簡潔に記述してください。</p>
---

**これまでに受けた研究費とその成果等**

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（科研費、所属研究機関より持置された研究費、地方公团体、研究助成法人、民間企業等からの研究費等、なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案・生かされているものを選定し、研究費とそれ以外の研究費について、次の点に留意して記述してください。

1. それぞの研究費筋に、研究費項目名（科研費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価について（資金制度名）、期間（年度）、期間（年度）、当該研究費の配分機関がある場合には、特推2-7「研究結果を簡潔に記述してください（平成26年度又は平成27年度の科研費の研究進捗評価結果がある場合には、特推2-7「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の開通性」欄に記述してください）。
2. 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述してください。

**今回の研究計画を実施するに当たつての準備状況等**

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。  
 1. 本研究を実施するために使用する研究施設、設備、研究費等、現状の研究環境の状況（連携研究者及び研究協力者がいる場合についても、必要に応じて記述してください。）  
 2. 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がいる場合についても、必要に応じて記述してください。）  
 3. 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

**特推 2-7-( )**

<b>研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性</b> ・本欄には、本応募の研究者が著者並びに、平成27年度又は平成28年度に、「特別推進研究」、「基盤研究(S)」又は「若手研究(S)」の研究代表者として、研究進捗評価を受けた場合に記述してください。 ・本欄には、研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性(どのような関係にあるのか、研究進捗評価を受けた研究を具体的にどのように発展させるのか等)について記述してください。	
--	--

**特推 2-8-( )**

(研究計画最終年度前年度の応募(公募要領21頁「(5)重複応募制限の特例(研究計画最終年度前年度の応募)」)を参照)として研究計画を再構築することを希望する場合のみ記入。その他は記入不要。)	
<b>研究計画最終年度前年度の応募を行う場合の記入事項</b>	
本欄には、研究代表者として行っている平成28年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、今回再構築して本研究を応募する理由(研究の展開状況、経費の必要性等)を記述してください(なお、本欄に記述する継続研究課題の研究成果等は、特推2-6「これまで受けた研究費とその成果等」欄には記述しないでください)。	
研究種目名  当初研究計画及び研究成果等	課題番号  研究課題名  研究期間 平成28年度～平成28年度
応募する理由	

## 特推 2-9

**人権の保護及び法令等への対応**（公募要領4頁参照）

本欄には、研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報を取り扱いの配慮が必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビューアンケート調査、提出を受けた資料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組織えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。  
なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

**研究施設・現有設備**

研究施設・現有設備				
研究施設 記入に当たっては、特別推進研究、研究計画調書等作成・記入要領を参照してください 備考				
研究機関	施設名	(面積)	専用・共用の別	備考

## 特推 2-10

現有設備（既設の主要機器）記入に当たっては、特別推進研究、研究計画調書等作成・記入要領を参照してください 備考				
研究機関	施設名	仕様（形式・性能）	専用・共用の別	設置年度

## 研究経費とその妥当性・必要性

### 特推2－11－( )

本欄には、特推2－4「研究計画・方法」欄で述べた研究規範、研究体制等を踏まえ、各費目について研究経費を記入し、その妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。審査会では、研究の最適費用額（金額）が十分でない場合は、その性能が研究上必要十分であり、現有設備の使用や他のとの共用ができる理由など、多額の消耗品費については、具体的な用途及び数量・金額の妥当性・必要性について記入してください。

また、研究計画のいずれかの年度において、各費目（設備備品費、旅費、人件費・耐久金）が全体の研究経費の9.0%を超える場合及び「その他」の費目で、特に大きな割合を占める経費については説明してください。

#### 設備備品費の明細

多額の図書・資料を購入する場合は、「西洋中世政治史問題図書」のようにある程度、図書・資料の内容が明確するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、單に〇〇一式とするだけでなく、その内訳も記入してください。最終年度の欄にその理由も記入してください。「定価・見積の別」欄には、定価または見積による価格、定価の〇〇%など、金額の根拠がわかるようになります。また、研究費の妥当性を検討するため、やむを得ない場合を除き、見積による価格を記入してください。（金額単位：千円）

購入予定年月	購入希望順位	品名・仕様	数量	単価	金額	定価/見積の別	主として使用する研究者及び設置機関名
H28. ○月							

妥当性・必要性等

購入予定年月	購入希望順位	品名・仕様	数量	単価	金額	定価/見積の別	主として使用する研究者及び設置機関名
H29. ○月							

妥当性・必要性等

購入予定年月	購入希望順位	品名・仕様	数量	単価	金額	定価/見積の別	主として使用する研究者及び設置機関名
H30. ○月							

妥当性・必要性等  
計

## 特推2-12-( )

消耗品費等の明細 記入に当たつては、特別推進研究 研究計画調書等作成・記入要領を参照してください。(金額単位:千円)						
年 度	品 名	消 耗 品 費 金 額	旅 費 事 項 (国 内)	人 件 費 金 額	人 件 費 金 額	其 他
平 成 28 年 度	(外 国)					
	計					

妥  
当  
性  
・  
必  
要  
性  
等

旅 費 事 項 (国 内)						
年 度	品 名	消 耗 品 費 金 額	旅 費 事 項 (外 国)	人 件 費 金 額	人 件 費 金 額	其 他
平 成 29 年 度	(外 国)					
	計					

妥  
当  
性  
・  
必  
要  
性  
等

人 件 費 事 項 (国 内)						
年 度	品 名	消 耗 品 費 金 額	旅 費 事 項 (外 国)	人 件 費 金 額	人 件 費 金 額	其 他
平 成 30 年 度	(外 国)					
	計					

妥  
当  
性  
・  
必  
要  
性  
等

## 特推2-12-( )

応募総額が5億円を超える理由	
本欄では、応募研究経費の総額が、応募上限の目安である5億円を超える場合のみ、5億円ではなく他の理由で特記して説明してください。	

<b>研究者氏名</b>	<b>研究費の応募・受入等の状況・エフォート</b>																											
<p>本欄は、合議審査において、「研究資金の不合理な重複や過度の集めに、研究課題が十分に遂行得るかどうか」を判断する際に参考するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究経費を正しく記載していただく必要があります。</p> <p>本応募課題の研究代表者及び研究全員の応募時点における（1）応募中の研究費、（2）受入予定の研究費、（3）その他の活動について、次の点に留意し記入してください。具体的な記載方法等については、特別推進研究 研究計画調書等作成・記入要領を確認してください。</p> <p>1. 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間数を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の割合率(%)を記入してください。</p> <p>2. 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。</p> <p>3. 科研費の「新学術領域研究（研究領域拡張型）」にあつては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。</p> <p>4. 所属研究機関で競争的に配分される研究費についても記入してください。</p> <p>5. 「本応募研究課題と当該研究課題との関係」欄に、I、II及びIIIについての理由を具体的かつ明確に記述してください。</p> <p>6. 所属研究機関の特定の目的（ミッション）に沿って行われるプロジェクト研究に参加している場合には、随分される研究費についても記入してください。なお、個人一括でない場合は、その旨を「I：研究内容の相違点」欄に記入してください。</p>																												
<p><b>(1) 応募中の研究費</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>資金制度・研究費名 〔研究期間・配分額等〕</th> <th>研究課題名 〔研究代表者氏名〕</th> <th>役割 〔代表、全員の別〕</th> <th>平成28年度 〔期間全体の額〕 研究経費 (千円)</th> <th>本応募研究課題と当該研究課題との関係 〔研究内容の相違点〕 I：研究内容に応募する理由 II：当該研究課題に加えて本応募研究課題に応募すること 〔科研究の研究代表者の場合は、応募期間全額の受入額を記入すること〕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【本応募研究課題】 特別推進研究 (H28~H )</td> <td></td> <td></td> <td>( )</td> <td>I  II</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>( )</td> <td>I  II</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>( )</td> <td>I  II</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>( )</td> <td>I  II</td> </tr> </tbody> </table>				資金制度・研究費名 〔研究期間・配分額等〕	研究課題名 〔研究代表者氏名〕	役割 〔代表、全員の別〕	平成28年度 〔期間全体の額〕 研究経費 (千円)	本応募研究課題と当該研究課題との関係 〔研究内容の相違点〕 I：研究内容に応募する理由 II：当該研究課題に加えて本応募研究課題に応募すること 〔科研究の研究代表者の場合は、応募期間全額の受入額を記入すること〕	【本応募研究課題】 特別推進研究 (H28~H )			( )	I  II				( )	I  II				( )	I  II				( )	I  II
資金制度・研究費名 〔研究期間・配分額等〕	研究課題名 〔研究代表者氏名〕	役割 〔代表、全員の別〕	平成28年度 〔期間全体の額〕 研究経費 (千円)	本応募研究課題と当該研究課題との関係 〔研究内容の相違点〕 I：研究内容に応募する理由 II：当該研究課題に加えて本応募研究課題に応募すること 〔科研究の研究代表者の場合は、応募期間全額の受入額を記入すること〕																								
【本応募研究課題】 特別推進研究 (H28~H )			( )	I  II																								
			( )	I  II																								
			( )	I  II																								
			( )	I  II																								

海外の研究者による審査が適当でない場合、その理由	
特別准拠研究では全ての研究課題について、原則として海外の研究者による審査意見の作成を求めることが、部署者がこれを求めることが適当ではないと判断する場合（応募情報のWより人材項目の「海外の研究者による審査の選否」欄で「適当でない」とした場合）には、その理由を具体的に記入してください。なお、この理由については、科学研究費委員会において検討が行われます。	

研究費の応募・受入等の状況・エフォート(つづき)	
(2) 受入予定の研究費	
資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名) 後割 (代表・分担 の割合)
	平成28年度 研究経費 (期間全体の割 合円)
	574千 (%)
	I
	II
	III
	I
	II
	III
(3) その他の活動	
上記応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。 <b>合計</b> 上記(1)、(2)、(3)のエフォートの合計	
	100 (%)

## 平成28年度 特別推進研究

## 研究計画調書等作成・記入要領（継続）

## 1. 新規・継続区分

「継続」を選択してください。

## 2. 継続の場合の研究課題番号

当該継続応募研究課題の研究課題番号を必ず入力するとともに、「継続課題情報取得」ボタンを必ず押してください。

研究計画調書は、継続研究課題のうち、研究計画の大幅な変更を行おうとする課題（① 研究目的の変更・研究課題名の変更、② 平成28年度以降の研究経費の年次計画の変更、③ 研究経費の増額・減額、④ 研究期間の短縮等）が提出の対象となります。この他の継続研究課題については、提出の必要はありませんので注意してください。

## 言記

※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任をもつて作成してください。なお、「研究代表者」、「連携研究者」、「研究分担者」、「研究協力者」の定義については、公募要領3.1～3.2ページを参照してください。  
 ※ 様式は、「I 応募情報（We b 入力項目）」及び「II 応募内容ファイル：【様式 S-1-2】（添付ファイル項目）」からなります。所定の様式の変更は認めません。  
 ※ 英語で記入された研究計画調書を受け付けます。なお、「応募情報入力」画面において、左上の「Japanese ▶ English」ボタンをクリックすると、英語表記の入力画面に切り替わります。

## I 応募情報（We b 入力項目）

応募書類のうち研究計画調書の「応募情報（We b 入力項目）」については、この情報に基づいて応募内容の確認及び審査資料の作成を行うため、これらの入力内容によっては当該応募研究課題が審査に付されないことが審査の結果に影響を及ぼすことがありますので、作成に当たっては十分注意してください。

「応募情報（We b 入力項目）」は、研究代表者が所属研究機関から交付された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより「科研費電子申請システム（e-Rad）」（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行うものであり、このデータは同時に研究計画調書の前半部分を兼ねることになります。

なお、応募情報の一部（エフォート等）は、e-Radに登録することになります。作成に当たっては、以下の点に留意しつつ公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持って作成してください。  
 また、研究代表者の氏名や所属等について、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、確認時に誤りを見つけた場合は、入力データを一時保存した上で所属研究機関の事務局に連絡し、その指示に従ってください。

## 8. 研究経費

「継続課題情報取得」ボタンを押すと「決定額」欄が自動表示されます。  
 「研究経費」欄の入力に当たっては、金額を千円単位で入力し、千円未満の端数は切り捨ててください。年度ごと、使用内訳ごとの合計額については、入力後の確認画面において自動表示されますので、入力した金額と併せて確認してください。  
 なお、「決定額」欄の金額（交付決定額）を超えた額を入力した場合は、増額の応募となりますが、①応募する年度において該当のない費目、②応募しない年度の全ての費目については、必ず全ての欄に「0」を入力してください。

## 1. 新規・継続区分

「継続」を選択してください。

## 2. 継続の場合の研究課題番号

当該継続応募研究課題の研究課題番号を必ず入力するとともに、「継続課題情報取得」ボタンを必ず押してください。

研究計画最終年度前年度の応募  
 「応募しない」を選択してください。

## 4. 審査希望分野（系等の区分）

「人文・社会系」・「理工系（数物系科学）」・「理工系（化学）」・「理工系（工学）」・「生物系」の区分から採択時と同じ区分を選択してください。

## 5. 研究代表者氏名

「氏名」欄は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者が正しく登録されていることを確認してください。  
 なお、下段の（英語）欄は、新規応募の場合のみの入力項目のため、入力不要です。

## 6. 研究代表者所属研究機関・部局・職

「所属研究機関」欄、「部局」欄及び「職」欄は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者に係る研究計画調書作成時点での正しい所属情報が登録されていることを確認してください。  
 なお、下段の（英語）欄は、新規応募の場合のみの入力項目のため、入力不要です。

(1) 「部局」欄について、自動表示されている部局名が実際に所属する部局名と異なる場合は、実際の部局名を入力してください（部局レベルの所属がない場合は各称欄の入力は不要です。）  
 (2) 「職」欄について、自動表示されている職名が実際の職名と異なる場合は、必ず実際の職名を入力してください。

## 7. 研究課題名

「継続課題情報取得」ボタンを押すと継続研究課題名が自動表示されます。  
 研究課題名の変更是原則として認めません。  
 入力に当たっては、漏点、半濁点はそれだけで独立して1字とはなりませんが、アルファベット、数字、記号等はすべて1字として数えられ、表示されることに留意し、化学式、数式の使用は極力避けしてください（表示例 C<sub>a</sub><sup>2+</sup> → C a 2 +）。  
 なお、下段の（英語）欄は、新規応募の場合のみの入力項目のため、入力不要です。

- てエラーが表示されます)。
- (9) 「エフォート」欄は、研究代表者及び研究分担者について、本応募研究課題が採択される場合を想定した時間の配分率(1～100の整数)を入力してください。
- 時間の配分率の決定にあたっては、総合科学技術会議におけるエフオートの定義である、「研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要な時間の配分率(%)」という考え方で決定してください。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。
- また、本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフオートを決定していただき、e-Radに登録することとなります。
- (10) (英語)と表記された各欄は、新規応募の場合のみの入力項目のため、入力不要です。

### 1.3. 応募内容ファイル選択

- 「(2)作成した応募内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください」欄に、応募内容ファイル：【様式S-1-2】(添付ファイル項目)をアップロードしてください。
- なお、「(1)作成した応募内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください」の欄にアップロードするとエラーとなりますので、注意してください。また、ファイル名は必ず「jp」(大文字でも可)で始めようにしてください。

9. 関連研究分野研究者  
新規応募の場合のみの入力項目のため、入力不要です。
10. 関連研究分野(細目)  
新規応募の場合のみの入力項目のため、入力不要です。
11. 研究代表者連絡先(PDFファイルには出力されません)  
「研究代表者連絡先」欄には、研究代表者と直接連絡が必要な場合に備えた情報を入力してください。(例えば勤務先住所は、本部所在地ではなく研究代表者が実際に勤務するキャンパスの所在地を入力してください。)。

### 1.2. 研究組織

「[研究組織]」は、次のこととに留意して入力してください。

- (1) 研究組織(研究代表者、研究分担者及び連携研究者)の入力欄は、入力画面左側の「追加ボタンを入数分押すことでデータ入力欄が表示されます。
- 使用しないデータ入力欄(入力したが使用しない場合や全く入力しなかった場合)については、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除してください。

画面最下部に表示される「研究組織(人數)」欄は、データ入力欄の数により自動表示されます。

「[研究組織人數]」欄の数字と実際に入力したデータの合計人数が合わない場合は、入力後の確認画面においてエラーが表示されますので、入力しなかったデータ入力欄は必ず削除してください。

#### (2) 研究分担者、連携研究者の別

- 「[区分]」欄には、「[研究分担者]」、「[連携研究者]」のうち該当する区分を選択してください。
- (3) 海外共同研究者や科研費への応募資格を有しない企業の研究者等との共同研究を含む場合、これらの研究者は「研究協力者」となることから、当該研究課題の研究組織には入力せらず、研究計画書等作成・記入要領の指示に従い、作成する研究計画調書の「研究計画・方法」欄等、全体の研究計画を説明する中で記載してください。

- (4) 研究者情報(①「研究者番号」、②「氏名(フリガナ・漢字等)」、③「年齢(平成28年4月1日現在)」、④「所属研究機関・部局・職」、⑤「現在の専門」及び⑥「学位」)は、当該研究者に対する正確な情報等、各研究者本人及び研究者の所属研究機関事務局に確認のうえ、入力または選択してください。(所属研究機関・部局・職の番号一覧は、入力画面から呼び出すことができます。)

- ただし、研究代表者に係る情報のうち①②③④は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者の情報が正確に登録されていることを確認してください。

- (5) 「部局」欄について、部局番号一覧の名称が実際に所属する部局名と異なる場合は、「実際の部局名を入力してください」部局レベルの所属が無い場合は「入力不要です。」。

- (6) 「職」欄について職番号一覧の名称が実際の職名と異なる場合は、実際の職名を入力してください。

- (7) 「役割分担」欄には、平成28年度の研究実施計画に対する分担事項を中心に、研究代表者、研究分担者及び連携研究者がどのように協力して研究を行うのか、それぞれの関連がわかるように入力してください。

- (8) 「平成28年度研究経費」欄は、研究計画に基づき、研究代表者及び研究分担者への配分額を千円単位で入力してください。(連携研究者については分担金の配分ができませんので入力不要です。)。
- また、各研究者への配分額の合計金額が「8. 研究経費」の「平成28年度の研究経費欄の合計金額」と一致するようにしてください(一致しない場合は、入力後の確認画面において

## 応募情報（W eb入力項目）画面イメージ【特別推進研究・継続】①

科研費電子申請システム 応募用紙用印シミュレーション	ヘルプ	ログアウト
<p>最終保存日時:XXXX年XX月XX日 XX時XX分</p> <p><b>画面を表示してから29分経過</b></p>		
<p>◇注意事項</p> <p>①ついた項目は新規、既存どちらも該項目です。 入力中、定期的に保存されないように、セッションタイムアウト機能が動作されない場合は、「(新規)」(登録用紙用印シミュレーション)を出された場合(即ち、電子申請用紙への接続が切れてしまう場合)、必ず「(既存)」(登録用紙用印シミュレーション)を選択して下さい。もし、セッションが切れてしまった場合に、電子申請用紙への接続が復旧するまでの間に操作を行おうとする場合は、<b>操作コード</b>でのご利用は控えてください。</p>		
<p><b>一時保存</b></p>		
<p>平成23年度(2016年度)特別推進研究 研究計画書</p>		
<p>* 総括・趣旨区分 * 適用年数 : 〔新規登録用紙用印シミュレーション〕 (新規登録用紙用印シミュレーション)</p>		
<p>総括の場合は課題番号: 00000000</p>		
<p>* 応募なし ▾</p>		
<p>研究計画最終年度前年度の応募 審査希望分野(系等の区分) *</p>		
<p><b>「継続課題情報取得」ボタンを押すと、研究課題名(日本語)と決定額が自動表示されます。</b></p>		
<p>研究代表者氏名 (漢字等) 田嶋一郎 (名) (英語) (姓)</p>		
<p>所属研究機関 (番号) 99999 (本部) AAAA University (英語) AAAA University</p>		
<p>部局 (番号) 998 (日本語) 業務 (英語)</p>		
<p>(番号) 20 (日本語) 業務 (英語)</p>		
<p>* 日本国語訳語題目的研究課題名 (※確認用印)</p>		
<p><b>画面を表示してから29分経過</b></p>		
<p><b>一時保存</b></p>		

<p>【審査意見書作成者としてふさわしいと思われる国内の研究機関に所属する研究者(分野研究者)】※PDFファイルには変換されません</p>																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>姓</th> <th>氏名</th> <th>所属研究機関</th> <th>部局</th> <th>職</th> <th>現在の専門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>連絡先 電話番号</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Email</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						姓	氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門						連絡先 電話番号						Email																														
姓	氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門																																																
					連絡先 電話番号																																																
					Email																																																
<p>【国内の研究機関に所属する研究者で審査意見書作成者として選ばてしまい者(任意)】※PDFファイルには変換されません</p>																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>姓</th> <th>氏名</th> <th>所属研究機関</th> <th>部局</th> <th>職</th> <th>現在の専門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>連絡先 電話番号</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Email</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						姓	氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門						連絡先 電話番号						Email																														
姓	氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門																																																
					連絡先 電話番号																																																
					Email																																																
<p>【海外の研究機関に所属する研究者で審査意見書作成者として選ばてしまい者(任意)】※PDFファイルには変換されません</p>																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>姓</th> <th>氏名</th> <th>所属研究機関</th> <th>部局</th> <th>職</th> <th>現在の専門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>連絡先 電話番号</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Email</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						姓	氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門						連絡先 電話番号						Email																														
姓	氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門																																																
					連絡先 電話番号																																																
					Email																																																
<p>【海外の研究機関による審査の済否】</p> <p>海外の研究機関による審査を受けたことの有無で適切であるを選択すること。 海外の研究機関による審査が適当でないを選択するともに、研究計画書にその理由を入力すること。</p>																																																					
<p><b>海外の研究者による審査の済否 ▾</b></p>																																																					
<p>【審査意見書作成者としてふさわしいと思われる海外の研究機関に所属する研究者(分野研究者)】※PDFファイルには変換されません</p>																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>姓</th> <th>氏名</th> <th>所属研究機関</th> <th>部局</th> <th>職</th> <th>現在の専門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>連絡先 電話番号</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Email</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						姓	氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門						連絡先 電話番号						Email																														
姓	氏名	所属研究機関	部局	職	現在の専門																																																
					連絡先 電話番号																																																
					Email																																																
<p><b>画面を表示してから29分経過</b></p>																																																					
<p><b>一時保存</b></p>																																																					

## 応募情報（W eb入力項目）画面イメージ【特別推進研究・継続】③

研究組織・研究代表者、研究分担者及び連携研究会名											
※該組織または個人が申請する場合、申請書類等を登録する際の記入欄がアドバイザリーフィールドとして「データ入力用カラット」で区切られています。当該欄の左側には、当該欄に該当する場合は、該欄を押すことで一覧入力が可能判別して下さい。											
区分	氏名(半角)	1所概要研究期間 <input checked="" type="radio"/> 一覧 <input type="radio"/> 2部局 <input type="radio"/> 3機関別選択			現行の専門 2学位 3機関別選択			平成26年度 被承認者 [最終]			
		1.(番号)* (英語)	2.(番号)* (日本語) 姓と苗字を入力する場合は「姓」を「姓」とし、「苗字」を「苗字」の後に記入して下さい。 ※印	1.(番号)* (英語)	2.(番号)* (日本語) 姓と苗字を入力する場合は「姓」を「姓」とし、「苗字」を「苗字」の後に記入して下さい。 ※印	1.(番号)* (英語)	2.(番号)* (日本語) 姓と苗字を入力する場合は「姓」を「姓」とし、「苗字」を「苗字」の後に記入して下さい。 ※印	1.(番号)* (英語)	2.(番号)* (日本語) 姓と苗字を入力する場合は「姓」を「姓」とし、「苗字」を「苗字」の後に記入して下さい。 ※印	1.(番号)* (英語)	2.(番号)* (日本語) 姓と苗字を入力する場合は「姓」を「姓」とし、「苗字」を「苗字」の後に記入して下さい。 ※印
研究代表者 ※印	研究代表者 ※印	1.(番号)* (英語)	2.(番号)* (日本語) 姓と苗字を入力する場合は「姓」を「姓」とし、「苗字」を「苗字」の後に記入して下さい。 ※印	1.(番号)* (英語)	2.(番号)* (日本語) 姓と苗字を入力する場合は「姓」を「姓」とし、「苗字」を「苗字」の後に記入して下さい。 ※印	1.(番号)* (英語)	2.(番号)* (日本語) 姓と苗字を入力する場合は「姓」を「姓」とし、「苗字」を「苗字」の後に記入して下さい。 ※印	1.(番号)* (英語)	2.(番号)* (日本語) 姓と苗字を入力する場合は「姓」を「姓」とし、「苗字」を「苗字」の後に記入して下さい。 ※印	1.(番号)* (英語)	2.(番号)* (日本語) 姓と苗字を入力する場合は「姓」を「姓」とし、「苗字」を「苗字」の後に記入して下さい。 ※印
	3.(番号) 20 教授 Professor										
*研究者番号											
研究組織人数 3名											
画面を表示してから29分経過											
一時保存											
応募内容ファイル選択											
継続応募の場合は、応募内容ファイル【様式S-1-2】をアップロードしてください。											
(1)作成された応募内容ファイル【Word又はPDF】を選択して下さい。 ここには、応募内容ファイル【様式S-1-1(1)】を「ソブロードしてください」。 ※登録の場合は「応募内容ファイル【様式S-1-1(2)】を「ソブロードしてください」。 応募内容を選択する場合は、修正済みの応募内容ファイルを選択しないと、前のファイルが削除されて上書きされます。 ※登録の場合は「応募内容ファイル【様式S-1-1(2)】を「ソブロードしてください」。 応募内容が修正できない場合、応募内容ファイルを選択して登録するまで繰り返すことを何度も繰り返すことがあります。(PDF形式は応募内容ファイル形式【Word又はPDF】は本会主催に文部科学省が提供する様式)※作成したときに記入します。 応募内容ファイル様式の余白部分を更換するとエラーメッセージが表示される場合がありますので、余白部は変更しないで下さい。											
(2)作成された応募内容ファイル【Word又はPDF】を選択して下さい。 ※登録の場合は「応募内容ファイル【様式S-1-1(2)】を「ソブロードしてください」。 ・応募内容ファイルについて修正がない場合、応募内容ファイル選択後、空欄のまままで繰り返すことがあります。(Word又はPDF形式は応募内容ファイル形式【Word又はPDF】は本会主催に文部科学省が提供する様式)※作成したときに記入します。 ・学術的写真等の添付時は、改めて記入する様式を新規登録してください。											
<input type="checkbox"/> 一時保存をして次へ進む											
<input type="checkbox"/> 保存せずに戻る											

## II 応募内容ファイル：【様式S-1-2】添付ファイル項目

以下の項目は、「応募内容ファイル：【様式S-1-2】」(添付ファイル項目)」の内容であり、研究計画調書(PDFファイル)の後半部分を構成することになります。

研究代表者は、「応募内容ファイル：【様式S-1-2】」(添付ファイル項目)」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付して下さい。(3MB以上のファイルは添付不可)。

※ 電子申請システム上に添付する際は、記入済みのファイルを、「応募内容ファイル選択」欄にアップロードしてください。  
「(2)作成した応募内容ファイル【Word又はPDF】を選択してください」欄にアップロードしてください。  
「(1)作成した応募内容ファイル【Word又はPDF】を選択してください」の欄でアップロードするとエラーとなりますので、注意してください。また、ファイル名は必ず「.jp」(大文字でも可)で始めるようにして下さい。

### 1. 全体研究計画

(1) 「研究目的」、「平成27年度までの研究経過」、「平成27年度までの研究の自己評価」、下記及びそれぞれの記入欄に記載している指示に従い、下記の(1)については、1.1ポイント以上 の文字等を使用して記入してください。

(2) 「平成28年度以降の研究計画・方法」、「当初計画との変更点」、「人権の保護及び法令等の遵守への対応」及び「研究成果の発表状況」欄については、研究計画調書に記載している指示に従ってそれぞれ記述してください。

(3) 「消耗品費等の明細」欄には、研究計画調書に記載されている指示に従い、年度ごとに区分し、金額の合計も記入してください。記入欄(年度ごとの枠)については、記述量に合わせて調整しても構いませんが、2ページ以内に収まるようにしてください。

(4) 「設備品費の明細」欄には、研究計画調書で記載されている品名ごとに記入してください。

1. 消耗品費は、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名ごとに記入してください。  
2. 旅費は、国内旅費及び国外旅費に分け、研究代表者、研究分担者、連携研究者及び研究協力者の海外・国内外出張 資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の結果発表等)のための経費(交通費、宿泊費、日当)等その事項ごとに記入してください。

3. 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者(ボストドクター・リサーチャー・アシスタント(RA)・外国の機関に所属する研究者等)に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等その事項ごとに記入してください。

4. 資料整理(内訳：○人×〇月)・△△△千円)  
例：資料整理 (手作業：( ) 手書き、電話等)、運搬費、研究実施場所借り上げ費、研究機関の施設において費補助事業の遂行が困難な場合に限る)、会議費(例：印刷費、複写費、現像・修理費用等)、リース・レンタル費用 (コンピュータ、自動車、実験機器・器具等)、機器修理費、通信費(切手、電話等)、研究費(会場備料、食事(アルコール類を除く)費用等)、費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用(学会会員料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用等)、実験廃棄物処理費)等その事項ごとに記入してください。

2ページ以内に収まるようにしてください。  
なお、記入欄(年度ごとの枠)については、記述量に合わせて調整しても構いませんが、2ページ以内に収まるようにしてください。

ロクタト

研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）  
PROJECT MEMBERS

	氏名 (年齢) Name (Age)	所属研究機関 Institution (University, College, etc.)	在籍の専門 Field of Specialization 学位 Academic Degree	平成28年度 研究経費 (千円) Budget Requested for FY2016 [U.S.\$]		エフォート Effect (Time Spent on Project) [%]	
				研究者 研究员 Position	研究分担 Roles		
				0000000 (00)	(00000)		
					(00000)		
研究代表者 Principal Investigator (PI) (漢字等) (in Roman Letters)					(00000)		
所属研究機関 Institution (University, College, etc.)	00000 (番号)				(00000)		
部 局 Academic Unit (School), Faculty, etc.)	000 (番号)				(00000)		
職 Position	00 (番号)				(00000)		
研究課題名 Title of Proposed Project					(00000)		
研究経費 [ 千円未満の 端数は切り 捨てる]  Budget for Proposed Project	年度 FY	研究経費 (千円) Annual Budget [U.S.\$]	設備備品費 Equipment Consumables	消耗品費 Consumables	旅費 Travel Expenses	人件費・謝金 Personnel (Tech- nical Assistant, Labor Cost, etc.)	その他 Miscellaneous
平成28年度 2016	[	[	[	[	[	[	[
平成29年度 2017	[	[	[	[	[	[	[
平成30年度 2018	[	[	[	[	[	[	[
平成31年度 2019	[	[	[	[	[	[	[
平成32年度 2020	[	[	[	[	[	[	[
総計 Total Amount	[	[	[	[	[	[	[
日本学術振興会で使用 FOR JSPS USE ONLY							
審査希望分野 (系等の区分)							
(一) 分野 (細目) 量や関連の深い研究	細目番号		細目番号				
分野			分野				
分科			分科				
細目			細目				
研究計画最終年度 前年度の応募							
海外の研究者による審査の否否 機関・整理番号	00000-0000						
合計	00 名						
	Total Number of Members: 00						
	Total Amount: [ ]						

平成28年度 特別推進研究 研究計画調書（継続）  
PROPOSAL FOR GRANT-IN-AID FOR SPECIALLY PROMOTED RESEARCH (FY2016)  
平成XX年XX月XX日

研究代表者氏名 (フリガナ) (漢字等) (in Roman Letters)						
所属研究機関 Institution (University, College, etc.)	00000 (番号)					
部 局 Academic Unit (School), Faculty, etc.)	000 (番号)					
職 Position	00 (番号)					
研究課題名 Title of Proposed Project						
研究経費 [ 千円未満の 端数は切り 捨てる]  Budget for Proposed Project	年度 FY 研究経費 (千円) Annual Budget [U.S.\$]	設備備品費 Equipment Consumables	消耗品費 Consumables	旅費 Travel Expenses	人件費・謝金 Personnel (Tech- nical Assistant, Labor Cost, etc.)	その他 Miscellaneous
平成28年度 2016	[	[	[	[	[	[
平成29年度 2017	[	[	[	[	[	[
平成30年度 2018	[	[	[	[	[	[
平成31年度 2019	[	[	[	[	[	[
平成32年度 2020	[	[	[	[	[	[
総計 Total Amount	[	[	[	[	[	[

研究經費 [ 千円未満の 端数は切り 捨てる]  Budget for Proposed Project	年 FY	研究経費 (千円) Annual Budget [U.S.\$]	設備備品費 Equipment Consumables	消耗品費 Consumables	旅費 Travel Expenses	人件費・謝金 Personnel (Tech- nical Assistant, Labor Cost, etc.)	その他 Miscellaneous
平成28年度 2016	[	[	[	[	[	[	[
平成29年度 2017	[	[	[	[	[	[	[
平成30年度 2018	[	[	[	[	[	[	[
平成31年度 2019	[	[	[	[	[	[	[
平成32年度 2020	[	[	[	[	[	[	[
総計 Total Amount	[	[	[	[	[	[	[

日本学術振興会で使用 FOR JSPS USE ONLY		
審査希望分野 (系等の区分)		
(一) 分野 (細目) 量や関連の深い研究	細目番号	細目番号
分野		分野
分科		分科
細目		細目
研究計画最終年度 前年度の応募		
海外の研究者による審査の否否 機関・整理番号	00000-0000	
合計	00 名	
	Total Number of Members: 00	
	Total Amount: [ ]	

**研究目的**

本欄には、研究の全般構思及びその中の本研究の具体的な目的について、適宜文獻を引用しつつ記述し、特に次の点に着いては、  
要点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。（記述に当たっては「科学研究費助成事業における審査及び評価」（公  
開期間内に何をどこまで明らかにしてようとするのか、  
1. 当該分析におけるこの研究（計画）の学術的・社会的・実用的意義  
2. 国内・国外の関連する研究の中での当該研究（計画）の位置づけ  
3. 平成28年度において継続して科研費以外の研究費（府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費）の助成を  
受けける場合は、当該継続研究課題と本研究課題との相違点

**平成27年度までの研究の自己評価**

本欄には、当初に計画した研究目的、研究計画・方法に対する達成度について、次の点も含めて焦点を絞り記述してください。  
 1. 研究遂行上で生じた問題点等  
 2. 平成27年度までに研究進捗評価（現地調査又はヒアリング）を受けた課題については、研究進捗評価の評価結果（又はコメント）を記載の上、それへの対応等

**平成28年度以降の研究計画・方法**

本欄には、平成28年度以降の研究計画・方法について、平成28年度の計画と平成29年度の計画に分けて、遡り文献を引用しつつ、焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともにを行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等、寄附的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください）。

また、研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可）の役割についても記述してください。

更に、本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等についても記述してください。

なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

**平成28年度以降の研究計画・方法**

本欄には、平成28年度以降の研究計画・方法について、平成28年度の計画と平成29年度の計画に分けて、遡り文献を引用しつつ、焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともにを行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等、寄附的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください）。

また、研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可）の役割についても記述してください。

更に、本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等についても記述してください。

なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

**人権の保護及び法令等への遵守**（公募要領4頁参照）

本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた資料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが対象となります。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

**当初計画との変更点**

本欄には、研究計画・方法、設備及び主な研究経費等について、前回の研究計画調整書に記載された内容から変更した点（研究目的の変更・研究課題名の変更、平成28年度以降の研究経費の年次計画の変更、研究経費の増額・減額・研究期間の短縮など）及びその理由を2則以内で記述してください。

**研究成果の発表状況**

この研究の成り立つ背景について、学術誌等に発表した論文（著者名、論文名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年）及び学会等における主な発表状況並びに社会・国民への発信状況について記述してください。なお、どの著者が本研究課題に参画しているのかわかるように、研究代表者及び連携研究者には二重下線を置いてください。また、corresponding authorには左に＊印を付けてください。

**研究経費とその妥当性・必要性**

本欄には、維続－4「平成2.8年度以降の研究計画・方法」欄で述べた研究経費、研究体制等を踏まえ、各費目について研究経費を記入し、その妥当性・必要性について記述して下さい。審査会では、研究の最適実現・金額についても検討を行うため、主要なものについては、特に具体的に記入してください。（例：高額な設備品費については、その性能が研究上必要十分であり、現有設備の使用や他との共用ができない理由など、多額の消耗品費については、具体的な用途及び数量・金額の妥当性、人件費・謝金については人員・金額の妥当性等）

また、研究計画のいずれかの年度において、各費目（設備品費、旅費・人件費・謝金）が全体の研究経費の9.0%を超える場合及び「その他」の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性や内訳等について記述してください。

**設備品費の明細**

本欄には、「西洋中世政治史関係書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で記入してください。その妥当性・必要性について記述して下さい。審査会では、研究の最適実現・金額についても検討を行うため、主要なものや高額なものについては、特に具体的に記入してください。最終年度に設備品費が必要となる場合は、現有設備の使用や他との共用ができない理由など、多額の消耗品費については、見損による価格、定価の〇〇%など、金額の根拠がわかるよう見直すため、やむを得ない場合を除き、見積による価格を記入して下さい。

（金額単位：千円）						
購入予定年月	購入希望順位	品名	仕様	数量	単価	金額
H28.○月						
計						
妥当性・必要性等						
H29.○月						
計						

消耗品費等の明細(記入に当たっては、「特別推進研究」研究計画調査等作成・記入要領を参照してください)(金額単位:千円)									
年 度	品 名	消 耗 品 費	旅 費	金 額	事 項	人 件 費	賃 金	金 額	そ の 他 金 額
平 成 28 年 度									
(外 国)									
計									
…									
妥 当 性 ・ 必 要 性 等									
平 成 29 年 度									
(外 国)									
計									
…									
妥 当 性 ・ 必 要 性 等									

購入予 定年月 順位	品 名	仕 様	数 量	単 価	金 額	定額/見積 の別	主として使用する研 究者及び設置機関名	妥 当 性 ・ 必 要 性 等	
								(国内)	(国外)
H30. ○月									
妥 当 性 ・ 必 要 性 等									
H31. ○月									
妥 当 性 ・ 必 要 性 等									

年 度	品 名	費 用 金 額	旅 費		人件費・謝金		其 他 事 項	金 額
			事 項	(國內)	事 項	金 額		
平 成 30 年 度								
計								
...								

妥当性・必要性等

年 度	品 名	費 用 金 額	(國內)				其 他 事 項	金 額
			事 項	(國外)	事 項	金 額		
平 成 31 年 度								
計								
...								

妥当性・必要性等



## 平成28年度応募情報（Web入力項目） (基盤研究(S・A・B・C)、挑戦的萌芽研究(A・B) ) 作成・入力要領

応募書類のうち「研究計画調査」の「応募情報（Web入力項目）」については、この情報に基づいて応募内容の確認及び審査料の作成を行ったため、これらの入力内容によっては当該に当たっては十分注意してください。

「応募情報（Web入力項目）」は、研究代表者が所属研究機関から付与された「府省共通研究費電子申請システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより「科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）」にアクセスして直接入力を行うものであり、このデータは同時に研究計画調査の前半部分を兼ねることとなります。なお、応募情報の一部（エフォート等）は、e-Radに登録することとなります。研究代表者が作成に当たっては下記の点に留意してください。研究代表者が所属研究機関からの事前登録情報を持って作成しますので、確認時に誤りを見ついた場合は、入力データを一時保存した上で、研究代表者の氏名や所属等については、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、確認時に誤りを見ついた場合は、入力データを一時保存した上で所属研究機関の事務局に連絡し、その指示に従ってください。

受付中研究種目一覧から応募する研究種目及び審査区分の「応募情報入力」を選択してください。  
左上の「Japanese ▶ Englishボタン」をクリックすると英語表記の入力画面に切り替わります。

### 記

#### 1. 新規・継続区分

【基盤研究(B・C)審査区分「特設分野研究」を除く】に応募する場合の入力項目です。「新規」、「継続」のうち該当する区分を選択してください。

「応募しない」、「応募する」のうち該当する区分辨を選択してください。

なお、「応募する」を選択する場合は、「研究計画最終年度前年度の応募」に該当する課題に「大幅な変更を行った研究課題」として応募する場合は、「継続」を選択するとともに、当該継続研究課題の課題番号を必ず入力してください。

#### 2. 研究計画最終年度応募の有無

【基盤研究(B・C)審査区分「特設分野研究」を除く】に応募する場合の入力項目です。

「応募しない」、「応募する」のうち該当する区分辨を選択してください。

なお、「応募する」を選択する場合は、「研究計画最終年度前年度の応募」に該当する課題に限ります。「研究計画最終年度前年度の応募」として応募する場合は（公募要領2.1頁参照）は、「応募する」を選択するとともに、平成28年度が最終年度である継続研究課題の課題番号を必ず入力してください。作成する研究計画調査の「研究計画最終年度前年度の応募を行なう場合の記入事項」欄に、必要事項を必ず記入してください。

#### 3. 審査希望分野

【基盤研究(A・B)審査区分「海外学術調査」、若手研究(B)に応募する場合の入力項目です。】

【基盤研究(A・B)審査区分「海外学術調査」に応募する場合は、公募要領3.3頁により審査を希望する次の分野を選択してください。

「人文科学A」、「人文学B」、「人文学C」、「人文学D」、「社会科学A」、「社会科学B」、「社会科学C」、「社会科学D」、「数物系科学」、「化学」、「物理学A」、「工学B」、「工学A」、「医工学」、「医工学B」、「医歯薬学」、「医歯薬学A」、「環境学A」、「生物学」、「農学B」、「農学A」、「環境学B」、「環境学A」、「環境学B」、

若手研究(B)に応募する場合であって、1つの分野での審査を希望する場合は、「1つの細目」を、複数の分野での審査を希望する場合は、「2つの細目」を選択してください。

4. 分野名  
【基盤研究(B・C)審査区分「特設分野研究」に応募する場合の入力項目です。】  
公募要領6.1～6.5頁を参照し、審査を希望する分野を必ず1つ選択してください。

- 「ネオ・ジエロントロジー」、「連携探査型数理科学」、「食料循環研究」、「紛争研究」、「遷移状態制御」、「構成的システムの強化」、「人工物システム」、「複雑系疾病論」、「グローバル・スタディーズ」、「複雑系疾患論」

#### 5. 細目番号

(1) 基盤研究(S)、基盤研究(A・B・C)審査区分「一般」、挑戦的萌芽研究、若手研究「(A・B)に応募する場合」  
「平成28年度科学研究費助成事業系・分野・分科・細目表」（公募要領3.5～3.9頁参照）（以下、「細目表」という。）から、審査を希望する細目の細目番号を入力してください。  
なお、若手研究(B)において、研究計画が新規・融合的で複数の分野での審査を希望する場合には、細目を「[2つ]選択し入力することができます。（公募要領3.3頁参照）  
また、基盤研究(C)で期限付き分科細目での審査を希望する場合は、「期限付き分科細目表」（公募要領4.0頁参照）から、審査を希望する細目的細目番号を入力してください。

(2) 「基盤研究(A・B)審査区分「海外学術調査」に応募する場合  
「細目表」から、最も関連が深いと思われる細目的細目番号を入力してください。

#### 6. 分割番号

【基盤研究(S)、基盤研究(A・B・C)審査区分「一般」、挑戦的萌芽研究、若手研究(A・B)に応募する場合の入力項目です。】

以下に該当する場合は分割番号を必ず入力してください。

(1) 基盤研究(S)、基盤研究(A・B・C)審査区分「一般」、挑戦的萌芽研究、若手研究「(A・B)に応募する場合であって、「細目表」のうち、「A」、「B」又は「C」の分割番号が付されている細目を選択した場合、審査を希望する分割番号を「〔系・分野・分科・細目表〕付表キーワード一覧」（公募要領4.1～6.0頁参照）（以下、「キーワード一覧」という。）により選択し、次の番号を入力してください。  
「分割A」→A、「分割B」→B、「分割C」→C

ただし、基盤研究(C)審査区分「一般」に応募する場合であって、「細目表」のうち、下記枠内の細目を選択した場合、審査を希望する分割番号を「キーワード一覧」により選択し、次の番号を入力してください。  
「分割A」の「分割1」→A1、「分割A」の「分割2」→A2

「リハビリテーション科学・福祉工学(2304)」のうち「分割A」、「スポーツ科学(2402)」のうち「分割A」、「応用健康科学(2403)」のうち「分割A」、

(2) 基盤研究(C)審査区分「一般」に応募する場合、審査を希望する分割番号を「キーワード一覧」により選択し、次の番号を入力してください。  
「分割1」→1、「分割2」→2、「分割3」→3、「分割4」→4、「分割5」→5

#### 7. キーワード

【基盤研究(S)、基盤研究(A・B・C)審査区分「一般」、挑戦的萌芽研究、若手研究(A・B)に応募する場合】

(1) 「キーワード一覧」より、選定した細目内で最も関連が深いと思われるキーワードを必ず入力してください。  
なお、基盤研究(C)審査区分「一般」で期限付き分科細目での審査を希望した場合は入力する必要はありません。  
若手研究(B)に応募する場合であって、「2つ」の細目を選定した場合には、キーワードの記号を各細目から1つずつ(計2つ)、それぞれ必ず入力してください。

(2) 細目表以外のキーワード一覧」「キーワードの名称を入力してください。」必要に応じて、「キーワード一覧」以外により適切なキーワードがある場合は、1つを限度として任意のキーワードの名前を入力してください。

【基盤研究（B・C）審査区分「特設分野研究」に応募する場合】  
基盤研究が最も開拓が深いと思われる任意のキーワードの名称を必ず1つ入力してください。（「キーワード一覧」から選んでも構いません。）

#### 8. 研究代表者氏名

「氏名」欄は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者が正しく登録されていることを確認してください。

9. 年齢  
【若手研究（A・B）に応募する場合の入力項目です。】  
研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、平成28年4月1日現在の年齢が正しく登録されていることを確認してください。

#### 10. 研究代表者所属研究機関・部局・職

「所属研究機関」欄、「部局」欄及び「職」欄は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者に係る研究計画摘要書作成時点での正しい所属情報が登録されていることを確認してください。

(1) 「部局」欄について、自動表示されている部局名が実際に所属する部局名と異なる場合は、実際の部局名を入力してください。（部局レベルの所属がない場合は不要です。）  
(2) 「職」欄について、自動表示されている職名が実際の職名と異なる場合は、実際の職名を入力してください。

#### 11. 学位、現在の専門、エフォート

【若手研究（A・B）に応募する場合の入力項目です。】  
それぞれの項目について、必ず入力してください。  
「エフォート」欄は、本応募研究課題が採択された場合を想定した時間の配分率（1～100の整数）を入力してください。  
時間の配分率の決定については、総合科学技術会議におけるエフォートの定義である「研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要な時間のみを指す（%）」という考え方で決定してください。なお、「全年仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すではなく、教育活動等を含めた実質的な全年仕事時間となります。また、英文で研究課題名を入力したとき、e-Radに登録することとなります。

#### 12. 研究課題名

「研究課題名」欄には、研究期間終了時までの研究内容を具体的に表すような研究課題名（一般的、抽象的な表現は避けください。）を原則40字以内で入力してください。英文で研究課題名を入力する場合、半角文字と半角数字が混在する場合、半角文字も1文字と半角文字で200字まで入力可能ですが、金角文字と半角文字も1文字と半角数字で200字まで入力可能です。また、英文で研究課題名を入力した場合には、研究課題名の変更は原則として認めません。  
研究課題名は原則として認めません。  
入力に当たっては、漂点、半濁点はそれだけで独立して1字とはなりませんが、アルファベット、数字、記号等はすべて1字として数えられ、表示されることに留意し、化学式、数式の使用は極力避けてください。（表示例 Ca<sup>2+</sup> → Ca<sup>2+</sup>）。

#### 13. 研究の要約

【基盤研究（B・C）審査区分「特設分野研究」に応募する場合の入力項目です。】  
応募する研究課題の研究目的及び研究方法等について、簡潔にわかりやすくまとめて入力してください。和文又は英文どちらか一方で入力ができます。なお、全角文字のみの場合は500字、半角文字のみの場合は1000字まで入力が可能です。

#### 14. 研究経費

「研究経費」欄には、研究計画に基づき、年度別・使用内訳別に応募研究経費を入力してください。  
その際、以下に記載している「対象となる経費（直接経費）」及び「対象とならない経費（間接経費）」に留意してください。また、研究期間のいずれかの年度における研究経費の額が10万円未満の研究計画は公募の対象となりませんので、ご注意ください。  
年度ごと、使用内訳ごとの合計額においては、入力後の確認画面において自動表示されますので、入力した金額と併せて確認してください。  
入力に当たっては、金額は千円単位で入力し、千円未満の端数は切り捨てください。  
また、①応募する年度において該当のない費目、②応募しない年度の全ての費目については、必ず全ての欄に「0」を入力してください。

#### 9. 対象となる経費（直接経費）

研究計画の遂行に必要な経費（研究成果の取りまとめに必要な経費を含む）を対象としています。

注) 研究計画のいずれかの年度において、「設備備品費」、「旅費」又は「人件費・謝金」のいずれかの経費が90%を超える研究計画の場合、及びその他の費用で特に大きな割合を占める経費がある研究計画の場合は、当該経費の研究遂行上の必要性について、研究計画摘要書に記載しなければなりません。

#### 「対象とならない経費」

次の経費は対象となりません。  
① 建物等の施設に購入する経費（直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な賃料等のための経費を除く。）  
② 補助事業遂行中に発生した事故・災害の処理のための経費  
③ 研究代表者又は研究分担者の人件費・謝金  
④ その他、間接経費（注）を使用することが適切な経費

注) 研究計画の実施に伴う研究機関の管理等に必要な経費（直接経費の30%に相当する額）であり、研究機関が使用するものです。  
今回、公募を行いうる研究種目には間接経費が指置される予定ですが、研究代表者は、間接経費を応募書類に記載する必要はありません。

#### 15. 顯示希望の有無

【基盤研究（S）・基盤研究（B・C）審査区分「特設分野研究」】  
採択されなかかった場合の第1段審査（書面審査）の結果について、「審査結果の開示をする」、「審査結果の開示をする区分を選択してください。」  
「研究代表者連絡先」欄には、研究代表者と直接連絡が必要な場合に備えた情報報を入力してください。（例えば勤務先住所は、本部所在地ではなく研究代表者が実際に勤務するキャンパスの所在地を入力してください。）。

#### 16. 研究代表者連絡先

【基盤研究（S）・基盤研究（B・C）審査区分「特設分野研究」】  
「研究代表者連絡先」欄には、研究代表者と直接連絡が必要な場合に備えた情報報を入力してください。（例えば勤務先住所は、本部所在地ではなく研究代表者が実際に勤務するキャンパスの所在地を入力してください。）。

#### 17. 研究組織

【基盤研究・挑戦的萌芽研究に応募する場合の入力項目です。】  
「基盤研究」及び「挑戦的萌芽研究」の研究計画について、必要に応じて「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」を研究に参画させることができます。  
なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義は、次のとおりです。

たせなくなることが見込まれる者は、研究代表者となることを避けさせてください。

(注) 研究代表者は、研究計画の遂行に関してすべての責任を持つ研究者であり、重要な役割を担っています。応募に当たつては、研究期間中に「退職等により応募資格を喪失し、責任を果たせなくなることが見込まれる者は研究代表者となることを避けてください。求めており、研究代表者を交換することは認めていません。ただし、「新学術領域研究（研究領域提案型）」の「総活研研究課題」及び「生命科学系3分野支援活動」については、所要の手続を経て、研究代表者（領域代表者の）交替を認められます。

イ 研究代表者は、研究組織を構成する場合には、研究分担者との関係を明らかにするため、当該研究分担者が異なる研究機関に所属する者の場合にあつては「研究分担者承諾書（他機関用）」を、同じ研究機関に所属する者の場合は「研究分担者承諾書（同一機関用）」を必ず提出し、保管しておかれはなりません。

ウ 研究代表者は、e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されているほか、科研費やそれ以外の競争的資金で、不正使用、不正受給又は不正行為を行ったとして、平成28年度に、「その交付の対象としないこと」とされていないことが必要です。

#### 「研究分担者」

ア 研究分担者は、補助事業者であり、研究計画の遂行に関して研究代表者と協力しつつ、補助事業者としての研究遂行責任を分担して研究活動を行う者のこと（研究代表者と同一の研究機関に所属する研究分担者ではありません。）。

イ 研究分担者は、研究期間中に応募資格の喪失などの理由により、研究分担者となることを避けてください。

ウ 研究分担者は、研究代表者と同様、e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されているほか、科研費やそれ以外の競争的資金で、不正使用、不正受給又は不正行為を行ったとして、平成28年度に、「その交付の対象としないこと」とされないことが必要です。

#### 「連携研究者」

ア 連携研究者は、研究代表者又は研究分担者の監督の下、研究組織の一員として研究計画に参画する研究者のことをいいます。

※ 「研究分担者」と「連携研究者」の違いは、科研費制度上の位置付けの違いであって、研究活動における役割の重要性は同じです。

#### 「研究協力者」

ア 研究協力者は、研究代表者、研究分担者及び連携研究者以外の者で、研究課題の遂行に当たり、協力をうける者のことをいいます。

※ 「研究分担者」と「連携研究者」の違いは、科研費制度上の位置付けの違いであって、研究活動における役割の重要性は同じです。

ア 研究協力者は、研究代表者、研究分担者及び連携研究者（RA）、日本学術振興会特別研究員（D C 及び研究扶助金受賞者）として本会に届け出ている研究機関における研究者（海外共同研究者）、科学研究費補助金取扱規程第2条に基づく指定を受けている企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者等

イ 研究協力者は、必ずしも e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されている必要があります。

また、「研究組織」は、次のことに留意して入力してください。

(1) 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）の入力欄は、入力画面左側の「追加」ボタンを入数分押すことなどでデータ入力欄が表示されれます。しかし、使用しないデータ入力欄が使用しない場合や全く入力しなかった場合は、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除してください。  
画面最下部に表示される「研究組織人数」欄は、データ入力欄の数により自動表示されます。「研究組織人数」欄の数字と実際にありますデータの合計人數が合わない場合は、入力後の確認画面においてエラーが表示されますので、入力しなかったデータ入力欄は必ず削除してください。  
「基盤研究（B）審査区分『特設分野研究』」、「基礎研究（C）」及び「挑戦的萌芽研究」において、2年目以降には「研究分担者」欄がいる場合に、研究組織に入力することができます。その場合の「平成28年度研究経費」、「エフオート」欄には「0」を入力してください。

(2) 研究分担者、連携研究者の別「区分」欄には、「研究分担者」、「連携研究者」のうち該当する区分を選択してください。

(3) 海外共同研究者や科研費への応募資格を有しない企業の研究者等との共同研究を含む場合、これらは「研究協力者」となることから、当該研究課題の研究組織には入力せず、研究計画調書等作成・記入要領の指示に従い、作成する研究計画調書の「研究計画・方法」欄等、全体の研究計画を説明する中で記載してください。

(4) 研究者情報 (①「研究者番号」、②「氏名（フリガナ・漢字等）」、③「年齢（平成28年4月1日現在）」、④「所属研究機関・部局・職」、⑤「現在の専門」及び⑥「学位」) は、当該研究者に対する正確な情報を、各研究者本人及び研究者の所属研究機関・部局・職の番号一覧は、入力欄のうえ、入力または選択してください。（所属研究機関・部局・職の番号一覧は、入力欄から呼び出すことができます。）  
ただし、研究代表者（うち①②③④）は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者の情報が正確に登録されていることを確認してください。

(5) 「部局」欄について、部局番号一覧の名称が実際に所属する部局名と異なる場合は、実際の部局名を入力してください。部局レベルの所属がない場合は名称欄には入力不要です。）。  
(6) 「職」欄について、職番号一覧の名称が実際の職名と異なる場合は、実際の職名を入力してください。

(7) 「役割分担」欄には、平成28年度の研究実施計画に対する分担事項を中心には、研究代表者、研究分担者及び連携研究者がどのように協力して研究を行うのか、それぞれの関連がわかるように入力してください。

(8) 「平成28年度研究経費」欄は、研究計画に基づき、研究代表者及び研究分担者への配分額を千円単位で入力してください（連携研究者については分担金の配分ができない場合は入力不要です。）。  
各研究者への配分額の合計金額が「1.4. 研究経費」の「平成28年度の研究経費欄の合計金額」と一致するようにしてください。（一致しない場合は、入力後の確認画面においてエラーが表示されます。）。

(9) 「エフオート」欄は、研究代表者及び研究分担率（1～100の整数）を入力してください（連携研究者について、本応募研究課題が採択された場合を想定した時間の配分率）。

「研究者の年間の全仕事時間（%）」という考え方で決定してください。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。

また、本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフオートを決定していただき、e-Rad に登録することになります。

## 応募情報（Web入力項目）画面イメージ【基盤研究（S）・日本語版】①

JSPS 科田電子申請システム																																											
応募者回答画面(応募情報入力) > 研究者登録情報(応募情報入力)																																											
応募情報入力 English																																											
画面を表示してから29分経過 最終保存日時：入力内容は保存されません。																																											
<p>※ついで項目は必選項目です。＊印がある場合、または、セミコロン(;)で区切られた複数の選択肢の中から1つを選択する場合があります。(複数選択肢の中から複数の選択肢を複数個選択する場合は「複数ワード」の「複数ワード」を用いてください。)</p> <p>▶一時保存をして次へ進む</p>																																											
<p><b>平成28年度 (2016年度) 基盤研究(S) 研究計画書</b></p>																																											
<p>● 一時保存</p>																																											
<p>● 保存せずに戻る</p>																																											
<p>研究計画最終年度 前年度応募の有無</p>																																											
<p>* (回答) 平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画の詳 細番号入力)</p>																																											
<p>* (回答) 研究課題番号を入力)</p>																																											
<p>研究計画最終年度 前年度応募の有無</p>																																											
<p>* (回答) 一時</p>																																											
<p>● 請願区分</p>																																											
<p>* (回答) 研究課題番号を入力)</p>																																											
<p>● 分野</p>																																											
<p>* (回答) 研究課題番号を入力)</p>																																											
<p>● 分野</p>																																											
<p>* (回答) 研究課題番号を入力)</p>																																											
<p>● 分野</p>																																											
<p>* (回答) 研究課題番号を入力)</p>																																											
<p>● 細目表以外のキーワード</p>																																											
<p>* (回答) 研究課題番号に該当するキーワードの記号を入力してください。)</p>																																											
<p>画面を表示してから29分経過 一時保存</p>																																											
<p>研究代表者氏名 所属研究機関 部局 職 研究課題名</p>																																											
<p>(漢字半角) 一郎 AAA大学 ○○部 教諭 英文(半角)の場合は(200字以内。)</p>																																											
<p>【研究全費(千円未満の端数は切り捨てる)】(0の場合も入力すること。)</p>																																											
<p>研究経費 設備品費 消耗品費 人件費・謝金 その他</p>																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>研究経費 (千円)</th> <th>設備品費</th> <th>消耗品費</th> <th>人件費・謝金</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>0*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>0*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>0*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>0*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>0*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		年度	研究経費 (千円)	設備品費	消耗品費	人件費・謝金	その他	平成28年度	0*	0	*	0	*	平成29年度	0*	0	*	0	*	平成30年度	0*	0	*	0	*	平成31年度	0*	0	*	0	*	平成32年度	0*	0	*	0	*	総計	0	0	0	0	0
年度	研究経費 (千円)	設備品費	消耗品費	人件費・謝金	その他																																						
平成28年度	0*	0	*	0	*																																						
平成29年度	0*	0	*	0	*																																						
平成30年度	0*	0	*	0	*																																						
平成31年度	0*	0	*	0	*																																						
平成32年度	0*	0	*	0	*																																						
総計	0	0	0	0	0																																						
<p>開示希望の有無</p>																																											
<p>元 * (住所)* 電話番号:* FAX番号:* Email:*</p>																																											
<p>画面を表示してから29分経過 一時保存</p>																																											

## 応募情報（Web入力項目）画面イメージ【基盤研究（S）・日本語版】②

[研究組織(研究代表者、研究分担者及び連携研究者)]																																																							
※追加項目として研究者が会員登録及び連携研究者登録を行った場合は、登録された連携研究者の登録情報又は会員登録情報による登録情報は既定登録情報として登録されます。使用しない場合へかご登録ください。																																																							
登録情報によっては、当該欄を空欄の状況下に登録する場合があります。																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>氏名(年齢)</th> <th>所属研究機関</th> <th>部署</th> <th>現役専門 3級助教相当 研究員 千円)</th> <th>エラー エラー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研究代表者</td> <td>(研究番号) 9999999999 (フリガナ) タモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才</td> <td>(番号) 99999 AAA大学 (番号) 9999944学部 (番号) 20 教授 * (番号) 研究者番号</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>1.* 2.* 3.*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>研究員</td> <td>(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>1.* 2.* 3.*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>研究員</td> <td>(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>1.* 2.* 3.*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>研究員</td> <td>(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>1.* 2.* 3.*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>研究員</td> <td>(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>1.* 2.* 3.*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>研究員</td> <td>(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>1.* 2.* 3.*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>研究員</td> <td>(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>1.* 2.* 3.*</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>研究員</td> <td>(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)</td> <td>1.* 2.* 3.*</td> <td>*</td> </tr> </tbody> </table>		区分	氏名(年齢)	所属研究機関	部署	現役専門 3級助教相当 研究員 千円)	エラー エラー	研究代表者	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) タモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(番号) 99999 AAA大学 (番号) 9999944学部 (番号) 20 教授 * (番号) 研究者番号	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*	研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*	研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*	研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*	研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*	研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*	研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*	研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*
区分	氏名(年齢)	所属研究機関	部署	現役専門 3級助教相当 研究員 千円)	エラー エラー																																																		
研究代表者	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) タモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(番号) 99999 AAA大学 (番号) 9999944学部 (番号) 20 教授 * (番号) 研究者番号	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*																																																		
研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*																																																		
研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*																																																		
研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*																																																		
研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*																																																		
研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*																																																		
研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*																																																		
研究員	(研究番号) 9999999999 (フリガナ) トモイチロウ (漢字半角) 田中 一郎 (年齢) 00.才	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	(性) * (姓) フリガナ (名) 田中 一郎 * (番号)	1.* 2.* 3.*	*																																																		
<p>画面を表示してから29分経過 一時保存</p>																																																							

## 応募情報（Web入力項目）画面イメージ【基盤研究（A・B）（一般）・日本語版】①

**JSPS 科研費電子申請システム**

応募回数が二回以上の場合、面接課題又は研究計画書等の審査結果又は採択通知書等が表示されます。

**応募情報入力** **Japanese English**

画面を表示してから29分経過 最終保存日時: XXXX年XX月XX日 XX時XX分

● \*のついた項目は必須項目です。  
 ● 入力中に、誤字脱字等で下記の赤い点検ボタンが点灯する場合は、「電子申請用語典」の該当用語を確認するか、又は「該段落の修正」ボタンを押すと、該段落の該用語を修正することができます。  
 ● 「複数ワード（複数番号）を聞いて明確にする」と、システムが正常に動作しない場合は、複数ワードでのご用意は接入してください。

➡ 一時保存をして次へ進む

**平成28年度（2016年度）基盤研究（AB）一般 研究計画調書**

● 保存せずに戻る

**新規・継続区分**

研究計画最終年度  
前年度応募の有無  
面接をする場合、平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画の課題番号を入力)

**細目番号** **一覧**

● 分割番号

● 分野

● 分科

● 調査名

● 細目表キーワード **一覧**

● 細目表以外のキーワード

● \* (細目表キーワード一覧から、入力した細目番号中の該当するキーワードのID号を入力してください。)

研究代表者氏名  
(漢字等) 代表 一部  
所属研究機関  
番号: 999999 AAA大学  
職  
職  
研究課題名  
(40字以内、英文(半角)の場合は200字以内。)

面接を表示してから29分経過

一時保存

**応募内容ファイル選択**

作成した応募内容ファイル（Word又はPDF）を選択してください。  
[参照](#)

● 応募内容を修正する場合は、修正済みの応募内容ファイルを読み込んで、前のファイルが削除されて上書きされます。  
 ● 応募内容ファイルに修正がない場合は、応募内容ファイル選択は空欄になります。  
 ● 応募内容ファイルに修正はない場合は、Word又はPDFファイルを選択することができます。（PDFファイルは本会並びに文部科学省が認定する様式）  
 ● 応募内容ファイル選択の場合は、該段落の該用語を修正することができますので、余白詰込みで入力しないでください。

● 開示希望の有無

面接を表示してから29分経過

一時保存

## 応募情報（Web入力項目）画面イメージ【基盤研究（A・B）（一般）・日本語版】②

**JSPS 科研費電子申請システム**

【研究組織（研究代表者・研究分担者及び連携研究者）】

※項目記入欄は、入力画面左側の項目記入欄を含めてください。  
 場合については、当該欄の左側の[削除]ボタンを押すことでデータ入力が削除されます。使用しない欄に入力したが削除されない場合や全く入力しなかった場合。

区分	氏名／年齢	所属研究機関	一覧	所属研究機関	一覧	現地の専門 3.技術分野	現地の専門 3.技術分野	平成28年 度 研究経費 (千円)	平成28年 度 研究経費 (千円)
研究代表者	(研究者番号) 9999999999 (登録者名) 例：イチロウ (年齢) 30才	(番号) 9999 AAA大学 (登録者名) 例：イチロウ (年齢) 30才	(番号) 9999 AAA大学 (登録者名) 例：イチロウ (年齢) 30才	1.* 2.* 3.*	1.* 2.* 3.*	1.* 2.* 3.*	1.* 2.* 3.*		
用紙	* (研究者番号)	(番号)	(番号)						
用紙	(登録者名) * (登録者名) * (登録者名)	(登録者名) * (登録者名) * (登録者名)	(登録者名) * (登録者名) * (登録者名)						
用紙	(年齢) * (年齢) * (年齢)	(年齢) * (年齢) * (年齢)	(年齢) * (年齢) * (年齢)						
用紙	* (研究者番号) (登録者名) * (登録者名) * (登録者名)	(登録者名) * (登録者名) * (登録者名)	(登録者名) * (登録者名) * (登録者名)						
用紙	(登録者名) * (登録者名) * (登録者名)	(登録者名) * (登録者名) * (登録者名)	(登録者名) * (登録者名) * (登録者名)						
用紙	(年齢) * (年齢) * (年齢)	(年齢) * (年齢) * (年齢)	(年齢) * (年齢) * (年齢)						
用紙									

● 画面を表示してから29分経過

一時保存

## 応募情報(Web入力項目)画面イメージ【基盤研究(C)(一般)・日本語版】①

JSPS 科田費電子申請システム		応募情報入力			Japanese English	
画面を表示してから29分経過						
最終保存時・入力内容は保存されています。						
*についての項目は必須項目です。 • 請求書保存して下さい。他の確認用ボタンを押すと、提出用データを必要回数で複数作成できます。 • 研究代表者の登録情報を修正する場合は、「審査申請」ボタンより修正を行って下さい。 <b>複数ワード(複数ワード)を開いて利用する」と、システムが正常に動作しない場合があります。複数ワードでのご利用は控えてください。                 </b>						
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">一時保存</span>		<span style="background-color: #ffccbc; padding: 2px;">保存せず戻る</span>				
<b>平成28年度(2016年度)基盤研究(C)一般</b> <small>(扶助金: 基盤研究(C)の申請書類番号を入力してください)</small>		<small>研究計画書</small> <small>研究計画書を提出する場合は、研究計画書の最終年度に当たる研究計画書の詳述欄を入力</small>				
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>削除・隸属区分</b>			<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除の場合、研究計画書番号を入力</small>		<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画書の詳述欄を入力</small>	
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>研究計画最終年度</b> <small>削除する場合は、平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画書の詳述欄を入力</small>			<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画書の詳述欄を入力</small>		<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画書の詳述欄を入力</small>	
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>細目番号</b>			<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、英文(半角)の場合(40字以内)。</small>		<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、英文(半角)の場合(40字以内)。</small>	
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>分野</b>			<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、英文(半角)の場合(40字以内)。</small>		<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、英文(半角)の場合(40字以内)。</small>	
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>細目表キーワード</b>			<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>(用法本キーワード一覧から、入力した細目番号に対する記述を入力してください。)</small>		<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>(用法本キーワード一覧から、入力した細目番号に対する記述を入力してください。)</small>	
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>研究代表者氏名</b>		<small>(漢字等)代表 一般                      (番号)38899 AAA大学                      (部門)OO部                      (職)○○ 部長                      研究課題名  <small>(40字以内。英文(半角)の場合(400字以内)。</small> </small>				
<span style="background-color: #ffccbc; padding: 2px;">一時保存</span>						

画面を表示してから29分経過

## 応募情報(Web入力項目)画面イメージ【基盤研究(C)(一般)・日本語版】②

JSPS 科田費電子申請システム		応募情報入力			Japanese English	
画面を表示してから29分経過						
最終保存時・入力内容は保存されています。						
*についての項目は必須項目です。 • 請求書保存して下さい。他の確認用ボタンを押すと、提出用データを必要回数で複数作成できます。 <b>複数ワード(複数ワード)を開いて利用する</b> と、システムが正常に動作しない場合があります。複数ワードでのご利用は控えてください。						
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">一時保存</span>		<span style="background-color: #ffccbc; padding: 2px;">保存せず戻る</span>				
<b>平成28年度(2016年度)基盤研究(C)一般</b> <small>(扶助金: 基盤研究(C)の申請書類番号を入力してください)</small>		<small>研究計画書</small> <small>研究計画書を提出する場合は、研究計画書の最終年度に当たる研究計画書の詳述欄を入力</small>				
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>削除・隸属区分</b>			<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除の場合、研究計画書番号を入力</small>		<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画書の詳述欄を入力</small>	
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>研究計画最終年度</b> <small>削除する場合は、平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画書の詳述欄を入力</small>			<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画書の詳述欄を入力</small>		<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画書の詳述欄を入力</small>	
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>細目番号</b>			<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、英文(半角)の場合(40字以内)。</small>		<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、英文(半角)の場合(40字以内)。</small>	
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>分野</b>			<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、英文(半角)の場合(40字以内)。</small>		<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>削除する場合は、英文(半角)の場合(40字以内)。</small>	
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>細目表以外のキーワード</b>			<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>(用法本キーワード一覧から、入力した細目番号に対する記述を入力してください。)</small>		<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <small>(用法本キーワード一覧から、入力した細目番号に対する記述を入力してください。)</small>	
<span style="background-color: #d3d3d3; padding: 2px;">削除</span> <b>研究代表者氏名</b>		<small>(漢字等)代表 一般                      (番号)38899 AAA大学                      (部門)OO部                      (職)○○ 部長                      研究課題名  <small>(40字以内。英文(半角)の場合(400字以内)。</small> </small>				
<span style="background-color: #ffccbc; padding: 2px;">一時保存</span>						

画面を表示してから29分経過

## 応募情報（Web入力項目）画面イメージ【基盤研究（A・B）（海外学術調査）・日本語版】①

応募情報入力																																																																				
<span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">JSPS 科学費電子申請システム</span> <span style="margin-left: 10px;"><a href="#">ログアウト</a></span>																																																																				
<p><b>※注意事項</b></p> <p>研究回数が二つ以上ある場合は、複数回の応募回数を用いて複数回の申請を行ってください。 ※助成金の申請の場合は、該当欄に左側の印を押して下さい。</p>																																																																				
<p>画面を表示してから29分経過 最終保存日時: 2000年xx月xx日 xx時xx分</p> <p>平成28年度 (2016年度) 基盤研究(A)海外学術調査 研究計画書 調査  <span style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px;">● 一時保存</span> <span style="background-color: #f48fb1; color: black; padding: 2px;">● 保存せずに戻る</span> <span style="background-color: #33a02c; color: white; padding: 2px;">● 次へ進む</span> </p> <p>新規・継続区分</p> <p>研究計画最終年度          前年度応募の有無          応募する場合、平成28年度が研究期間の最終年度に当たる研究計画書の課題番号を入力</p> <p>審査希望分野          関連する細目番号          分野          分科          種目</p> <p><b>画面を表示してから29分経過</b></p> <p><b>一時保存</b></p>																																																																				
<p>研究代表者氏名          (フリガナ) 大山 一郎          (番号) 99999          所属研究機関          部局          職          研究課題名          (40字以内、英文・半角の場合は「(英文字数:200字)」内)</p> <p><b>画面を表示してから29分経過</b></p> <p><b>一時保存</b></p>																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>研究費 (千円)</th> <th>設備費 支 出 (千円)</th> <th>設備品 質</th> <th>消 耗 品 質</th> <th>使 用 内 訳 (千円)</th> <th>添 附 金</th> <th>入 会 費</th> <th>謝 金</th> <th>其 他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>0*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>0*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>0*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>0*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> <td>*</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td><b>総 計</b></td> <td><b>0</b></td> <td><b>0</b></td> <td><b>*</b></td> <td><b>0</b></td> <td><b>*</b></td> <td><b>0</b></td> <td><b>*</b></td> <td><b>0</b></td> <td><b>*</b></td> <td><b>0</b></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>開示希望の有無</b></p> <p><b>画面を表示してから29分経過</b></p> <p><b>一時保存</b></p>				年 度	研究費 (千円)	設備費 支 出 (千円)	設備品 質	消 耗 品 質	使 用 内 訳 (千円)	添 附 金	入 会 費	謝 金	其 他	平成28年度	0*	0	*	0	*	0	*	0	*	0	平成29年度	0*	0	*	0	*	0	*	0	*	0	平成30年度	0*	0	*	0	*	0	*	0	*	0	平成31年度	0*	0	*	0	*	0	*	0	*	0	<b>総 計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>*</b>	<b>0</b>	<b>*</b>	<b>0</b>	<b>*</b>	<b>0</b>	<b>*</b>	<b>0</b>
年 度	研究費 (千円)	設備費 支 出 (千円)	設備品 質	消 耗 品 質	使 用 内 訳 (千円)	添 附 金	入 会 費	謝 金	其 他																																																											
平成28年度	0*	0	*	0	*	0	*	0	*	0																																																										
平成29年度	0*	0	*	0	*	0	*	0	*	0																																																										
平成30年度	0*	0	*	0	*	0	*	0	*	0																																																										
平成31年度	0*	0	*	0	*	0	*	0	*	0																																																										
<b>総 計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>*</b>	<b>0</b>	<b>*</b>	<b>0</b>	<b>*</b>	<b>0</b>	<b>*</b>	<b>0</b>																																																										

## 応募情報（Web入力項目）画面イメージ【基盤研究（A・B）（海外学術調査）・日本語版】②

応募情報入力																																															
<p><b>※研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）</b></p> <p>※助成金の申請の場合は、該当欄に左側の印を押して下さい。</p>																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>氏名（年齢）</th> <th>所属機関</th> <th>所属部門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研究代表者</td> <td>(研究者番号) 99999999999 (フリガナ) 大山 一郎 (番号) 9999 (職位) 000 *研究者番号</td> <td>(番号) 99999 AAAA大学 (番号) 9999 AA部 (番号) 120 教授</td> <td>1. 現在の専門 2. 研究会員 3. 検討会員 *エラー</td> </tr> <tr> <td>副幹</td> <td>(フリガナ) (性別等) *研究者番号</td> <td>(性別等) *研究者番号</td> <td>1. *</td> </tr> <tr> <td>副幹</td> <td>(性別等)</td> <td>(性別等)</td> <td>2. *</td> </tr> <tr> <td>副幹</td> <td>(性別等)</td> <td>(性別等)</td> <td>3. *</td> </tr> <tr> <td>副幹</td> <td>(性別等)</td> <td>(性別等)</td> <td>1. *</td> </tr> <tr> <td>副幹</td> <td>(性別等)</td> <td>(性別等)</td> <td>2. *</td> </tr> <tr> <td>副幹</td> <td>(性別等)</td> <td>(性別等)</td> <td>3. *</td> </tr> <tr> <td>副幹</td> <td>(性別等)</td> <td>(性別等)</td> <td>1. *</td> </tr> <tr> <td>副幹</td> <td>(性別等)</td> <td>(性別等)</td> <td>2. *</td> </tr> <tr> <td>副幹</td> <td>(性別等)</td> <td>(性別等)</td> <td>3. *</td> </tr> </tbody> </table>				区分	氏名（年齢）	所属機関	所属部門	研究代表者	(研究者番号) 99999999999 (フリガナ) 大山 一郎 (番号) 9999 (職位) 000 *研究者番号	(番号) 99999 AAAA大学 (番号) 9999 AA部 (番号) 120 教授	1. 現在の専門 2. 研究会員 3. 検討会員 *エラー	副幹	(フリガナ) (性別等) *研究者番号	(性別等) *研究者番号	1. *	副幹	(性別等)	(性別等)	2. *	副幹	(性別等)	(性別等)	3. *	副幹	(性別等)	(性別等)	1. *	副幹	(性別等)	(性別等)	2. *	副幹	(性別等)	(性別等)	3. *	副幹	(性別等)	(性別等)	1. *	副幹	(性別等)	(性別等)	2. *	副幹	(性別等)	(性別等)	3. *
区分	氏名（年齢）	所属機関	所属部門																																												
研究代表者	(研究者番号) 99999999999 (フリガナ) 大山 一郎 (番号) 9999 (職位) 000 *研究者番号	(番号) 99999 AAAA大学 (番号) 9999 AA部 (番号) 120 教授	1. 現在の専門 2. 研究会員 3. 検討会員 *エラー																																												
副幹	(フリガナ) (性別等) *研究者番号	(性別等) *研究者番号	1. *																																												
副幹	(性別等)	(性別等)	2. *																																												
副幹	(性別等)	(性別等)	3. *																																												
副幹	(性別等)	(性別等)	1. *																																												
副幹	(性別等)	(性別等)	2. *																																												
副幹	(性別等)	(性別等)	3. *																																												
副幹	(性別等)	(性別等)	1. *																																												
副幹	(性別等)	(性別等)	2. *																																												
副幹	(性別等)	(性別等)	3. *																																												
<p>研究組織人数 3 名          画面を表示してから29分経過  <b>一時保存</b></p>																																															

- 応募内容を修正する場合は、修正済みの応募内容用ファイルを登録したあと、前のファイルが削除されて上書きされます。
- 応募内容用ファイルに修正しない場合は、応募内容用ファイルの代わりにPDFファイルを登録することができます。(PDFファイルは応募内容用ファイル形式(Word又は本会並びに文部科学省が規定する様式)で提出する場合があります)。
- 応募内容用ファイル形式の末尾記述を更新するごとに、エラーとなる場合がありますので、余白部記述は変更しないでください。

<p>応募内容用ファイル選択</p> <p>作成した応募内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください。</p> <p><a href="#">参照</a></p> <p>ロクダクト</p>			
<p>▼</p> <p>応募内容用ファイルを選択して下さい。</p> <p><b>➡ 一時保存を次へ進む</b></p> <p><b>一時保存</b></p>			

## 応募情報(Web入力項目)画面イメージ【基盤研究(B・C)(特設分野研究)・日本語版】①

	<a href="#">ログアウト</a>
<p>応募金回付カーネギー研究分野情報入力(応募情報入力と審査評議会用件名)へ進む</p>	
応募情報入力	
Japanese • English	
画面を表示してから29分経過	
最終保存日時: - 入力内容は保存されません。	
<p>&lt;注意事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 1つ以上の項目は必須項目です。各項目にセレクションアイテム(エラーカウント)が表示されない場合が保存されることがあります。複数一時保存ボタン(アラバスト)で一時保存して複数登録できます。</li> <li>* 情報を削除して下さる場合、データが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。</li> <li>* 複数の「(PDF)」(複数)を聞いて明確にするため、システムが正常に動かない場合はあります。複数の「(PDF)」(複数)でデータを複数登録して下さい。</li> </ul>	
◆一時保存をして次へ進む	
<p><b>平成23年度(2016年度)基盤研究(B・C)特設分野研究 研究企画書調査</b></p> <p>* (情報)には、研究企画書調査を行なう各種申請の趣旨のみを記入します。</p>	
<p><b>新規・編集区分</b></p> <p>● 研究企画書調査手続を入力)</p>	
<p>● 運営実績や歴史</p> <p>● 研究者実績研究科学</p> <p>● 分析研究</p> <p>● 研究活動制御</p> <p>● 構成員ノンアカデミック</p> <p>● グローバル・スタンダード</p> <p>● 人物ノンアカデミック</p> <p>● 機械系実験装置</p>	
<p><b>キーワード</b></p> <p>* (改行は使用不可) 600字以内。英文(半角)の場合1000字以内。)</p>	
<p>研究代表者氏名 所属研究室機関 部局 職 研究課題名 研究の要約</p>	
<p style="text-align: right;">画面を表示してから29分経過</p> <p><a href="#">一時保存</a></p>	

	<a href="#">ログアウト</a>
<p>応募金回付カーネギー研究分野情報入力(応募情報入力と審査評議会用件名)へ進む</p>	
応募情報入力	
Japanese • English	
画面を表示してから29分経過	
最終保存日時: - 入力内容は保存されません。	
<p>&lt;注意事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 応募内容を修正する場合は、修正済みの応募内容ファイルを保存しながら、前のファイルが削除されて上書きされます。</li> <li>* 応募内容ファイルに修正がない場合は、応募内容ファイル選択時は空欄になります。改訂版を複数登録する場合は、(PDF)ファイルで応募内容ファイルを複数登録してください。</li> <li>* 応募内容ファイル修正是Word形式とPDF形式の間で行なう場合は、Word形式は日本語に文部科学省が制定する様式(文部科学省のWordテンプレート)と異なる場合がありますので、余白詰込みを変更して下さい。</li> </ul>	
<p>作成した応募内容ファイル(Word或PDF)を選択してください。</p> <p><input type="button" value="● PDF作成"/></p>	
<p>研究組織人数 3 名</p> <p>画面を表示してから29分経過</p> <p><a href="#">一時保存</a></p>	

## 応募情報(Web入力項目)画面イメージ【基盤研究(B・C)(特設分野研究)・日本語版】②

<p>【研究組織(研究代表者、研究分担者及び連携研究者)】</p> <p>* 応募組織登録(登録ID: パスワード)へ研究分担者登録(登録ID: パスワード)</p> <p>* 詳細説明(登録ID: パスワード)へ研究代表者登録(登録ID: パスワード)</p> <p>* 研究分担者登録(登録ID: パスワード)へ連携研究者登録(登録ID: パスワード)</p>																																																																																	
<p>※追加登録(登録ID: パスワード)へ研究分担者登録(登録ID: パスワード)</p> <p>* 研究組織登録IDと連携研究者の登録IDを同一に登録する場合、連携研究者は研究組織登録IDでログインすることができます。</p>																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>氏名(年齢)</th> <th>所属部署・部門</th> <th>所蔵部門・部門</th> <th>現仕事専門 3. 構造分野 研究費 研究費 千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研究代表者</td> <td>(番号:999999 AAA大学 (英語)英一郎 (年齢)30 * * * *</td> <td>(番号:999999999 (英語)オカダ イチロー (年齢)30 * * *</td> <td>(番号:999999 (英語)AAA大学 (年齢)30 * * *</td> <td>1.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号:20 * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>2.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>3.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>1.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>2.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>3.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>1.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>2.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>3.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>1.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>2.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>3.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>1.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>2.*</td> </tr> <tr> <td>構造分野 研究者番号 * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>(番号: * * *</td> <td>3.*</td> </tr> </tbody> </table>		区分	氏名(年齢)	所属部署・部門	所蔵部門・部門	現仕事専門 3. 構造分野 研究費 研究費 千円)	研究代表者	(番号:999999 AAA大学 (英語)英一郎 (年齢)30 * * * *	(番号:999999999 (英語)オカダ イチロー (年齢)30 * * *	(番号:999999 (英語)AAA大学 (年齢)30 * * *	1.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号:20 * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	2.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	3.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	1.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	2.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	3.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	1.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	2.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	3.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	1.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	2.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	3.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	1.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	2.*	構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	3.*
区分	氏名(年齢)	所属部署・部門	所蔵部門・部門	現仕事専門 3. 構造分野 研究費 研究費 千円)																																																																													
研究代表者	(番号:999999 AAA大学 (英語)英一郎 (年齢)30 * * * *	(番号:999999999 (英語)オカダ イチロー (年齢)30 * * *	(番号:999999 (英語)AAA大学 (年齢)30 * * *	1.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号:20 * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	2.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	3.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	1.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	2.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	3.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	1.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	2.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	3.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	1.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	2.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	3.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	1.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	2.*																																																																													
構造分野 研究者番号 * *	(番号: * * *	(番号: * * *	(番号: * * *	3.*																																																																													
<p>画面を表示してから29分経過</p> <p><a href="#">一時保存</a></p>																																																																																	

<p>【研究組織(研究代表者)】(○の場合も入力すること。)</p>	
<p>研究の要約</p>	
<p>研究の開示希望の有無</p>	
<p>研究代表者連絡先 (※ PDFには変換されません)</p>	
<p>電話番号: *</p>	
<p>FAX番号: *</p>	
<p>Email: *</p>	
<p>画面を表示してから29分経過</p> <p><a href="#">一時保存</a></p>	

## 応募情報（Web入力項目）画面イメージ【挑戦的萌芽研究・日本語版】①

JSPS 科学研究電子申請システム																																									
応募者回数(カニュ) >研究者情報画面(応募情報入力>応募情報登録)																																									
<b>応募情報入力</b> Japanese, English																																									
<b>画面を表示してから29分経過</b> 最終保存日時: XXXX年XX月XX日 XX時XX分																																									
<b>&lt;注意事項&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>このついた項目は必須項目です。</li> <li>入力欄に「※」記載がある場合は、該欄を必ず入力して下さい。</li> <li>備考欄が下記の場合は、該欄を必ず入力して下さい。</li> <li><b>複数ワード(複数番号)を聞いて利用するよ、シテが正確に読みこなすぞ!</b></li> </ul>																																									
<b>➡ 一時保存をして次へ進む</b>																																									
<b>平成28年度(2016年度)挑戦的萌芽研究 研究計画調書</b>																																									
<b>* (備考)は、申請書類の各欄を用いて該欄の説明文が表示されます。)         </b>																																									
<b>新規・構造区分</b>																																									
<b>(既往の場合 研究者登録番号を入力)</b>																																									
<b>細目番号</b> <b>一覧</b>																																									
<b>分割番号</b>																																									
<b>分野</b>																																									
<b>分科</b>																																									
<b>細目</b>																																									
<b>細目表キーワード</b> <b>一覧</b>																																									
<b>細目表以外のキーワード</b>																																									
<b>研究代表者氏名</b> <b>所属研究機関</b> <b>部局</b> <b>職</b> <b>研究課題名</b>																																									
<b>(ワード)ダイナミクスイチロウ</b> <b>(漢字等)代表</b> <b>(番号)999</b> <b>○○部</b> <b>教授</b> <b>(番号)20</b> <b>(題名)実験する生物学とその他の融合</b> <b>(40字以内、英文半角の場合1200字以内。)</b>																																									
<b>画面を表示してから29分経過</b> <b>一時保存</b>																																									
<b>[研究経費(千円未満の端数は切り捨てる)]</b> (0の場合は入力すること。)																																									
<b>研究経費</b> <b>使用内訳(千円)</b>																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>研究経費 (千円)</th> <th>設備品費</th> <th>消耗品費</th> <th>旅費</th> <th>人件費</th> <th>謝金</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0*</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td><b>総計</b></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		年度	研究経費 (千円)	設備品費	消耗品費	旅費	人件費	謝金	その他	平成28年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*	0	平成29年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*	0	平成30年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*	0	<b>総計</b>	0	0	0	0	0	0	0
年度	研究経費 (千円)	設備品費	消耗品費	旅費	人件費	謝金	その他																																		
平成28年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*	0																																		
平成29年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*	0																																		
平成30年度	0*	0*	0*	0*	0*	0*	0																																		
<b>総計</b>	0	0	0	0	0	0	0																																		
<b>開示希望の有無</b>																																									
<b>画面を表示してから29分経過</b> <b>一時保存</b>																																									

## 応募情報（Web入力項目）画面イメージ【挑戦的萌芽研究・日本語版】②

<b>【研究組織(研究代表者・研究分担者及び連携研究者)】</b> <b>※追加計タグについて研究分担者及び連携研究者を含め、入力画面半分の追加ボタンを必要な回数押すことでデータ入力が終了する場合や、当該欄の左側の削除ボタンを押すことでデータが削除される場合があります。使用しない場合は入力したが削除されてしまう場合や全く入力された場合</b>																																																																																																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>長名(年齢)</th> <th>所属研究機関 部署</th> <th>一覧</th> <th>所属研究機関 部署</th> <th>一覧</th> <th>1.現行の部門 2.改訂部門 3.抜削部門</th> <th>平成28年度 研究経費 (+H)</th> <th>平成29年度 研究経費 (+H)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研究代表者</td> <td>(研究者番号)99999999 (ワード)ダイナミクスイチロウ (漢字等)代表 (年齢)30才</td> <td>(番号)999 AAA大学 ○○部 教授</td> <td>*</td> <td>(番号)999 AAA大学 ○○部 教授</td> <td>*</td> <td>1.* 2.* 3.*</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(番号)番号</td> <td>(ワード)</td> <td>*</td> <td>(番号)番号</td> <td>(ワード)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(注)*</td> <td>(注)*</td> <td>*</td> <td>(注)*</td> <td>(注)*</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(備考等)</td> <td>(備考等)</td> <td>*</td> <td>(備考等)</td> <td>(備考等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(年齢)才</td> <td>(年齢)才</td> <td>*</td> <td>(年齢)才</td> <td>(年齢)才</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(研究者番号)</td> <td>(ワード)</td> <td>*</td> <td>(研究者番号)</td> <td>(ワード)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(注)*</td> <td>(注)*</td> <td>*</td> <td>(注)*</td> <td>(注)*</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(備考等)</td> <td>(備考等)</td> <td>*</td> <td>(備考等)</td> <td>(備考等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(年齢)才</td> <td>(年齢)才</td> <td>*</td> <td>(年齢)才</td> <td>(年齢)才</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(研究者番号)</td> <td>(ワード)</td> <td>*</td> <td>(研究者番号)</td> <td>(ワード)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(注)*</td> <td>(注)*</td> <td>*</td> <td>(注)*</td> <td>(注)*</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(備考等)</td> <td>(備考等)</td> <td>*</td> <td>(備考等)</td> <td>(備考等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(年齢)才</td> <td>(年齢)才</td> <td>*</td> <td>(年齢)才</td> <td>(年齢)才</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(研究者番号)</td> <td>(ワード)</td> <td>*</td> <td>(研究者番号)</td> <td>(ワード)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(注)*</td> <td>(注)*</td> <td>*</td> <td>(注)*</td> <td>(注)*</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(備考等)</td> <td>(備考等)</td> <td>*</td> <td>(備考等)</td> <td>(備考等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>(年齢)才</td> <td>(年齢)才</td> <td>*</td> <td>(年齢)才</td> <td>(年齢)才</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <b>研究組織人数 3 名</b>  <b>画面を表示してから29分経過</b>      <b>一時保存</b> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <b>応募内容ファイル選択</b>  <b>作成した応募内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください。</b> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <b>添付</b> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>応募内容修正する場合は、修正内容の応募内容ファイルを修正しますと、前のファイルが削除されて上書きされます。</li> <li>応募内容ファイルに修正がない場合、応募内容ファイル情報を空欄のまま提出します。</li> <li>応募内容ファイルについてはWord形式で提出する事が可能です。(PDF形式は応募内容ファイル情報を変更しないでください。)</li> <li>学省が提出する様式についてはWord形式で提出します。</li> <li>応募内容ファイル様式の全文提出を要する場合がありますので、余白部引き変更しないでください。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <b>➡ 一時保存をして次へ進む</b> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <b>一時保存</b> </td> </tr> </tbody></table>		区分	長名(年齢)	所属研究機関 部署	一覧	所属研究機関 部署	一覧	1.現行の部門 2.改訂部門 3.抜削部門	平成28年度 研究経費 (+H)	平成29年度 研究経費 (+H)	研究代表者	(研究者番号)99999999 (ワード)ダイナミクスイチロウ (漢字等)代表 (年齢)30才	(番号)999 AAA大学 ○○部 教授	*	(番号)999 AAA大学 ○○部 教授	*	1.* 2.* 3.*			*	(番号)番号	(ワード)	*	(番号)番号	(ワード)				*	(注)*	(注)*	*	(注)*	(注)*				*	(備考等)	(備考等)	*	(備考等)	(備考等)				*	(年齢)才	(年齢)才	*	(年齢)才	(年齢)才				*	(研究者番号)	(ワード)	*	(研究者番号)	(ワード)				*	(注)*	(注)*	*	(注)*	(注)*				*	(備考等)	(備考等)	*	(備考等)	(備考等)				*	(年齢)才	(年齢)才	*	(年齢)才	(年齢)才				*	(研究者番号)	(ワード)	*	(研究者番号)	(ワード)				*	(注)*	(注)*	*	(注)*	(注)*				*	(備考等)	(備考等)	*	(備考等)	(備考等)				*	(年齢)才	(年齢)才	*	(年齢)才	(年齢)才				*	(研究者番号)	(ワード)	*	(研究者番号)	(ワード)				*	(注)*	(注)*	*	(注)*	(注)*				*	(備考等)	(備考等)	*	(備考等)	(備考等)				*	(年齢)才	(年齢)才	*	(年齢)才	(年齢)才				<b>研究組織人数 3 名</b> <b>画面を表示してから29分経過</b> <b>一時保存</b>		<b>応募内容ファイル選択</b> <b>作成した応募内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください。</b>		<b>添付</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>応募内容修正する場合は、修正内容の応募内容ファイルを修正しますと、前のファイルが削除されて上書きされます。</li> <li>応募内容ファイルに修正がない場合、応募内容ファイル情報を空欄のまま提出します。</li> <li>応募内容ファイルについてはWord形式で提出する事が可能です。(PDF形式は応募内容ファイル情報を変更しないでください。)</li> <li>学省が提出する様式についてはWord形式で提出します。</li> <li>応募内容ファイル様式の全文提出を要する場合がありますので、余白部引き変更しないでください。</li> </ul>		<b>➡ 一時保存をして次へ進む</b>		<b>一時保存</b>	
区分	長名(年齢)	所属研究機関 部署	一覧	所属研究機関 部署	一覧	1.現行の部門 2.改訂部門 3.抜削部門	平成28年度 研究経費 (+H)	平成29年度 研究経費 (+H)																																																																																																																																																																							
研究代表者	(研究者番号)99999999 (ワード)ダイナミクスイチロウ (漢字等)代表 (年齢)30才	(番号)999 AAA大学 ○○部 教授	*	(番号)999 AAA大学 ○○部 教授	*	1.* 2.* 3.*																																																																																																																																																																									
*	(番号)番号	(ワード)	*	(番号)番号	(ワード)																																																																																																																																																																										
*	(注)*	(注)*	*	(注)*	(注)*																																																																																																																																																																										
*	(備考等)	(備考等)	*	(備考等)	(備考等)																																																																																																																																																																										
*	(年齢)才	(年齢)才	*	(年齢)才	(年齢)才																																																																																																																																																																										
*	(研究者番号)	(ワード)	*	(研究者番号)	(ワード)																																																																																																																																																																										
*	(注)*	(注)*	*	(注)*	(注)*																																																																																																																																																																										
*	(備考等)	(備考等)	*	(備考等)	(備考等)																																																																																																																																																																										
*	(年齢)才	(年齢)才	*	(年齢)才	(年齢)才																																																																																																																																																																										
*	(研究者番号)	(ワード)	*	(研究者番号)	(ワード)																																																																																																																																																																										
*	(注)*	(注)*	*	(注)*	(注)*																																																																																																																																																																										
*	(備考等)	(備考等)	*	(備考等)	(備考等)																																																																																																																																																																										
*	(年齢)才	(年齢)才	*	(年齢)才	(年齢)才																																																																																																																																																																										
*	(研究者番号)	(ワード)	*	(研究者番号)	(ワード)																																																																																																																																																																										
*	(注)*	(注)*	*	(注)*	(注)*																																																																																																																																																																										
*	(備考等)	(備考等)	*	(備考等)	(備考等)																																																																																																																																																																										
*	(年齢)才	(年齢)才	*	(年齢)才	(年齢)才																																																																																																																																																																										
<b>研究組織人数 3 名</b> <b>画面を表示してから29分経過</b> <b>一時保存</b>																																																																																																																																																																															
<b>応募内容ファイル選択</b> <b>作成した応募内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください。</b>																																																																																																																																																																															
<b>添付</b>																																																																																																																																																																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>応募内容修正する場合は、修正内容の応募内容ファイルを修正しますと、前のファイルが削除されて上書きされます。</li> <li>応募内容ファイルに修正がない場合、応募内容ファイル情報を空欄のまま提出します。</li> <li>応募内容ファイルについてはWord形式で提出する事が可能です。(PDF形式は応募内容ファイル情報を変更しないでください。)</li> <li>学省が提出する様式についてはWord形式で提出します。</li> <li>応募内容ファイル様式の全文提出を要する場合がありますので、余白部引き変更しないでください。</li> </ul>																																																																																																																																																																															
<b>➡ 一時保存をして次へ進む</b>																																																																																																																																																																															
<b>一時保存</b>																																																																																																																																																																															

## 応募情報(Webl入力項目)画面イメージ【若手研究(A)・日本語版】

JSPS  
科研究電子申請システム

応募意向登録>研究者登録>新規登録>研究者登録登録>新規登録又は研究者登録登録

応募情報入力

Japanese • English

画面を表示してから29分経過

最終保存日時: XXXX年XX月XX日 XX時XX分

<注意事項>

- \*のついた項目は必須項目です。
- 入力中に、必ず「検索」ボタンを押すことで、セレクトドロップダウンメニューから、入力した情報を保存せれない場合があります。例: 申請用の業種が「業種別一覧」の中にある場合、「業種別一覧」ボタンをクリックして情報を表示して下さい。また、セレクトドロップダウンメニューから、入力した情報を保存せれない場合があります。例: 申請用の業種が「業種別一覧」の中にある場合、「業種別一覧」ボタンをクリックして下さい。
- 複数ワード(複数タグ)を組み立てて利用する上、「シスルズか?」常に動作しない場合があります。複数ワードでのご利用ください。

► 一時保存

平成28年度 若手研究(A) 研究計画書

（既述の場合は、研究課題番号を入力）

● 新規・継続区分

● 一時保存

● 保存せずに戻る

細目添品	細目表以外のキーワード	*	（用印をキーワード一覧から、へつら田田番号が記載されたコードの記号を入力してください。）
分宿番号		*	
分野		*	
細目		*	
細目表以外のキーワード		*	

研究代表者氏名	(フリガナ) ダイビヨウ イチロウ
年齢	漢字等(代表) 一郎
所属研究機関	○○○ (S. XX年 XX月生まれ)
部局	(番号) 88888 (番号) 8888 (番号) 8888
職位	助教
現在の専門	助教
エフォート	*
研究課題名	(40字以内。英文(半角)の場合)は200字以内。

画面を表示してから29分経過

► 一時保存

開示希望の有無

画面を表示してから29分経過

► 一時保存

応募内容ファイル選択

作成した応募内容ファイル(Word又はPDF)を選択してください。

応募内容ファイル選択

- 応募内容ファイルに修正がない場合、応募内容ファイルを選択する場合、最初のファイルが削除されます。
- 応募内容ファイルに修正がある場合、WordファイルのやつにPDFファイルを選択する場合、できません。
- 応募内容ファイルの修正が確認できる場合、Wordファイルを選択する場合、修正が反映されません。
- 応募内容ファイルの修正が反映されない場合、Wordファイルを選択する場合、修正が反映されません。

► 一時保存

● 保存せずに戻る





## Ⅱ 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

### 平成 28 年度基盤研究（S） 研究計画調書等作成・記入要領（新規）

以下の項目は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（P D F ファイル）の後半部分を構成することになります。  
研究代表者は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください（3 MB 以上のファイルは添付不可）。

計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」という。）あて提出するものであり、**日本学術振興会の科学研究所委員会における審査資料となるもの**です。  
つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。  
なお、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内定の通知が行われ、この通知に基づき交付申請書を提出し、研究計画調書を作成する際に科研費が交付されることになります。

言己

**※ この研究計画調書様式は、「基礎研究（S）」の「新規応募（研究計画最終年度前年度の応募を含む）」に際して使用する様式です。公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持つて作成してください。なお、「研究代表者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領 3.1～3.2 頁を参照してください。**  
**※ 所定の様式の改変は認めません。**  
**※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。**

#### I 応募情報（W e b 入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（W e b 入力項目）」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）の ID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。  
応募情報（W e b 入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（P D F ファイル）の前半部分を構成することになります。  
応募情報（W e b 入力項目）に係る作成・入力要領は、「平成 28 年度応募情報（W e b 入力項目）（基礎研究（S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B））作成・入力要領」を参照してください。

#### （W e b 入力項目）

1. 新規・継続区分
2. 研究計画最終年度応募の有無
3. 細目番号
4. 分割番号
5. 細目表キーワード・細目表以外のキーワード
6. 研究代表者氏名
7. 所属研究機関・部局・職
8. 研究課題名
9. 研究経費
10. 開示希望の有無
11. 研究代表者連絡先
12. 研究組織

(1) 「研究目的」、「研究計画・方法」、「これまでに受けた研究費とその成果等」、「研究経費の妥当性・必要性」欄  
研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(2) 「今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法」欄  
研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。  
なお、科研費は国民から徴収された税金等でまかなわれるものであるため、研究者は、その研究成果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められています。このため、研究成果を社会・国民に発信する方法（例えば、ホームページの作成、研究成果広報用パンフレットの作成、公開行事等への参加、マスメディアへの発表予定）等についても記述してください。（公募要領 8～9 頁参照）

(3) 「研究計画最終年度前年度の応募を行う場合の記入事項」欄  
「研究計画最終年度前年度の応募」として新規に応募する場合は（公募要領 2.1 頁参照）、研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(4) 「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の開運性」欄  
平成 26 年度又は平成 27 年度に、「特別推進研究」、「基礎研究（S）」又は「若手研究（S）」において、研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(5) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄  
研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インターネット調査・提件を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA 実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等に

おける承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

#### (6) 「主な現有設備」欄

この研究計画のために利用可能な現有機器類について記入してください。  
なお、共同利用設備や他の研究計画と共同利用する場合は、選当たり利用可能時間、その他との説明を備考欄に記入してください。

- (7) 「設備品費の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつつ計を入れて記入してください。  
多數の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、單に〇〇〇一式とするだけではなくその内訳も記入してください。
- (8) 「消耗品費等の明細」欄には、次のこととに留意して記入してください。
- ① 消耗品費(は、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入してください。
  - ② 旅費は、国内旅費及び外国旅費に分けて、研究代表者、研究分担者、連携研究者及び研究協力者の海外・国内外出張(資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等)のための経費(交通費、宿泊費、日当)等その事項毎に記入してください。
  - ③ 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アシスタントの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者(ボストドクター・リサーチアシスタント(R.A.)・外国の機関に所属する研究者等)に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等その事項毎に記入してください。  
(例) 資料整理(内訳: ○人×○月)・△△△千円)
- (4) その他は、上記のほか当該研究を遂行するための経費(例: 印刷費、複写費、現像料・焼付費、通信費(切手、電話等)・運搬費、研究実施場所借り上げ費(研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る)、会議費(会場借料、食事(アルコール類を除く)費用等)、リース・レンタル費用(コンピュータ、自動車、実験機器・器具等)、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果發表費用(学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用等)、実験廃棄物処理費)等その事項毎に記入してください。

#### 2. 研究者調書

研究者調書は、研究代表者及び研究分担者毎(研究組織の欄に記載の順番)に別葉で作成してください。  
なお、基盤研究(S)は一人又は比較的小少人数の研究者で組織する研究計画を対象としていることから、研究組織の一員として参画する連携研究者についても必要に応じて作成してください。

- (1) 「生年月日(年齢)」欄  
生年月日(西暦)のあとに平成28年4月1日現在の年齢を( )書きで記入してください。
- (2) 「所属研究機関・部局・職」欄  
研究計画調書作成時点の、所属研究機関・部局・職名を記入してください。
- (3) 「研究業績」欄  
研究計画調書に記載している指示に従つて記入してください。なお、産業財産権等の知的財産権を有する場合は、その旨記入してください。  
(特許出願番号等)

- (4) 「研究費の応募・受入等の状況・エフォート」欄  
研究代表者及び研究分担者の応募時点における、「(1)応募中の研究費」、「(2)受入予定の研究費」、「(3)その他の活動」について、次のことに留意し、それぞれの状況を記入してください。
- ・「(1)応募中の研究費」、「(2)受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。
  - ・複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。
  - ・所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても、「(1)応募中の研究費」欄は「(2)受入予定の研究費」のミッションに沿って記入してください。
  - ・所属研究機関の特定の目的に配分される研究費についても、「(1)応募中の研究費」、「(2)受入予定の研究費」欄に記入してください。
  - ・なお、個人へ配分される研究費が明確でない場合は、その旨を「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」欄に記入してください。
  - ・所属研究機関内で、研究活動等を職務として行うべき一律に配分されるような基盤的研究費については、「(1)応募中の研究費」又は「(2)受入予定の研究費」に記入する必要はありませんが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフォートは、「(3)その他の活動」に記入してください。
  - ・また、科研費の連携研究者として参画している研究課題に係るエフォートは、「(3)その他の活動」に記入してください。
  - ・研究分担者が日本学術振興会特別研究员(SPD、PD、RPD)であつて、平成28年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合には、「(2)受入予定の研究費」に記入してください。なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金(研究遂行経費)については、記入しないでください。

- ① 「資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)」  
研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。なお、科研費の場合には研究種目・審査区分名(新学術領域研究(研究領域提案型))にあつては、「計画研究・企画研究」の別を含む。(及び研究期間のみ記入してください。ただし、特別研究員奨励費については、課題番号も記入してください)。
- (例1) 基盤研究(C)審査区分「一般」で研究期間が平成27~30年度  
→ 基盤研究(C)(一般)(H27~30)
  - (例2) 挑戦的萌芽研究で研究期間が平成28~30年度  
→ 挑戦的萌芽研究(H28~30)
  - (例3) 新学術領域研究(研究領域提案型)の計画研究で研究期間が平成28~32年度  
→ 新学術領域研究(研究領域提案型)(計画研究)(H28~32)
- ② 「研究課題名(研究代表者氏名)」  
研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、( )書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。
- ③ 「役割(代表・分担の別)」  
当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。
- ④ 「平成28年度の研究経費(期間全体の額)(千円)」  
平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額(応募中のものは応募額)を上段に記入し、併せて研究期間全體で自ら使用する総額(予定額)を下段に( )書きで記入してください。
- また、本人が研究分担者等の場合は、平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額(予定額)を上段に記入し、併せて研究期間全體で自ら使用する分担金の総額

(予定額)を下段に( )書きで記入してください(分担金が配分されない場合は、それぞれ「0」を記入してください。)。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」欄に記入してください。

⑤「エフォート」  
本欄に記入する、「(1)応募中の研究費」、「(2)受入予定の研究費」及び「(3)その他この活動」に係る全仕事時間を100%として、そのうちそれぞれの研究活動の実施に必要な時間の配分率(%)を記入してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。  
なお、科研費においては、重複応募は可能であっても、重複して採択されることがない研究種目(特別推進研究等)を記載する場合は、「ー」と記入してください。

また、競争的資金制度により研究を行う場合には、当該研究活動に係るエフォートを必ず記入してください。本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定していただき、e-Radに登録することとなります。

⑥「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」  
応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を終つて明確に記入してください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に記入してください。

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学習 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
研究分担者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
連携研究者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

## 平成28年度（2016年度）基盤研究（S）研究計画調書

平成XX年XXX月XXX日  
版

## 新規

研究種目	基盤研究(S)	研究課題名				
分野						
分科						
細目						
細目表 キーワード 細目表以外の キーワード						
研究代表者 氏名 (漢字等)	(フリガナ) (漢字等)					
所属研究機関						
部局						
職						
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年 度	研究経費 (千円)	設備備品費	消耗品費	旅費	使用内訳 (千円) 人件費・謝金 その他
平成28年度						
平成29年度						
平成30年度						
平成31年度						
平成32年度						
総計						
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する					
研究計画最終年度前年度応算	—					

**研究目的**

本欄には、研究の全体構想及びその中の本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。  
 研究費助成事業における審査及び評価に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価（公募要領7・5・参考照）」を参考にしてください。

- ① 研究の学術的背景（本研究に開拓する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）
- ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、
- ③ 当該分野における本研究の学術的な特徴・強調的な点及び予想される結果と意義
- ④ 基盤研究（A）に、本研究と開拓する場合には、到達目標等の相違点、また、開拓のない研究課題を記載している場合には、研究内容等の相違点（該当者は必ず記述してください。）

**研究目的（概要）※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。**

**研究目的（つづき）**

**研究計画・方法（つづき）**

**研究計画・方法**  
 本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成28年度の計画と平成29年度に亘る計画面二分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を設り、具体的かつ明確に記述してください。  
 ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに、行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用い、像を明らかにするために、連携研究者及び研究協力者、担当性及び研究目的との関連性、研究費への応募資格を有しない企業の研究者、その他の技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可）の役割についても記述してください。  
 なお、研究期間の途中で異動や追加等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

**研究計画・方法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。****研究計画・方法**

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成28年度の計画と平成29年度に亘る計画面二分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を設り、具体的かつ明確に記述してください。  
 ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに、行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用い、像を明らかにするために、連携研究者及び研究協力者、担当性及び研究目的との関連性、研究費への応募資格を有しない企業の研究者、その他の技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可）の役割についても記述してください。  
 なお、研究期間の途中で異動や追加等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

## 研究計画・方法（つづき）

## 今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
- ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がいる場合についても必要に応じて記述してください。）
- ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

## 今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
- ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がいる場合についても必要に応じて記述してください。）
- ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

## 研究計画最終年度前年度の行事を行う場合の記入事項（該当者は必ず記入してください（公募要領2.1頁参照））

\*該当しない場合は記入欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

本欄には、研究代表者として行っている平成28年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、今回再構築して本研究を応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を記述してください（なお、本欄に記述する継続研究課題の研究成果等は、基盤S-7の「これまでに受けた研究費、レポートの成績等」欄には記述しないでください。）。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間
			平成28年度～平成28年度

## 当初研究計画及び研究成果等

## 応募する理由

## これまでに受けた研究費とその成果等（つづき）

## これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者及び研究分担者これらに受けた研究費（科研費・所属研究機関より指掌された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、科研費とそれ以外の研究費について、次の点に留意して記述してください。

① それぞれの研究費毎に、研究種目名（科研費直接経費）を記入の上、研究成績（年度）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成績及び中間・事後評価（当該研究費の研究進捗評価結果がある場合に記入）、研究課題の開通性（平成26年度又は平成27年度の科研費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください（平成26年度又は平成27年度の科研費の配分機関が行うものに限る。）。

② 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述ください。

## これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者及び研究分担者これらに受けた研究費（科研費・所属研究機関より指掌された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、科研費とそれ以外の研究費について、次の点に留意して記述してください。

① それぞれの研究費毎に、研究種目名（科研費直接経費）を記入の上、研究成績（年度）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成績及び中間・事後評価（当該研究費の研究進捗評価結果がある場合に記入）、研究課題の開通性（平成26年度又は平成27年度の科研費の配分機関が行うものに限る。）。

② 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述ください。

**研究計画と研究遂行評価を受けた研究課題の関連性**

・本欄には、本応募の研究代表者が、平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」の研究代表者として、研究遂行評価を受けた場合に記述してください。  
 ・本欄には、研究計画と研究遂行評価を受ける研究課題があるのか、研究遂行評価を受けた研究を具体的にどのように発展させるのか等）について記述してください。

**人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領4頁参照）**

本欄には、研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれてある場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
 例えば、個人情報を用いたアンケート調査・インターネット調査・インタビューアンケート調査・実験などが対象となります。

**研究経費の妥当性・必要性**

本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性、積算根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年度において、各費目（設備備品費、旅費、人件費・謝金）が全体の研究経費の90%を超える場合及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

基盤S-1.1

主な現有設備 記入に当たっては、基盤研究（S）研究計画調書等作成・記入要領を参照してください。						
研究機関	設 備 名	仕様 (形式・性能)	専用・共用	設置 年度	備 考	

設備品費の明細 記入に当たっては、基盤研究（S）研究計画調書等作成・記入要領を参照してください。（金額単位：千円）						
年度	品名・仕様	数量	単価	金額	主として使用する研究者 及び設置機関名	購入予定期 時
28						

基盤S-1.2

消耗品費等の明細 記入に当たっては、基盤研究（S）研究計画調書等作成・記入要領を参照してください。（金額単位：千円）						
年度	事 項	消耗品費	基盤研究（S）研究計画調書等作成・記入要領を参照してください。	旅 費	人件費・謝 金	その他の事項
平成28年度	(国内)					
	(国外)					
	計			計		計
平成29年度	(国内)					
	(国外)					
	計			計		計
平成30年度	(国内)					
	(国外)					
	計			計		計
平成31年度	(国内)					
	(国外)					
	計			計		計
平成32年度	(国内)					
	(国外)					
	計			計		計

平成 28 年度 基盤研究 (S) 研究者調査

基盤 S-13

研究者 氏名 所属研究機関 ・部局・職	生年月日 (年齢)	年 月 日 ( 歳)	現在の専門
<b>研究業績</b> <small>本欄には、これまでに発表した論文、著書(教科書、学会会報等)、講演要旨は除く)、産業財産権、招待講演のうち、主要なもの を選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、通し番号を付けて記入してください。なら、学術誌へ投稿中の論文を記入 する場合は、掲載が決定しているものに限ります。</small>			

① 例えば発表論文の場合、論文名、著者名、査読有無、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入して  
ください。  
② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えるも可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以  
下を省略(省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目～記入)しても可。なお、研究代表者には二重下線、研  
究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線を付してください。

基盤 S-14

研究業績 (つづき)	
------------	--

<b>研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）</b>											
<b>(2) 受入予定の研究費</b>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)</th> <th>研究課題名 (研究代表者氏名)</th> <th>後割(代表・分担の割合) (%)</th> <th>平成28年度エフォート (%)</th> <th>研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入してください。)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	後割(代表・分担の割合) (%)	平成28年度エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入してください。)					
資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	後割(代表・分担の割合) (%)	平成28年度エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入してください。)							
<b>(1) 応募中の研究費</b>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)</th> <th>研究課題名 (研究代表者氏名)</th> <th>後割 (代表・分担の割合) (%)</th> <th>エフオート (%)</th> <th>研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入してください。)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>【本応募研究課題】 基盤研究 (S) (H28~H )</b></td> <td></td> <td>( )</td> <td>(総額 千円)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	後割 (代表・分担の割合) (%)	エフオート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入してください。)	<b>【本応募研究課題】 基盤研究 (S) (H28~H )</b>		( )	(総額 千円)	
資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	後割 (代表・分担の割合) (%)	エフオート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入してください。)							
<b>【本応募研究課題】 基盤研究 (S) (H28~H )</b>		( )	(総額 千円)								

<b>研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）</b>											
<b>(2) 受入予定の研究費</b>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)</th> <th>研究課題名 (研究代表者氏名)</th> <th>後割(代表・分担の割合) (%)</th> <th>平成28年度エフオート (%)</th> <th>研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入してください。)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	後割(代表・分担の割合) (%)	平成28年度エフオート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入してください。)					
資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	後割(代表・分担の割合) (%)	平成28年度エフオート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入してください。)							
<b>(3) その他の活動</b>											
<p>上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフオートを記入してください。</p>											
<b>合計</b>											
上記 (1)、(2)、(3) のエフオートの合計 100 (%)											

## Ⅱ 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

### 平成28年度基盤研究(A・B)（一般） 研究計画調書作成・記入要領(新規)

**研究計画調書**は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」という。）あて提出するものであり、**日本学術振興会の科学研究所委員会における審査資料となるもの**です。  
 つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。  
 なお、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内容の通知が行われることになります。

言己

※ この研究計画調書様式は、「基盤研究(A・B)（一般）」の「新規応募（研究計画最終年度前年度の応募を含む）」に際して使用する様式です。  
 ※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持つて作成してください。なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領31～32頁を参照してください。  
 ※ 所定の様式の変更は認めません。  
 ※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。

#### I 応募情報(Web入力項目)

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（Web入力項目）」であり、作成に当たつては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。  
 応募情報（Web入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDFファイル）の前半部分を構成することになります。  
 応募情報（Web入力項目）に係る作成・入力要領は、「平成28年度応募情報（Web入力項目）（基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B））作成・入力要領」を参照してください。

- (W eb入力項目)
  - 1. 新規・継続区分
  - 2. 研究計画最終年度前年度応募の有無
  - 3. 細目番号
  - 4. 分割番号
  - 5. 細目表キーワード・細目表以外のキーワード
  - 6. 研究代表者氏名
  - 7. 所属研究機関・部局・職
  - 8. 研究課題名
  - 9. 研究経費
  - 10. 開示希望の有無
  - 11. 研究組織

以下の項目は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」の内容であります。  
 研究代表者は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください（3MB以上のファイルは添付不可）。  
 作成に当たっては、下記の指示及びそれの記入欄に記載している指示に従い、下記（1）、（2）、（3）、（5）、（6）について、11ポイント以上の文字等を使用して記入してください。  
 なお、次のような研究計画は公募の対象としていませんので、ご注意ください。  
 ① 単に既製の研究機器の購入を目的とする研究計画  
 ② 他の経費で指置されるのがふさわしい大型研究装置等の製作を目的とする研究計画  
 ③ 商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究計画（商品・役務の開発・販売等に係る市場動向調査を含む。）  
 ④ 事業として行う受託研究  
 ⑤ 研究期間のいざれかの年度における研究経費の額が100万円未満の研究計画また、今回応募する研究種目にについて、「競争的資金の適正な執行に関する指針」（公募要領5頁参照）に示される「不合理な重複」の考え方方に該当する場合には、審査の段階で「不合理な重複」と判断される可能性がありますので、研究計画調書を作成する際には、十分に御留意ください。

- (1) 「研究目的」、「研究計画・方法」、「これまでに受けた研究費とその成果等」、「研究経費の妥当性・必要性」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。
- (2) 「今回の研究計画を実施するに当たつての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。  
 なお、科研費は国民から徴収された税金等でまかなわれるものであるため、研究者は、その研究成果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められています。  
 このため、研究成果を社会・国民に発信する方法（例えば、ホームページの作成、研究成果広報用パンフレットの作成、公開行事等への参加、マスメディアへの発表予定）等についても記述してください。（公募要領8～9頁参照）
- (3) 「研究計画最終年度前年度の応募を行った場合の記入事項」欄  
 「研究計画最終年度前年度の応募」として新規に応募する場合は（公募要領21頁参照）、研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。
- (4) 「研究業績」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従つて記入してください。（真の追加等はできません。）なお、産業財産権等の知的財産権を有する場合は、その旨記入してください。  
 （特許出願番号等）
- (5) 「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性」欄  
 平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」において、研究進捗評価を受けた研究代表者は、研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。
- (6) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄  
 研究計画を遂行するに当たつて、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法規等に基づく手續が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えれば、個人情報を伴うアンケート調査・イントビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

(7) 「設備品費の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。  
多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、單に〇〇〇一式とするだけなくその内訳も記入してください。

(8) 「消耗品費の明細」欄には、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

(9) 「旅費等の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

① 旅費は、国内旅費及び外国旅費に分けて、研究代表者、研究分担者、連携研究者及び研究協力者の海外・国内外出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等その事項毎に記入してください。

② 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者（ボストドクター・リサーチアシスタント（R.A.）・外国の機関に所属する研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等その事項毎に記入してください。  
(例：資料整理（内訳：○人×○月）・△△△千円）

③ その他は、上記のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・焼却費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成績広報活動費用等）、実験廃棄物処理費用等）その事項毎に記入してください。

#### (10) 「研究費の応募・受入等の状況・エフォート」欄

研究代表者の応募時点における、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」、「(3) その他の活動」について、次のこととに留意し、それぞれの状況を記入してください。  
・「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。  
・複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。  
・所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。  
・所属研究機関内で、研究活動等を職務として行うため一律に配分されるような基盤的・経費については、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入する必要がありますが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフォートは、「(3) その他の活動」に記入してください。  
また、科研費の連携研究者として参画している研究課題に係るエフォートは、「(3)

・日本学術振興会特別研究员（S.P.D.、P.D.、R.P.D.）であって、平成28年度の特別研究员員奨励費の受給を予定している場合には、「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。  
・日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金（研究遂行経費）については、記入してください。

① 「資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）」  
研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。なお、科研費の場合には研究種目・審査区分名（新学術領域研究（研究領域提案型））にあつては「計画研究・公募研究」の別を含む。）及び研究期間のみ記入してください。ただし、特別研究員奨励費については、課題番号も入力してください。

(例1) 基盤研究 (C) 番査区分「一般」で研究期間が平成27～30年度

→ 基盤研究 (C) (一般) (H27～30)

(例2) 挑戦的萌芽研究 (研究期間が平成28～30年度)

→ 挑戦的萌芽研究 (H28～30)

(例3) 新学術領域研究（研究領域提案型）の計画研究で研究期間が平成28～

32年度

→ 新学術領域研究（研究領域提案型）（計画研究）(H28～32)

(例4) 特別研究員奨励費 (H27～29) 15J12345

② 「研究課題名（研究代表者氏名）」  
研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、( )書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

③ 「役割（代表・分担の別）」  
当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

④ 「平成28年度の研究経費（期間全体の額）（千円）」  
平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額（応募中のものは応募額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。  
また、本人が研究分担者等の場合は、平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額（予定額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の総額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください（分担金が配分されない場合は、それぞれ「0」を記入してください。）。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を「研究内容の相違点及び他の研究費に記入してください」とあります。

⑤ 「エフォート」  
本欄に記入する、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」及び「(3) その他の活動」に係る全仕事時間を100%として、そのうちそれの研究活動等の実施に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。科研費においては、重複応募は可能であっても、重複して採択されることがない研究種目（特別推進研究等）を記載する場合は、「ー」と記入してください。  
また、競争的資金制度により研究を行いう場合には、当該研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定していただき、e-Radに登録することになります。

⑥ 「研究内容の相違点及び他の研究費に記入する理由」  
応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞って明確に記入してください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に記入してください。

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学習 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) (000)	(00000) (000)		
研究分担者	00000000 (00) (000)	(00000) (000)		
連携研究者	00000000 (00) (000)	(00000) (000)		
合計	000 名	研究経費合計		00000-00-0-0000-0-0000

## 平成28年度(2016年度)基盤研究(A) (一般) 研究計画調書

平成XX年XX月XX日  
版

新規

研究種目	基盤研究(A)	審査区分	一般				
分野							
分科							
細目							
細目表 キーワード							
細目表以外の キーワード							
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)						
所属研究機関							
部局							
職							
研究課題名							
研究經費 (千円未満の 端数は切り 捨てる)	年度	研究経費 (千円)	設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
平成28年度							
平成29年度							
平成30年度							
平成31年度							
平成32年度							
総計							
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する						
研究計画最終年度前年度応募	-						
合計	00 名	研究経費合計	00000-00-0-0000-0-0000				

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学識 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) (000)	(00000)		
研究分担者	00000000 (00) (000)	(00000)		
連携研究者	00000000 (00) (000)	(00000)		
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

平成28年度(2016年度)基盤研究(B) (一般)研究計画調書  
平成XX年XX月XX日 1版

新規

研究種目	基盤研究(B)	審査区分	一般				
分野							
分科							
細目							
細目表、 キーワード、 細目表以外の キーワード							
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)						
所属研究機関							
部局							
職							
研究課題名							
	年度	研究経費 (千円)	設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
研究経費  〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	平成28年度						
	平成29年度						
	平成30年度						
	平成31年度						
	平成32年度						
	総計						
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する						
研究計画最終年度前年度応募	-						

**研究目的**

本欄には、研究の全体構造及びその中の本研究の具体的な目的について、冒頭にその趣要を簡潔にまとめて記述した上で、宜文嚴を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。（前述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領7・5頁参照）を参考にしてください。）  
 ① 研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経験、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）  
 ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、  
 ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

**研究目的（概要）※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。****研究目的（つづき）**

**研究計画・方法**

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成28年度の計画と平成29年度にかけて、適宜文献を引用しつつ、焦点を設り、具体的かつ明確に記述してください。

ここでは、研究が当初計画どおりに進まない場合の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者との間の研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用い、また、研究的観点からも研究組織の必要性、妥当性及び研究目的との関連性を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可）の役割についても記述してください。

なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

**研究計画・方法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。****研究計画・方法（つづき）****研究計画・方法（つづき）**

## 研究計画・方法（つづき）

## 今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
- ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がある場合についても必要に応じて記述してください。）
- ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

## 研究計画最終年度前年度の応募を行う場合の記入事項（該当者は必ず記入してください（公募要領2.1頁参照））

※該当しない場合は記入欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

本欄には、研究代表者として行っている平成28年度が最終年度にいたる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、今回再構築して本研究を応募する理由（研究の展開状況、継続の必要性等）を記述してください（なお、本欄に記述する継続研究課題の研究成果等は、基盤A・B（一般）-10の「これまでに受けた研究費とその成果等」欄には記述しないでください。）。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間
当初研究計画及び研究成果等			平成28年度～平成28年度

応募する理由

研究業績
<p>本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から順に発表年がな過去にさかのばり、発表年（西暦）、発表年（西暦）～掲載年（西暦）による場合は、掲載年が決定しているものに限ります。      また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、二重線を引いて区別（二重線は移動可）し、現在から順に発表年がな過去にさかのばり記入してください。（発表年毎に線を引く必要がありますません。）      なお、研究業績については、主に2011年以後の業績を中心記入してください。      ものや今までに発表した主要な論文等（10件以内）を記入しても構いません。      ① 例えは発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入して下さい。      ② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えて也可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。ただし、研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線を付してください。</p> <p>2015以降</p>

研究業績（つづき）
2013

## これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（科研費、所属研究機関より指置された研究費、府省・地方公署に生かされているもの）による研究成果等のうち、現在受けている研究費等（なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案又はそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記述してください。

① それぞれの研究費別に、研究費額（研究題名）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者、研究成績及び中間・事後評価（当該研究費の研究進捗評価結果がある場合には、基盤A・B（一般）-1.1「研究計画」や研究進捗評価を受けて記述してください）。

② 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述してください。

## 研究業績（つづき）

2011

2010以前

**研究計画と研究進歩評価を受けた研究課題の関連性**

本欄には、本応募の研究代表者が、平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」の研究代表者として、研究進歩評価を受けた場合に記述してください。  
 本欄には、研究計画書と研究進歩評価を受けた研究課題の関連性（どのように関係にあるのか、研究進歩評価を受けた研究を具体的にどのように発展させるのか等）について記述してください。

**人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領4頁参照）**

本欄には、研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
 例えば、個人情報を用いたアンケート調査・インターネット調査・インタビューアンケート調査・実験などが対象となります。

**研究経費の妥当性・必要性**

本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性、積算根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年度において、各項目（設備備品費、旅費、人件費、謝金）が全体の研究経費の90%を超える場合及びその他の費用で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

**基盤A・B（一般）－13**

設備品費の明細		消耗品費の明細		
年度	品名・仕様 (数量×単価)	金額	品名	金額
28				

**基盤A・B（一般）－14**

旅費等の明細				
年度	事項	金額	事項	金額
28				

## 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

本欄は、第2段審査（合議審査）において、「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならない。研究課題が十ヶ年に渡るかどうかを判断する際に参考するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただき必要があります。本応募課題の応募時点における、（1）応募中の研究費、（2）受入予定の研究費、（3）その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等についても、年間の金仕事時間率を1.00%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記入してください。

① エフォート欄には、年間の金仕事時間率を1.00%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記入してください。

② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入して下さい。

③ 科研費の「新学術領域研究（研究領域選択）」においては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。

④ ①～③の記入欄については、研究計画書作成・記入要領を確認してください。

## （1）応募中の研究費

研究課題名（研究代表者氏名・配分機関等名）	研究費 （千円）	役割 （代表・分担の別）	平成28年度 の研究経費 （総額 千円）	エフ ォート （%）
【本応募研究課題】 基盤研究（ ）（一般） (H28~H )	（ ）	代表	（ ）	（ ）

## 研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）

研究費の応募・受入等の状況・エフォート	（2）受入予定の研究費	（3）他の活動
（研究代表者氏名・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名・配分機関等名）	上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフｫートを記入してください。 合計 上記(1)、(2)、(3)のエフｫートの合計

## Ⅱ 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

### 平成28年度基盤研究(C)（一般） 研究計画調書作成・記入要領（新規）

**研究計画調書**は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」という。）あて提出するものであり、**日本学術振興会の科学研究費委員会における審査資料となるもの**です。

つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。

なお、「基盤研究（C）（一般）」については、「日本学術振興会」が公募要領（新規）を交付することから、研究費の執行にあたり、年度をまたぐ物品の調達等が可能になります。そのため、年度をまたぐ物品調達を念頭に置いていた研究計画の立案も可能です。（公募要領3頁を参照）

また、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内定の通知が行わられ、この通知に基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることになります。

言己

※ この研究計画調書様式は、「基盤研究（C）（一般）」の「新規応募（研究計画最終年度前年度の応募を含む）」に際して使用する様式です。

※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持つて作成してください。なお、「研究代表者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領3～32頁を参照してください。

※ 所定の様式の改変は認めません。

※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。

#### I 応募情報（Web入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（Web入力項目）」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から交付された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。

応募情報（Web入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDFファイル）の前半部分を構成することになります。

応募情報（Web入力項目）に係る作成・入力要領は「平成28年度応募情報（Web入力項目）（基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B））作成・入力要領」を参考してください。

- (Web入力項目)
  - 1. 新規・継続区分
  - 2. 研究計画最終年度前年度応募の有無
  - 3. 細目番号
  - 4. 分割番号
  - 5. 細目表キーワード・細目表以外のキーワード
  - 6. 研究代表者氏名
  - 7. 所属研究機関・部局・職
  - 8. 研究課題名
  - 9. 研究経費
  - 10. 開示希望の有無
  - 11. 研究組織

以下の項目は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」の内容であります。

研究代表者は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください。（3MB以上のファイルは添付不可）。

作成に当たっては、下記の指示及びそれの記入欄に記載している指示に従い、下記（1）、（2）、（3）、（5）、（6）については、11ページ以上の文字等を使用して記入してください。

なお、次のような研究計画は公募の対象としていませんので、ご注意ください。

① 単に既製の研究機器の購入を目的とする研究計画  
② 他の経費で指置されるのがふさわしい大型研究装置等の製作を目的とする研究計画  
③ 商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究計画（商品・役務の開発・販売等による市場動向調査を含む。）  
④ 業として行う受託研究  
⑤ 研究期間のいずれかの年度における研究経費の額が10万円未満の研究計画  
また、今回応募する研究種目について、「競争的資金の適正な執行に関する指針」（公募要領5頁参照）に示される「不合理な重複」の考え方においては、審査の段階で「不合理な重複」と判断される可能性がありますので、研究計画調書を作成する際には、十分に御留意ください。

- (1) 「研究目的」、「研究計画・方法」、「これまでに受けた研究費とその成果等」、「研究経費の妥当性・必要性」欄  
研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。
- (2) 「今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法」欄  
研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。  
なお、科研費は国民から徴収された税金等でまかなわれるものであるため、研究者は、その研究成果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められています。このため、研究成果を社会・国民に発信する方法（例えば、ホームページの作成、研究成果広報用パンフレットの作成、公開行事等への参加、マスメディアへの発表予定）等についても記述してください。（公募要領8～9頁参照）
- (3) 「研究計画最終年度前年度の応募を行った場合の記入事項」欄  
「研究計画最終年度前年度の応募」として新規に応募する場合は（公募要領21頁参照）、研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。
- (4) 「研究業績」欄  
研究計画調書に記載している指示に従って記入してください。（頁の追加等はできません。）なお、産業財産権等の知的財産権を有する場合は、その旨記入してください。（特許出願番号等）
- (5) 「研究計画進歩評価を受けた研究課題の関連性」欄  
平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」において、研究進歩評価を受けた研究代表者は、研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。
- (6) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄  
研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法合等に基づく手續が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インターネット調査・提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究・組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

(7) 「設備品費の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、單に〇〇〇一式とするだけなくその内訳も記入してください。

(8) 「消耗品費の明細」欄には、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

(9) 「旅費等の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

① 旅費は、国内旅費及び国外旅費に分けて、研究代表者、研究分担者、連携研究者及び研究協力者の海外・国内外張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果發表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等その事項毎に記入してください。

② 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者（ボストドクター・リサーチアシスタント（R.A.）・外国の機関に所属する研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等その事項毎に記入してください。  
(例：資料整理（内訳：○人×○月）・△△△千円）

③ その他は、上記のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・焼却費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究結果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究結果広報活動費用等）、実験廃棄物処理費）等その事項毎に記入してください。

#### (10) 「研究費の応募・受入等の状況・エフオート」欄

研究代表者の応募時点における、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」、「(3) その他の活動」、について、次のこととに留意し、それぞれの状況を記入してください。

・「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。

・複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。又は、「(2) 受入予定の研究費」又は「(3) その他の活動」に記入してください。

・所属研究機関内で、研究活動等を職務として行うため一律に配分されるような基盤的経費については、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入する必要がありますが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフオートは、「(3) その他の活動」に記入してください。

・所属研究機関内外で、研究活動等を職務として行うため一律に配分されるようなら、エフオートを決定していただき、e-Radに登録することとなります。

・日本学術振興会特別研究員（S.P.D.、P.D.、R.P.D.）であって、平成28年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合には、「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金（研究遂行経費）についてでは、記入しないでください。

① 「資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）」欄には研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。なお、科研費の場合には研究種目・審査区分名（新学術領域研究（研究領域提案型））にあつては「計画研究・公募研究」の別を含む。）及び研究期間のみ記入してください。ただし、特別研究員奨励費については、課題番号も入力してください。

(例 1) 基盤研究 (C) 番査区分「一般」で研究期間が平成27～30年度  
→ 基盤研究 (C) (一般) (H27～30)

(例 2) 挑戦的萌芽研究で研究期間が平成28～30年度  
→ 挑戦的萌芽研究 (H28～30)

(例 3) 新学術領域研究（研究領域提案型）の計画研究で研究期間が平成28～32年度  
→ 新学術領域研究（研究領域提案型）（H28～32）

(例 4) 特別研究員奨励費で研究期間が平成27～29年度  
→ 特別研究員奨励費 (H27～29) 15J12345

② 「研究課題名（研究代表者氏名）」欄には、研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参考している場合は、（ ）書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

③ 「役割（代表・分担の別）」欄には、「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

④ 「平成28年度の研究経費（期間全体の額）（千円）」欄には、平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額（応募中のものは応募額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。

また、本人が研究分担者等の場合は、平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額（予定額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の総額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください（分担金が配分されない場合は、それぞれ「0」を記入してください）。

なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」欄に記入してください。

⑤ 「エフオート」欄には、(1) 応募中の研究費」及び「(3) その他の活動」に係る全仕事時間を100%として、そのうちそれぞれの研究活動等の実施に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。科研究費においては、重複応募は可能であっても、重複して採択されることがない研究種目（特別推進研究等）を記載する場合は、「(一)」と記入してください。

また、競争的資金制度により研究を行いう場合は、「(二)」と記入してください。エフオートを必ず記入してください。本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフオートを決定していただき、e-Radに登録することとなります。

⑥ 「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」欄には、応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞つて明確に記入してください。

なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に記入してください。

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
研究分担者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
連携研究者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

## 平成28年度（2016年度）基盤研究（C）（一般）研究計画調書

平成XX年XX月XX日 1版

## 新規

機関番号	研究項目番号	審査区分番号	審査区番号	細目番号	分割番号	整理番号
00000	00	0	0000	0	0	0000
研究種目 基盤研究(C)						
分野						
分科						
細目						
細目表キーワード						
細目表以外のキーワード						
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)					
所属研究機関						
部局						
職						
研究課題名						
	年度	研究経費 (千円)	設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金
研究経費 〔千円未満の端数は切り捨てる〕	平成28年度					その他
	平成29年度					
	平成30年度					
	平成31年度					
	平成32年度					
	総計					
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する					
研究計画最終年度応募	-					

**研究目的**  
 本欄には、研究の全体構造及びその中の本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、宜文獻を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。  
 研究費助成事業における審査及び評価に関する規程（公募要領7・5頁参照）を参考にしてください。① 研究の学術的背景（本研究に開拓する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経験、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）  
 ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしてはどうするのか、  
 ③ 当該分野における本研究の学術的な特徴・独創的な点及び予想される結果と意義

**研究目的（概要）※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。**

## 研究計画・方法（つづき）

## 基盤C（一般）-3

## 研究計画・方法

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成28年度の計画と平成29年度に亘る計画面に分けて、過渡文献を利用しつつ、焦点を設り、具体的かつ明確に記述してください。

ここでは、研究が当初計画どおりに進まない場合の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行するための研究体制について、研究が当初計画どおりに行なう研究計画である場合は、研究代表者・研究分担者の具体的な役割（図表を用い、また、研究的観点から研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性を述べてください。

また、研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者・科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可）の役割についても記述してください。

なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

## 研究計画・方法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。

## 今回の研究計画を実施するに当たつての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究開発の状況
- ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がある場合についても必要に応じて記述してください。）
- ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

## 研究業績

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関する重要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年（曆年）毎に線を引いて区別（線は移動可）、通し番号を付して記入してください。現在から順に発表する場合は、掲載が決定しているもの（既刊ります）と、未決定（二重線は移動不可）と、現在から順に研究業績についても記入することができます。記入する場合には、「二重線を引いて区別（二重線は移動可）」と、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり記入してください。発表年毎に線を引く必要はありません。それ以前の業績であっても本研究に深く関わるものや今までに発表した主要な論文等（10件以内）を記入しても構いません。

なお、研究業績については、主に2011年以降の業績を中心に入れてください。それ以前の業績であっても本研究に深く関わるものが今までに発表した項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えて也可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合は、その旨を記入して下さい）。

① 例えは發表論文の場合、論文名、著者名、会誌名、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。

② 以上の各項目が記載されなければ、項目の順序を入れ替えて也可。

※部分分担者には、重複研究者には点線の下線を付してください。

2015 以後

## 研究計画最終年度前年度の応事を行う場合の記入事項（該当者は必ず記入してください（公表要領21頁参照））

※該当しない場合は記入欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

本欄は、研究代表者として行っている平成28年度が最終年度に当たる最終研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知識等の研究成果を記述するところも、当該研究の進展を踏まえ企画構築して本研究を応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を記入してください。（なお、本欄に記述する最終研究課題の研究成果等は、基盤C（一般）-8の「これまでに受けた研究費とその成果等」欄に記述してください。）

研究題目名	課題番号	研究課題名	研究期間
			平成 年度～ 平成 28 年度

## 当初研究計画及び研究成果等

2013

## 応募する理由

**これまでに受けた研究費とその成果等**

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（科研費、所属研究機関より指掌された研究費、府省・地方公署に生かされているものを除く）、現在受けている研究費等、なお、現在受けている研究費も含む）による研究結果等のうち、本研究の立案団体・研究助成法人・民間企業からの研究費等、①、現在受けている研究費とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意してください。

- ① それぞれの研究費毎に、研究経費（科研費以外の研究費について、次に示す記述内容を記入する）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の研究進捗結果がある場合には、基盤C又は研究分担者の別、研究課題名、期間（平成26年度又は平成27年度の研究費の研究進捗結果がある場合には、基盤C又は研究分担者の別、研究課題名）、期間（当該研究費の研究進捗結果がある場合には、基盤C又は研究分担者の別、研究課題名、期間（当該研究費の研究進捗結果がある場合には、基盤C又は研究分担者の別、研究課題名、期間）に記述してください。）。
- ② 研究計画と研究実績評価を受けた研究の属性性、欄に記述してください。

**研究業績（つづき）**

2012

2011

2010以前

**研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性**

・本欄には、本応募の研究代表者が、平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」の研究代表者として、研究進捗評価を受けた場合に記述してください。  
 ・本欄には、研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性（どのような関係にあるのか、研究進捗評価を受けた研究を具体的にどのように発展させるのか等）について記述してください。

**人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領4頁参照）**

本欄には、研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれてある場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
 例えば、個人情報を作成するアンケート調査、インターネット調査、インタビュー調査、ヒト遺伝子解析研究、組織DNAA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

**研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性**

・本欄には、本応募の研究代表者が、平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」の研究代表者として、研究進捗評価を受けた場合に記述してください。  
 ・本欄には、研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性（どのような関係にあるのか、研究進捗評価を受けた研究を具体的にどのように発展させるのか等）について記述してください。

**研究費の要当性・必要性**

本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規範、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性、概算根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年度において、各費目（設備備品費、旅費、人件費、謝金）が全体の研究経費の90%を超える場合及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

**基盤C（一般）-11**

(金額単位：千円)

設備備品費の明細		消耗品費の明細			
年度	品名・仕様 (数量×単価) (設置機関)	品名	金額	金額	金額
28					

**基盤C（一般）-12**

(金額単位：千円)

旅費等の明細						
年度	事項	金額	事項	金額	事項	金額
28						

**研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

本欄は、第2段審査（合議審査）において、「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参考するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただきが必要があります。本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1) 応募中の研究費、(2) 受入予定の研究費、(3) その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、**「応募中の研究費」欄**の先頭には、本応募研究課題を記入してください。

- ① 「エフオート」欄には、年間の金仕事時間数を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。
- ② 「記入して下さい」欄には、**「応募中の研究費」欄**に記入して下さい。
- ③ 科研費の「新学術領域研究（研究領域選択）」にあつては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。
- ④ 所属研究機関内で競争的に分配される研究費についても記入してください。

**(1) 応募中の研究費**

本応募課題の研究代表者の氏名（研究代表者の名前）  
研究費の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由  
(科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること)

【本応募研究課題】 【研究費の相違点】 （H28～H ）	研究費の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること)	研究費の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること)
基盤研究(C)(一般) (H28～H ）	研究費の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること)	研究費の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること)

**研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）**

研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）		研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）	
<b>((2) 受入予定の研究費</b>		<b>((3) その他の活動</b>	
資金制度・研究費名（研究代表者の氏名） （研究課題名・研究期間等名）	研究費の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること)	上記の応募中の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフオートを記入してください。	
（代表・分担の割合）	エフオート(%)	合計	100(%)
（代表・分担の割合）	エフオート(%)	上記(1)、(2)、(3)のエフオートの合計	

## Ⅱ 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

### 平成28年度基盤研究(A・B)（海外学術調査） 研究計画調書作成・記入要領(新規)

**研究計画調書**は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」という。）あて提出するものであり、**日本学術振興会の科学研究所委員会における審査資料となるもの**です。  
 つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。  
 なお、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内容の通知が行われることの通知にに基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることになります。

言己

※ この研究計画調書様式は、「基盤研究(A・B)（海外学術調査）」の「新規応募（研究計画最終年度前年度の応募を含む）」に際して使用する様式です。  
 ※ 研究計画調書の成形に当つては、公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持つて作成してください。なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領31～32頁を参照してください。  
 ※ 所定の様式の改変は認めません。  
 ※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。

#### I 応募情報(Web入力項目)

- 以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（Web入力項目）」であり、作成に当たつては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。  
 応募情報（Web入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDFファイル）の前半部分を構成することになります。  
 応募情報（Web入力項目）に係る作成・入力要領は、「平成28年度応募情報（Web入力項目）（基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B））作成・入力要領」を参照してください。
- (Web入力項目)
- 新規・継続区分
  - 研究計画最終年度前年度応募の有無
  - 審査希望分野
  - 開催する細目番号
  - 研究代表者氏名
  - 所属研究機関・部局・職
  - 研究課題名
  - 研究経費
  - 開示希望の有無
  - 研究組織

以下の項目は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」の内容であります。  
 研究代表者は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください。（3MB以上のファイルは添付不可）。  
 作成に当たつては、下記の指示及びそれとの記入欄に記載している指示に従い、下記（1）、（2）、（3）、（6）、（7）について、11ポイント以上の文字等を使用して記入してください。  
 なお、次のような研究計画は公募の対象としていませんので、ご注意ください。  
 ① 単に既製の研究機器の購入を目的とする研究計画  
 ② 他の経費で指置されるのがふさわしい大型研究装置等の製作を目的とする研究計画  
 ③ 商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究計画（商品・役務の開発・販売等に係る市場動向調査を含む。）  
 ④ 企業として行う受託研究

⑤ 研究期間のいづれかの年度における研究経費の額が100万円未満の研究計画また、今回応募する研究種目にについて、「競争的資金の適正な執行に関する指針」（公募要領5頁参照）に示される「不合理な重複」の考え方方に該当する場合には、審査の段階で「不合理な重複」と判断される可能性がありますので、研究計画調書を作成する際には、十分に御留意ください。

(1) 「研究目的」、「研究計画・方法」、「これまでに受けた研究費とその成果等」、「研究経費の妥当性・必要性」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(2) 「今回の研究計画を実施するに当たつての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。

(3) 「研究計画最終年度前年度の応募」として新規に応募する場合は（公募要領21頁参照）、「研究計画最終年度前年度の応募」として既存に応募する場合は（公募要領21頁参照）、研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。

(4) 「重複応募」欄  
 本応募研究課題の研究代表者が研究代表者として基盤研究の審査区分「一般」にも応募（継続研究課題も含む。）する場合は（公募要領18頁参照）、研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。（該当しない場合は空欄のまま提出してください。）

(5) 「研究業績」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従つて記入してください。（頁の追加等はできません。）なお、産業財産権等の知的財産権を有する場合は、その旨記入してください。（特許出願番号等）

(6) 「研究計画と研究進歩評価を受けた研究課題の関連性」欄  
 平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」において、研究進歩評価を受けた研究代表者は、研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。

(7) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄  
研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法律等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インターネット調査・郵便投票等の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

(8) 「設備備品費の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。  
多數の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、單に〇〇〇一式とするだけではなくその内訳も記入してください。

(9) 「消耗品費の明細」欄には、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

(10) 「旅費等の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

① 旅費は、国内旅費及び外国旅費に分けて、研究代表者、研究分担者、連携研究者及び研究協力者の海外・国内外出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等その事項毎に記入してください。

② 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者（ボストドクター・リサーチアシスタント（R.A）・外国の機関に所属する研究者等）による謝金、報酬、賞金、給与、労働者派遣業者への支払いそのための経費等その事項毎に記入してください。  
(例：資料整理（内訳：○人×○月）・△△△千円）

③ その他は、上記のほか、当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、教育機器、実験機器・器具等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成績広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用等）、実験廃棄物処理費）等その事項毎に記入してください。

#### (11) 「研究費の応募・受入等の状況・エフォート」欄

研究代表者の応募時点における、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」、「(3) その他の活動」について、次のことに留意し、それぞれの状況を記入してください。  
「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。

・複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。  
・所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。  
・所属研究機関内で、研究活動等を職務として行うため一律に配分された場合には、「(2) 受入予定の研究費」又は「(1) 応募中の研究費」に記入してください。  
・必要はありませんが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフォートは、「(3) その他の活動」に記入してください。

また、科研費の連携研究者として参画している研究課題に係るエフォートは、「(3)

その他の活動」に記入してください。

・日本学術振興会特別研究員（SPD、PD、RPD）であって、平成28年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合は、「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金（研究遂行経費）については、記入しないでください。

#### ① 「資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）」

研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。なお、科研費の場合は研究種目・審査区分名（新学術領域提案型）にあつては「計画研究・公募研究」の別を含む。）及び研究期間の記入してください。ただし、特別研究員奨励費については、課題番号も入力してください。

（例1）基盤研究（C）審査区分「一般」で研究期間が平成27～30年度

→ 基盤研究（C）（一般）（H27～30）

（例2）挑戦的萌芽研究（H28～30）

（例3）新学術領域研究（研究領域提案型）の計画研究で研究期間が平成28～32年度

→ 特別研究員奨励費（H27～29）15J12345

（例4）特別研究員奨励費で研究期間が平成27～29年度

→ 特別研究員奨励費（H27～29）15J12345

#### ② 「研究課題名（研究代表者氏名）」

研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、（ ）書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

#### ③ 「役割（代表・分担の別）」

当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

#### ④ 「平成28年度の研究経費（期間全体の額）（千円）」

平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額（応募中のものは「応募額」）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。  
また、本人が研究分担者等の場合は、平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額（予定額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の総額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。（分担金が配分されない場合は、それぞれ（ ）を記入してください。）  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を「研究内容の相違点及び他の研究費に記入して本応募研究課題に応募する理由」欄に記入してください。

#### ⑤ 「エフォート」

本欄に記入する、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」及び「(3) その他の活動」に係る全仕事時間を100%として、そのうちそれぞれの研究活動等の実施に必要な時間の配分率（%）を記入してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間です。  
なお、科研費においては、重複応募は可能であっても、重複して採択されることがない研究項目（特別推進研究等）を記載する場合は、「ー」と記入してください。  
また、競争的資金制度により研究を行う場合には、当該研究活動に係るエフォートを必ず記入してください。本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定していただき、e-Radに登録することなります。

⑥ 「研究内容の相違点及び他の研究費に記入して本応募研究課題に応募する理由」  
応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に

加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞つて明確に記入してください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に  
記入してください。

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学年 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 （千円）
研究代表者	00000000 (00) 0000 (00)	(00000) (00)		
研究分担者	00000000 (00) 研究分担者 連携研究者	(00000) (00)		
連携研究者	00000000 (00) 連携研究者	(00000) (00)		
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

## 平成28年度（2016年度）基盤研究（A）（海外学術調査）研究計画調書

平成 XX 年 XX 月 XX 日  
1 版

新規

研究種目	基礎研究(A)	审査区分	海外学術調査
審査希望分野			
関連する細目			
研究代表者 氏名	(アリガナ) (漢字等)		
所属研究機関			
部 局			
職			
研究課題名			
	年度	研究経費 (千円)	使用内訳(千円) 設備機器費 消耗品費 旅費 人件費・輸送費 その他
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	平成28年度		
	平成29年度		
	平成30年度		
	平成31年度		
	平成32年度		
	総計		
顯示希望の有無	審査結果の開示を希望する		
研究計画最終年度前年度応募	-		
合計	00 名		研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学年 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) (000)	(00000)		
研究分担者	00000000 (00) (000)	(00000)		
連携研究者	00000000 (00) (000)	(00000)		
合計	00 名	研究経費合計		00000-00-0-0000-0-0000

## 平成28年度(2016年度)基盤研究(B) 海外学術調査 研究計画調書

平成XX年XX月XX日  
1版

新規

研究題目	基盤研究(B)	审査区分	海外学術調査
審査希望分野			
関連する細目			
研究代表者 氏名			
(フリガナ) (漢字等)			
所属研究機関			
部 局			
職			
研究課題名			
年度			
平成28年度			
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕			
平成29年度			
平成30年度			
平成31年度			
平成32年度			
総計			
開示希望の有無			
研究計画最終年度前年度応募			
- 85 -			

**研究目的**  
 本欄には、研究の全体構造及びその中の本研究の目的的な点について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文獻を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。（前述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領75頁参照）を参考にしてください。）  
 ① 研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経験、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）  
 ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか  
 ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

**研究目的（概要）※当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。**

**研究計画・方法**

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成28年度の計画と平成29年度の計画に分けて、適宜文献引用しつつ記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、次の点についても、次の方に記述してください。

① 調査研究実施国・地域及び旅行路線  
 ② 研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに研究組織の必要性・妥当性及び研究目的の達成性についても述べてください。

また、研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者・科研費への応募資格を有しない企業の研究者・その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者・大学院生等（氏名・員数を記入することも可））の役割についても記述してください。

なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

**研究計画・方法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。****研究計画・方法（つづき）**

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成28年度の計画と平成29年度の計画に分けて、適宜文献引用しつつ記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、次の点についても、次の方に記述してください。

① 調査研究実施国・地域及び旅行路線  
 ② 研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに研究組織の必要性・妥当性及び研究目的の達成性についても述べてください。

また、研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者・科研費への応募資格を有しない企業の研究者・その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者・大学院生等（氏名・員数を記入することも可））の役割についても記述してください。

なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

## 研究計画・方法（つづき）

## 今回の研究計画を実施するに当たつての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法 基盤A・B（海外）－6

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
- ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がいる場合についても必要に応じて記述してください。）
- ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

## 研究計画最終年前年度の応募を行う場合の記入事項（該当者は必ず記入してください（公募要領2.1頁参照））

※該当しない場合は記入欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

本欄には、研究代表者として行っている平成28年度が最終年度に当たる総務研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、会員再構築して本研究を応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を記述してください（なお、本欄に記述する総務研究課題の研究成果等は、基盤A・B（海外）－1.1の「これまでに受けた研究費とその成果等」欄には記述しないでください。）。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間
			平成28年度～平成28年度

## 当初研究計画及び研究成果等

## 応募する理由

**重複応募く該当者は必ず記述してください（公募要領18頁参照）>**

この頁及び次頁は、同一研究者が研究代表者としてその研究課題が異なる2つの研究課題を、①審査区分「一般」及び「海外学術調査」のそれぞれの新規の研究課題として、同一年度内にそれぞれ2つの基金（②審査区分「一般」の維持研究課題を有している者と、審査区分「海外学術調査」の新規の研究課題を応募する場合、③記述するものと、審査区分「一般」に応募しない又は継続研究課題を有していない場合は作成する必要がありませんので、該当しない場合は、空欄のまま提出してください。）

**基盤A・B（海外）-7 基盤A・B（海外）-8**

<b>審査区分「一般」と「海外学術調査」の研究内容の相違点</b>					
この頁及び次頁は、同一研究者が研究代表者としてその研究課題が異なる2つの研究課題を、①審査区分「一般」及び「海外学術調査」の新規の研究課題として、同一年度内にそれぞれ2つの基金（②審査区分「一般」の維持研究課題を有している者と、審査区分「海外学術調査」の新規の研究課題を応募する場合、③記述するものと、審査区分「一般」に応募しない又は継続研究課題を有していない場合は作成する必要がありませんので、該当しない場合は、空欄のまま提出してください。）					
<b>審査区分「一般」の研究内容</b>					
研究課題	研究内容				
研究期間	年度 年度～年度				
新規研究課題の場合の応募額	平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 千円 千円 千円 千円 千円				
継続研究課題の場合の内訳額	千円 千円 千円				
研究組織	研究代表者及び研究分担者				
氏名（年齢）	所属研究機関・部局・職	現在の専門	学位	役割分担 (研究実績計画に対する分担事項)	平成28年度 研究経費
同一研究者が研究代表者として審査区分「一般」と「海外学術調査」に応募する理由					
研究目的・研究概要					

研究期間	平成 年度～年度				
新規研究課題の場合の応募額	平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 千円 千円 千円 千円 千円				
継続研究課題の場合の内訳額	千円 千円 千円				
研究組織	研究代表者及び研究分担者				
氏名（年齢）	所属研究機関・部局・職	現在の専門	学位	役割分担 (研究実績計画に対する分担事項)	平成28年度 研究経費
同一研究者が研究代表者として審査区分「一般」と「海外学術調査」に応募する理由					
研究目的・研究概要					

研究業績 （登録者）	研究業績 （登録者）	研究業績 （登録者）	研究業績 （登録者）	研究業績 （登録者）
本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権、招致講演のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から順に発表年次の順に記入します。なお、学術誌～技術誌の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、二重線を引いて区別（二重線は移動可）し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり記入してください。（発表年毎に線を引く必要があります）。なお、研究業績については、主に2011年以降の業績を中心に入れてください。それ以前の業績であっても本研究に深く関わるものや今までに発表した主要な論文等（10件以内）を記入しても構いません。 ① 例えは発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、卷、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。 ② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えて也可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線を付けてください。	2015以降	2014	2013	2010以前
研究業績 （登録者）				

研究業績 （登録者）
2012
2011
2010以前

**これまでに受けた研究成果とその成果等**

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究成果（科研費、所属研究機関より指置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、科研費とそれ以外の研究費について記述してください。

① それぞれの研究費毎に、研究種目名、研究額（直接経費）を記入の上、研究期間及び中間（年度）研究費額、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記述してください。（該研究費の研究進捗評価結果がある場合には、基盤A・B（海外）－1.2「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性」欄に記述してください。）。

② 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述してください。

**研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性**

・本欄には、本応募の研究代表者が、平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」の研究代表者として、研究進捗評価を受けた場合に記述してください。

・本欄には、研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性（どのような関係にあるのか、研究進捗評価を受けた研究を具体的にどのように発展させるのが等）について記述してください。

**人権の保護及び法令等の遵守（該当者は必ず記述してください）（公事業費4頁参照）**

本欄には、研究計画を遂行するに当たつて、相手方の同意、協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を講じる方法等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
例えば、個人情報を伴うアンケート調査、個体を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組織DNAA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。  
なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

**（金額単位：千円）**

設備備品費の明細		消耗品費の明細		
記入に当たつては、基礎研究（A・B）（海外）研究計画調書作成・記入要領を参照してください。		記入に当たつては、基礎研究（A・B）（海外）研究計画調書作成・記入要領を参照してください。		
年度	品名・仕様 (数量×単価) (設置機関)	金額	品名	金額
28				

**研究経費の妥当性・必要性**

本欄には、研究計画・方法、構成された研究規模、研究体制等を踏まえ、次項以降に記入する研究経費の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年割において、各費目（設備備品費、旅費、人件費・謝金）が全体会の研究経費の90%を超える場合及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

**基盤A・B（海外）－15**

（金額単位：千円）

旅費等の明細 記入に当たっては、基盤研究（A・B）（海外）研究計画調書作成・記入要領を参照してください。						
年度	内国旅費		国外旅費		其 他	
	事 項	金額	事 項	金額	事 項	金額
28						

## 研究代表者のみ作成・添付

**基盤A・B（海外）－16****研究費の応算・受入等の状況・エフォート**

本欄は、合議審査において、「研究費の不合理又は過度の集中によるべき、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参考するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。本応募課題の研究代表者の応募特點における、（1）応募中の研究費、（2）受予定の研究費、（3）その他の活動について、次の点に留意して記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、縦を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。

- ① 「エフォート」欄には、年間の全工事時間を見 100 %とした場合、そのうち当該研究に必要となる時間の配分率（%）を記入してください。
- ② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。
- ③ 科研費の「新学術領域研究（研究領域是索型）」においては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。
- ④ 所属研究機関内「着手前」に記される研究費についても記入してください。

（1）応募中の研究費		
資金制御・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	研究代表者氏（代表・分担の別）
【本応募研究課題】 基盤研究（ ）（海外 併調査）（H28～H ）	代表（ ）	代表（ ）

本欄は、合議審査において、「研究費の不合理又は過度の集中によるべき、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参考するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。本応募課題の研究代表者の応募特點における、（1）応募中の研究費、（2）受予定の研究費、（3）その他の活動について、次の点に留意して記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、縦を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。

記入してください。

（1）「エフォート」欄には、年間の全工事時間を見 100 %とした場合、そのうち当該研究に必要となる時間の配分率（%）

を記入してください。

（2）「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。

（3）科研費の「新学術領域研究（研究領域是索型）」においては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。

（4）所属研究機関内「着手前」に記される研究費についても記入してください。

（5）「エフ

オート（%）

（6）研究内容の相違点及び他の研究費

（7）本応募研究課題に応算する理由

（8）研究費の研究代表者の場合は、研究期間

（9）全体の受へ額を記入すること

研究費の応算・受入等の状況・エフォート(つづき)				
(2) 受入予定の研究費				
資金制度・研究費名 （研究期間・配分機関等名）	研究課題名 （研究代表者氏名）	役割 （代表・ 分担の 別）	平成28年度 の研究活動 費用合計額 （千円）	エフ ォー ト(%)
(3) その他の活動	上記の応算中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う 研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。			
合計	上記(1)、(2)、(3)のエフォートの合計		100 (%)	

## Ⅱ 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

### 平成28年度基盤研究（B）（特設分野研究）研究計画調書作成・記入要領（新規）

以下の項目は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（PDFファイル）の後半部分を構成することになります。  
研究代表者は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものを、「電子申請システム」にアクセスして添付してください（3MB以上以上のファイルは添付不可）。

作成に当たっては、下記の指示及びそれぞれの記入欄に記載している指示に従い、下記（1）、（2）、（3）、（4）、（6）については、1.1ポイント以上上の文字等を使用して記入してください。  
なお、次のような研究計画は公募の対象としていませんので、ご注意ください。  
 ① 単に既製の研究機器の購入を目的とする研究計画  
 ② 他の経費で措置されるのがふさわしい大型研究装置等の製作を目的とする研究計画  
 ③ 商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究計画（商品・役務の開発・販売等に係る市場動向調査を含む。）  
 ④ 業として行う受託研究  
 ⑤ 研究期間のいずれかの年度における研究経費額が100万円未満の研究計画

また、今回応募する研究種目について、「競争的資金の適正な執行に関する指針」（公募要領5頁参照）に示される「不合理な重複」の考え方には、審査の段階で「不合理な重複」と判断される可能性がありますので、研究計画調書を作成する際には、十分に留意ください。  
 (1) 「研究計画調書（概要版）」、「本特設分野研究への応募理由」、「主な研究業績」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(2) 「研究目的」、「研究計画・方法」、「これまでに受けた研究費とその成果等」、「研究経費の妥当性・必要性」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。（「研究目的」の記入欄に記載された留意事項は削除して記述してください。）

(3) 「今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。  
 なお、科研費は国民から徴収された税金等でまかなく行われるものであるため、研究者は、その研究費を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められています。  
 この研究成績を社会・国民に発信する方法（例えば、ホームページの作成、研究成果広報用パンフレットの作成、公開行事等への参加、マスメディアへの発表予定）等についても記述してください。（公募要領8～9頁参照）

(4) 「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性」欄  
 平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」において、研究進捗評価を受けた研究代表者は、研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(5) 「研究業績」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従って記入してください。（「の追加等はできません。」なお、産業財産権等の知的財産権を有する場合は、その旨記入してください。（特許出願番号等）

(6) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄  
 研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じる

※ この研究計画調書は、「基盤研究（B）（特設分野研究）」の「新規応募」に際して使用する様式です。  
 ※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持って作成してください。なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領31～32頁を参照してください。  
 ※ 所定の様式の改変は認めません。  
 ※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。

#### 自己

※ この研究計画調書は、「基盤研究（B）（特設分野研究）」の「新規応募」に際して使用する様式です。  
 ※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持って作成してください。なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領31～32頁を参照してください。  
 ※ 所定の様式の改変は認めません。

#### I 応募情報（Web入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（Web入力項目）」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。  
 応募情報（Web入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDFファイル）の前半部分を構成することになります。  
 応募情報（Web入力項目）に係る作成・入力要領は「平成28年度応募情報（Web入力項目）（基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B））作成・入力要領」を参照してください。

#### （Web入力項目）

1. 新規・継続区分
2. 分野名
3. キーワード
4. 研究代表者氏名
5. 所属研究機関・部局・職
6. 研究課題名
7. 研究の要約
8. 研究経費
9. 顯示希望の有無
10. 研究代表者連絡先
11. 研究組織

のか記述してください。

例えば、個人情報を持ったアンケート調査・イントビュー調査、提供を受けた試料の使用ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

(7) 「設備備品費の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。  
多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、單に〇〇〇一式とするだけではなくその内訳も記入してください。

(8) 「消耗品費の明細」欄には、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。  
(9) 「旅費等の明細」欄には、次のことに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

① 旅費は、国内旅費及び外国旅費に分けて、研究代表者、研究分担者、連携研究者及び研究協力者の海外・国内外出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等その事項毎に記入してください。  
② 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アシスタント（RA）・外国の機関に所属する研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等その事項毎に記入してください。  
(例：資料整理（内訳：○人×○月）・△△△千円）

③ その他は、上記のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具等）、機器修理費用（旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用等）、実験廃棄物処理費用）等その事項毎に記入してください。

(10) 「研究費の応募・受入等の状況・エフオート」欄  
研究代表者の応募時点における、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」、「(3) その他の活動」について、次のことに留意し、それぞれの状況を記入してください。  
・「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。  
・複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。  
・所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。  
・所属研究機関内で、研究活動等を職務として行うための「(2) 受入予定の研究費」又は「(1) 応募中の研究費」に記入してください。  
・研究費については、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入する必要はありませんが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフオートは、「(3) その他の活動」に記入してください。  
また、科研費の連携研究者として参画している研究課題に係るエフオートは、「(3) その他の活動」に記入してください。

・日本学術振興会特別研究员（SPD、PD、RPD）であって、平成28年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合には、「(2) 受入予定の研究費」に記入してくください。なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金（研究遂行経費）に

については、記入しないでください。

① 「資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）」  
研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。なお、科研費の場合には研究種目・審査区分名（新学術領域研究（研究領域提案型））にあつては「計画研究・公募研究」の別を含む。）及び研究期間のみ記入してください。ただし、特別研究員奨励費については、課題番号も記入してください。

(例 1) 基盤研究 (C) 審査区分「一般」で研究期間が平成27～30年度

→ 基盤研究 (C) (一般) (H27～30)

(例 2) 挑戦的萌芽研究で研究期間が平成28～30年度

→ 挑戦的萌芽研究 (H28～30)

(例 3) 新学術領域研究（研究領域提案型）の計画研究で研究期間が平成28～

32年度

→ 新学術領域研究（研究領域提案型）（計画研究） (H28～32)

(例 4) 特別研究員奨励費で研究期間が平成27～29年度

→ 特別研究員奨励費 (H27～29) 15J12345

② 「研究課題名（研究代表者氏名）」  
研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、（ ）書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

③ 「役割（代表・分担の別）」  
当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

④ 「平成28年度の研究経費（期間全体の額）（千円）」  
平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額（応募中のものは応募額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。  
また、本人が受け入れ自ら使用する分担金の額（予定額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の総額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。（分担金が配分されない場合は、それぞれ「0」を記入してください。）  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」欄に記入してください。

⑤ 「エフオート」  
本欄に記入する、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」及び「(3) その他の活動」に係る全仕事時間を100%として、そのうちそれぞれの研究活動等の実施に必要となる時間の配分率（%）を記入してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。  
科研究費においては、重複応募は可能ですが、重複して採択された場合は、その項目（特別推進研究等）を記載してください。  
また、競争的資金制度により研究を行う場合は、「ー」と記入してください。  
必ず記入してください。本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフオートを決定していただき、e-Radに登録することになります。

⑥ 「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」  
応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞って明確にしてください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に記入してください。

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学年 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) (000)	(00000) (00)		
研究分担者	00000000 (00) (000)	(00000) (00)		
連携研究者	00000000 (00) (000)	(00000) (00)		
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0000

平成28年度（2016年度）基盤研究（B）（特設分野研究）研究計画調査書  
新規  
平成 XX年XX月XX日 1版

研究種目	基盤研究(B)	審査区分	特設分野研究
分野名			
キーワード			
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)		
所属研究機関			
部 局			
職 種			
研究課題名			
研究の要約			
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他 使用内訳(千円)
	平成28年度		
	平成29年度		
	平成30年度		
	平成31年度		
	平成32年度		
	総計		
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する		

**基盤B（特設分野研究）一概要1****研究計画論書（概要版）**

本欄には、研究計画論書に記載した基盤B（特設分野研究）－1「研究目的」、基盤B（特設分野研究）－3「研究計画・方法」の概要について、焦点を絞り、簡潔にまとめて記述してください。

※ 著者登録では、「応募情報（Web入力項目）」と「研究計画論書（概要版）」「本特設分野研究への応募理由」「主な研究業績」のみで、当該資料のみで、応募する研究内容が十分に理解できるよう記述してください。

研究目的及び研究計画・方法の概要

**基盤B（特設分野研究）一概要2****研究目的及び研究計画・方法の概要（つづき）**

研究目的及び研究計画・方法の概要（つづき）
-----------------------

**本特設分野研究への応募理由**

本欄には、応募研究課題が、現行の細目よりも本特設分野に応募することが相応しいことが具体的かつ明確に記述してください。

本特設分野研究への応募理由
---------------

**主な研究業績**

本欄には、基盤B（特設分野研究）－7「研究業績」に記入したものの中から、主要なものを5件以内で選定して記入してください。なお、研究代表者には二重下線、研究分担者には点線の下線を付してください。

主な研究業績
--------

**研究目的**

本欄には、研究の全体構想及びその中の本研究の具体的な目的について、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、具体的かつ明確に記述してください。能適に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」(公募要項7・5頁参照)を参考にしてください。)

- ① 研究の学術的背景。(本研究に開連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等)
- ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、
- ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

**研究目的****研究目的(つづき)**

＜留意事項＞

他の研究種目等との重複応募を可能としていますが、「特設分野研究」に応募する研究計画は、継続研究課題及び重複応募研究課題とは異なる研究内容に限りります。

(注意：本留意事項は応募の際には削除してください。)

**研究計画・方法**

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、平成28年度の計画と平成29年度以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べることと一緒に、研究計画について、研究分担者とともに行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からのおもてなしの必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください。  
また、研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究協力者（海外共同研究者、科研究者への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行なう者、大学院生等）の役割についても記述してください。  
なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

**研究計画・方法****研究計画・方法（つづき）****研究計画・方法（つづき）**

## 研究計画・方法（つづき）

## 今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
- ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がいる場合についても必要に応じて記述してください。）
- ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

## 今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
- ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がいる場合についても必要に応じて記述してください。）
- ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

## 研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性

本欄には、本応募の研究代表者が、平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基礎研究（S）」又は「若手研究（S）」の研究代表者として、研究進捗評価を受けた場合に記述してください。

本欄には、研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性（どのような関係にあるのか、研究進捗評価を受けた研究を具体的にどのように発展させるのが等）について記述してください。

## 基盤B（特設分野研究）-7

研究業績	現在から順に発表年次を過ぎたばかり、発表年（西暦）毎に線を引いて区別（線は移動可）し、通し番号を付けて記入してください。 また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、二重線を引いて区別（二重線は移動可）し、現在から順に発表年次を過ぎたばかりのほかに必要な限りで記入してください。（発表年毎に線を引く必要があります）。 なお、研究業績についてでは、主に2011年以降の業績を中心に記入してください。 ものや今までに発表した主要な論文等（1件以内）を記入して下さい。 ① 例えは発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、章説の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入して下さい。 ② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えてても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線をして下さい。
2015以降	

## 基盤B（特設分野研究）-8

研究業績（つづき）	2013	2012

## これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（科研費、所属研究機関より指置された研究費、府省・地方公署に生かされているもの、民間企業等からの研究費等、なお、現在受けている研究費も含む）による研究成果等のうち、本研究の立案、実施にあたって得られた結果を記述してください。

① それぞれの研究費毎に、研究題名（科研費とそれ以外の研究費）、期間（年度）、研究経費（資金制度名）、期間（年度）、研究費（直接経費）を記述してください。（平成26年度又は平成27年度の研究費が配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください。

② 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述してください。

## 研究業績（つづき）

2011

2010以前

## 基盤B (特設分野研究) - 1-1

## 人権の保護及び法金等の対応 (公募要領4頁参照)

本欄には、研究計画を遂行するに当たつて、相手方の同意、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、協力を必要とする研究等に対する取組を記載してください。  
対策、生命倫理・安全対策に対する取組を講じるの方を記述してください。  
例えば、個人情報を伴うアンケート調査、インターネット調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組織えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。  
なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

## 研究経費の妥当性・必要性

本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年割において、各費目（設備備品費、旅費、人件費・謝金）が全体会議費の9.0%を超える場合及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

## 基盤B (特設分野研究) - 1-2

(金額単位：千円)

設備備品費の明細		消耗品費の明細	
記入に当たつては、基礎研究（B）（特設分野研究）研究計画書作成、記入要領を参照してください。		記入に当たつては、基礎研究（B）（特設分野研究）研究計画書作成、記入要領を参照してください。	
年度	品名・仕様 (数量×単価) (設置機関)	金額	品名 金額
28			

## 基盤B（特設分野研究）－14

## 研究費の応算・受入等の状況・エフォート

## 基盤B（特設分野研究）－13

研究費の応算・受入等の状況・エフォート						
(金額単位：千円)						
研究費の不合理的な過度の集中による影響を防ぐために、研究課題が十分に遂行しえるかどうかを判断する際に参考するところです。本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。本応算課題の研究代表者の応算特點における、(1) 応算中の研究費、(2) 受入予定の研究費、(3) その他の活動について、次の点に留意記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画開示作成・記入要領を確認してください。						
<p>① 「エフォート」欄には、年間の全事業時間を 100 %とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率 (%) を記入してください。</p> <p>② 「応算中の研究費」欄の先頭には、本応算研究課題を記入してください。</p> <p>③ 科研費の「難学後衛研究（研究費拠出型）」においては、「計画研究」「公募研究」の別を記入してください。</p> <p>④ 所属研究機関内に範囲的に記分される研究費についても記入してください。</p>						
(1) 応算中の研究費						
資金制度・研究費名 間・配分機関等名	研究課題名 研究期間	研究代表者氏 名)	研究課題名 研究代表者氏 名)	役割 (代表・ 分担の 別)	平成 28 年度 の研究費 額(千円)	エフ オ ト(%)
【本応算研究課題】 基盤研究 (B) (特設 分野研究) (H28~ H )						
		代表	( )	(総額 千円)		

旅費等の明細 記入に当たっては、基盤研究 (B) (特設分野研究) 研究計画開示作成・記入要領を参照してください。						
（金額単位：千円）						
年度	事 項	金額	事 項	金額	事 項	金額
28	国内旅費		国外旅費		人件費・謝金	

研究費の応算・受入等の状況・エフォート(つづき)			
(2) 受入予定の研究費			
資金制度・研究費名 （研究期間・配分機関等名）	研究課題名 （研究代表者氏名）	役割 （代表・ 分担の 別）	平成28年度 の研究経費 （総額全体会員額 （円））
（研究内容の相違点及び他の研究費に加え て本該研究課題に応じます。理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間 全体の受入額を記入すること)	エフ ォー ト(%)		
(3) その他の活動			
上記の応算中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う 研究活動へ教育活動等のエフ ォートを記入してください。			
合計			100 (%)
上記(1)、(2)、(3)のエフ ォートの合計			

## Ⅱ 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

### 平成28年度基盤研究(C)（特設分野研究）研究計画調書作成・記入要領（新規）

**研究計画調書**は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」という。）あて提出するものであり、**日本学術振興会の科学研究所費委員会における審査資料となるもの**です。

つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。

なお、「基盤研究(C)（特設分野研究）」についての、科研費（基金分）を交付するごとから、研究費の執行にあたり、年次研究費をまとぐ物品の調達等が可能になります。そのため、年度をまたぐ物品調達を念頭に置いて研究計画の立案も可能です。（公募要領3頁を参照）

また、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内定の通知が行われ、この通知に基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることになります。

自己

※ この研究計画調書式は、「基盤研究(C)（特設分野研究）」の「新規応募」に際して使用する様式です。  
 ※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領に基づいて、研究代表者が責任を持つて作成してください。なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領3～2頁を参照してください。  
 ※ 所定の様式の改変は認めません。  
 ※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。

#### I 応募情報（Web入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（Web入力項目）」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。

応募情報（Web入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDFファイル）の前半部分を構成することになります。

応募情報（Web入力項目）に係る作成・入力要領は「平成28年度応募情報（Web入力項目）（基盤研究(S・A・B・C)、挑戦的萌芽研究、若手研究(A・B)）作成・入力要領」を参照してください。

- (Web入力項目)
1. 新規・継続区分
  2. 分野名
  3. キーワード
  4. 研究代表者氏名
  5. 所属研究機関・部局・職
  6. 研究課題名
  7. 研究の要約
  8. 研究経費
  9. 顯示希望の有無
  10. 研究代表者連絡先
  11. 研究組織

以下の項目は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（PDFファイル）の後半部分を構成することになります。

研究代表者は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください（3MB以上のファイルは添付不可）。

作成に当たっては、下記の指示及びそれぞれの記入欄に記載している指示に従い、下記（1）、（2）、（3）、（4）、（6）については、1ポイント以上上の文字等を使用して記入してください。

なお、次のようないくつかの研究計画は公募の対象としていませんので、ご注意ください。

- ① 単に既製の研究機器の購入を目的とする研究計画
- ② 他の経費で措置されるのがふさわしい大型研究装置等の製作を目的とする研究計画
- ③ 商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究計画（商品・役務の開発・販売等に係る市場動向調査を含む。）
- ④ 企業として行う受託研究
- ⑤ 研究期間のいずれかの年度における研究経費額が100万円未満の研究計画また、今回応募する研究種目にについて、「競争的資金の適正な執行に関する指針」（公募要領5頁参照）に示される「不合理な重複」の考え方には、審査の段階で「不合理な重複」と判断される可能性がありますので、研究計画調書を作成する際には、十分に御留意ください。

- (1) 「研究計画調書（概要版）」、「本特設分野研究への応募理由」、「主な研究業績」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。
- (2) 「研究目的」、「研究計画・方法」、「これまでに受けた研究費とその成果等」、「研究経費の妥当性・必要性」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。
- (3) 「今回の研究計画を実施するに当たつての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。
- なお、科研費は国民から徵収された税金等でまかなくわれるものであるため、研究者は、その研究結果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することができます。このため、研究成果を社会・国民に広報する方法（例えば、ホームページの作成、研究成果広報用パンフレットの作成、公開行事等への発表予定）等についても記述してください。（公募要領8～9頁参照）
- (4) 「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性」欄  
 平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究(S)」又は「若手研究(S)」において、研究進捗評価を受けた研究代表者は、研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。
- (5) 「研究業績」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従つて記述してください。
- (6) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄  
 研究計画を遂行するに当たつて、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合は、その旨記入してください。

講じるのか記述してください。  
例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インターネット調査・提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験・動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

(7) 「設備品費の明細」欄には、次のことに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。  
多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、単に〇〇〇一式とするだけではなくその内訳も記入してください。

(8) 「消耗品費の明細」欄には、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

(9) 「旅費等の明細」欄には、次のことに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

① 旅費は、国内旅費及び外国旅費に分けて、研究代表者、研究分担者、連携研究者及び研究協力者の海外・国内外出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等その事項毎に記入してください。  
② 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者（ボストドクター・リサーチアシスタント（RA）・外国の機関に所属する研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等その事項毎に記入してください。  
(例：資料整理（内訳：○人×○月）・△△△千円)

③ その他は、上記のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用等）、実験廃棄物処理費）等その事項毎に記入してください。

(10) 「研究費の応募・受入等の状況・エフオート」欄  
研究代表者の応募時点における、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」、「(3) その他の活動」について、次のことに留意し、それぞれの状況を記入してください。  
・「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。  
・複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。  
・所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。  
・所属研究機関内で、研究活動等を職務として行うための研究費又は「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。  
・研究費については、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入する必要はありませんが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフオートは、「(3) その他の活動」に記入してください。  
また、科研費の連携研究者として参画している研究課題に係るエフオートは、「(3) その他の活動」に記入してください。

・日本学術振興会特別研究员（SPD、PD、RPD）であって、平成28年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合には、「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。  
・なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金（研究遂行経費）にください。

については、記入してください。

① 「資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）」  
研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。なお、科研費の場合には研究種目・審査区分名（新学術領域研究（研究領域提案型））にあつては「計画研究・公募研究」の別を含む。）及び研究期間のみ記入してください。  
（例）「基盤研究（C）審査区分「一般」で研究期間が平成27～30年度

→ 基盤研究（C）（一般）（H27～30）

（例）挑戦的萌芽研究（H28～30）

（例）新学術領域研究（研究領域提案型）の計画研究で研究期間が平成28～

32年度

→ 新学術領域研究（研究領域提案型）（計画研究）（H28～32）

（例）特別研究員奨励費（H27～29）15J12345

→ 特別研究員奨励費（H27～29）15J12345

② 「研究課題名（研究代表者氏名）」  
研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、（ ）書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

③ 「役割（代表・分担の別）」  
当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

④ 「平成28年度の研究経費（期間全体の額）（千円）」  
平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する研究期間全体で自ら使用する総額（予定額）を上段に記入し、併せて研究期間全体会で記入してください。  
また、本人が研究分担者等の場合は、平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。（分担金が配分されない場合は、それぞれ「0」を記入してください。）  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を、「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募すること」と記入してください。

⑤ 「エフオート」  
本欄に記入する、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」及び「(3) その他の活動」に係る全仕事時間を100%として、そのうちそれぞれの研究活動等の実施に必要となる時間の配分率（%）を記入してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのですなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。  
科研費においては、重複応募は可能であっても、重複して採択されることはがない研究種目（特別推進研究等）を記載する場合は、「ー」と記入してください。  
また、競争的資金制度により研究を行いう場合は、当該研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフオートを決定していただき、e-Radに登録することになります。

⑥ 「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」  
応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞つて明確に記入してください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に記入してください。

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学年 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) (000)	(00000) (00)		
研究分担者	00000000 (00) (000)	(00000) (00)		
連携研究者	00000000 (00) (000)	(00000) (00)		
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0000

平成28年度（2016年度）基盤研究（C）（特設分野研究）研究計画調査書  
新規  
平成 XX年XX月XX日 1版

研究種目	基礎研究(C)	審査区分	特設分野研究
分野名			
キーワード			
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)		
所属研究機関			
部 局			
職 種			
研究課題名			
研究の要約			
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他 使用内訳(千円)
	平成28年度		
	平成29年度		
	平成30年度		
	平成31年度		
	平成32年度		
	総計		
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する		

**基盤C（特設分野研究）一概要1****研究計画調書（概要版）**

本欄には、研究計画調書に記載した基盤C（特設分野研究）－1「研究目的」、基盤C（特設分野研究）－3「研究計画・方法」の概要について、焦点を絞り、簡潔にまとめて記述してください。

※ 填面調査では、「応募情報（Web入力項目）」と「研究計画調書（概要版）」「本特設分野研究への応募理由」「主な研究業績」のみで調査を行う場合がありますので、作成に当たっては、当該資料のみで、応募する研究内容が十分に理解できるよう配慮してください。

## 研究目的及び研究計画・方法の概要

**研究目的及び研究計画・方法の概要（つづき）****基盤C（特設分野研究）一概要2****研究目的及び研究計画・方法の概要（つづき）****研究計画調書（概要版）**

本欄には、研究計画調書に記載した基盤C（特設分野研究）－1「研究目的」、基盤C（特設分野研究）－3「研究計画・方法」の概要について、焦点を絞り、簡潔にまとめて記述してください。

※ 填面調査では、「応募情報（Web入力項目）」と「研究計画調書（概要版）」「本特設分野研究への応募理由」「主な研究業績」のみで調査を行う場合がありますので、作成に当たっては、当該資料のみで、応募する研究内容が十分に理解できるよう配慮してください。

## 研究目的及び研究計画・方法の概要

<b>本特設分野研究への応募理由</b> 一本欄には、応募研究課題が、現行の細目よりも本特設分野に応募することが相応しい理由を具体的かつ明確に記述してください。	<b>主な研究業績</b> 一本欄には、基盤C（特設分野研究）－6「研究業績」に記入したものの中から、主要なものを5件以内で選定して記入してください。 また、研究代表者は二重下線、研究分担者は一点下線を付してください。
---	---

**研究目的**

本欄には、研究の全体構想及びその中の本研究の具体的な目的について、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点について  
は、無点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規  
程」(公募要項7.5頁参照)を参考にしてください)。  
 ① 研究の学術的情報、(本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至  
つた経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等)  
 ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、  
 ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

**研究目的**

<留意事項>

他の研究種目等との重複応募を可能としていますが、「特設分野研究」に応募  
する研究計画は、継続研究課題及び重複応募研究課題とは異なる研究内容に限  
ります。

(注意：本留意事項は応募の際には削除してください。)

**研究目的**

特に次の点について

は、無点を絞り、具体的かつ明確に記述してください)。

記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規

程」(公募要項7.5頁参照)を参考にしてください)。

① 研究の学術的情報、(本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至

つた経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等)

② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、

③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

**研究計画・方法**

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、平成28年度の計画と平成29年度以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。ここでは、研究者が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べることとともに、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点から、研究分担者とともに行う研究計画である場合は、研究目的との関連性についても述べてください。

また、研究体制を明らかにするため、連携研究者（海外共同研究者、科研究への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行なう者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の役割についても記述してください。

なお、研究期間の途中で異動や追職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

**研究計画・方法****研究計画・方法（つづき）****研究計画・方法（つづき）**

### 今回の研究計画を実施するに当たつての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。  
 ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究課題の状況  
 ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整状況など、研究着手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者かいる場合についても必要に応じて記述してください。）  
 ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

<b>研究業績</b> 本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、主要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年（西暦）毎に線を引いて区別（線は移動可）し、通し番号を付けて記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。 また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、二重線を引いて区別（二重線は移動可）し、研究者毎に、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり記入してください。発表年角に線を引く必要はありません。	<b>研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性</b> 本欄には、本応募の研究代表者が、平成26年度又は平成27年度に、「特設准拠研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」の研究代表者として、研究進捗評価を受けた場合に記述してください。 本欄には、研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性（どのようにつながるのか、研究進捗評価を受けた研究を具体的にどのように発展させたのか等）について記述してください。
2015以降	2013

## これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（科研費、所属研究機関より指掌された研究費、府省・地方公署に生かされているものを除く）、民間企業等からの研究費等、なお、現在受けている研究費も含む）による研究結果等のうち、本研究の立案団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等、（なお、現在受けている研究費も含む）による研究結果等のうち、本研究の立又はそれらの研究費毎に、研究種目名（科研費以外の研究費に記入する場合は資金制度名）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入し、研究費が他の研究費（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください（平成26年度又は平成27年度の研究費の研究期間結果がある場合には、基盤C（特設分野研究）-5「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の開通性」欄に記述してください）。

② 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述してください。

## 研究業績（つづき）

2012

2011

2010以前

**基盤 C (特設分野研究) - 9**

**人権の保護及び法令等の対応 (公募要領4 頁参照)**

本欄には、研究計画を遂行するに当たつて、相手方の同意、協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、安全対策に対する取組を講じる場合等に記載する取組を記述してください。  
例えば、個人情報を用いたアンケート調査、インターネット調査、提供を受けた試料の使用、遺伝子解析研究、組織DN A実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。  
なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

**研究経費の妥当性・必要性**

本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性・種類根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年度において、各費目（設備備品費、旅費、人件費・謝金）が全体の研究経費の90%を超える場合及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

**基盤 C (特設分野研究) - 10**

(金額単位：千円)

設備備品費の明細		消耗品費の明細		
記入に当たつては、基礎研究（C）特設分野研究（C）研究計画書作成、記入要領を参照してください。		記入に当たつては、基礎研究（C）特設分野研究（C）研究計画書作成、記入要領を参照してください。		
年度	品名・仕様 (数量×単価) (設置機関)	金額	品名	金額
28				

**基盤 C (特設分野研究) - 1.1**

研究代表者のみ作成・添付

旅費等の明細						
年度	記入に当たっては、基礎研究（C）（特設分野研究）研究計画調書作成・記入要領を参照してください。					
	事 項	金額	事 項	金額	事 項	金額
28						

**基盤 C (特設分野研究) - 1.2**

研究費の応募・受入等の状況・エフォート						
本欄は、合議審査が行われる際の参考用として、研究費の不合理的な重複又は過度の集中にからず、「研究費が不合理な重複又は過度の集中にからず、研究課題が1分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。						
本応募課題の研究代表者の応募特點における、(1)応募中の研究費、(2)受入予定の研究費、(3)その他の活動について、次回の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、総を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、「研究計画調書作成・記入要領を確認してください」。						
(1)「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、その後当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。						
(2)「[応募中の研究費】欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。 ②記入して下さい。 ③「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入して下さい。 ④「新学術領域研究（研究領域提案型）」においては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。						
(1) 応募中の研究費						
資金調達・研究費名（研究期間・研究課題名）						
【本応募研究課題】 基礎研究（C）（特設分野研究） (H28～H )						
代表						
平成28年度 の研究経費 （代表・ 分担の 別）						
（総額 千円）						
研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 （研究費の研究代表者の場合は、研究期間全 体の受入額を記入下さい）						

研究費の応算・受入等の状況・エフォート(つづき)			
(2) 受入予定の研究費			
資金制度・研究費名（研究期・研究代表者氏名） 開・配分機関等名	役割 (代表・ 分担の 別)	平成28年度 の研究活動 費用金額 (円)	エフ ォート (%)
		研究内容の相違点及び他の研究費に加 えて本応算研究課題に応算する理由 (科研費・研究代表者の場合は、研究期間全 体の金額を記入すること)	
(3) その他の活動			
上記の応算中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う 研究活動へ教育活動等のエフ ォートを記入してください。			
合計		100	(%)
上記(1)、(2)、(3)のエフ ォートの合計			



## 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

### 平成28年度挑戦的萌芽研究 研究計画調書作成・記入要領（新規）

**研究計画調書**は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」という。）あて提出するものであり、**日本学術振興会の科学研究費委員会における審査資料となる**ものです。  
 つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。  
 なお、「挑戦的萌芽研究」については、公募要領によることで、研究費の執行にあたり、挑戦的萌芽研究費（基金部分）を交付することから、研究費の執行年度をまたぐ物品調達を念頭に置いていた研究計画の立案も可能です。（公募要領3頁を参照）  
 また、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内定の通知が行われば、この通知に基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることになります。

言記

※ この研究計画調書は、「挑戦的萌芽研究」の新規応募に際して使用する様式です。  
 ※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領に定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持つて作成してください。なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領3～32頁を参照してください。  
 ※ 所定の様式の改変は認めません。  
 ※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。

### I 応募情報（Web入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（Web入力項目）」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。  
 応募情報（Web入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDFファイル）の前半部分を構成することになります。  
 応募情報（Web入力項目）に係る作成・入力要領は「平成28年度応募情報（Web入力項目）（基礎研究・S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B））作成・入力要領」を参照してください。

- (Web入力項目)
  - 1. 新規・継続区分
  - 2. 細目番号
  - 3. 分割番号
  - 4. 細目表キーワード・細目表以外のキーワード
  - 5. 研究代表者氏名
  - 6. 所属研究機関・部局・職
  - 7. 研究課題名
  - 8. 研究経費
  - 9. 顯示希望の有無
  - 10. 研究組織

以下の項目は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（PDFファイル）の後半部分を構成することになります。  
 研究代表者は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください（3MB以上のファイルは添付不可）。  
 作成に当たっては、下記の指示及びそぞれの記入欄に記載している指示に従い、下記（1）、（2）、（3）については、下記の指示と以上の記入欄等を使用して記入してください。  
 なお、（3）については、1.1ポイント以上の公募の対象としていませんので、ご注意ください。  
 基本的に既製の研究計画は公募の対象としていませんので、ご注意ください。  
 ① 単に既製の研究機器の購入を目的とする研究計画  
 ② 他の経費で指置されるのがふさわしい大型研究装置等の製作を目的とする研究計画  
 ③ 商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究計画（商品・役務の開発・販売等に係る市場動向調査を含む。）  
 ④ 業として行う受託研究  
 ⑤ 研究期間のいすれかの年度における研究経費の額が100万円未満の研究計画  
 また、今回応募する研究種目について、「競争的資金の適正な執行に関する指針」（公募要領5頁参照）に示される「不合理な重複」の考え方には該当する場合には、審査の段階で「不合理な重複」と判断される可能性がありますので、研究計画調書を作成する際には、十分に御留意ください。

- (1) 「研究目的」、「研究計画・方法」、「研究経費の妥当性・必要性」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。
- (2) 「研究の斬新性・チャレンジ性」欄  
 次の点について、焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。  
 ① 本研究が、どのような点で斬新なアイデアやチャレンジ性を有しているか  
 ② 本研究が、新しい原理の発展や斬新な着想や方法論の提案を行うものである点、または成功した場合に卓越した成果が期待できるものである点、また
- (3) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄  
 研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
 例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インターネット調査・動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手續が必要となるる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。
- (4) 「設備備品費の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。  
 多数の図書・資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書・資料の内容が判明するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、單に〇〇一式とするだけではなくその内訳も記入してください。
- (5) 「消耗品費の明細」欄には、薬品・実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。
- (6) 「旅費等の明細」欄には、次のことに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

- ① 旅費は、国内旅費及び国外旅費に分け、研究代表者、研究分担者、連携研究者及び研究協力者の海外・国内出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発

表等)のための経費(交通費、宿泊費、日当)等その事項毎に記入してください。

② 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者(ボストドクター・リサーチアシスタント(R.A.)・外国の機関に所属する研究者等)に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等その事項毎に記入してください。  
(例: 資料整理(内訳: ○人×○月)・△△△千円)

③ その他は、上記のほか当該研究を遂行するための経費(例: 印刷費、複写費、現像料費、通信費(切手、電話等)、運搬費、研究実施場所借り上げ費(研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る)、会議費(会場借料、食事(アルコール類を除く)費用等)、リース・レンタル費用(コンピュータ、自動車、実験機器、器具等)、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用(学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究結果広報活動費用等)、実験廃棄物処理費)等その事項毎に記入してください。

#### (7) 「研究費の応募・受入等の状況・エフォート」欄

研究代表者の応募時点における、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」、「(3) その他の活動」について、次のことに留意し、そぞれの状況を記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。

・「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。

・所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。

・所属研究機関内で、研究活動等を職務とし行う研究費又は「(2) 受入予定の研究費」又は「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入する必要はありませんが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフォートは、「(3) その他の活動」に記入してください。

・また、科研費の連携研究者として参画している研究課題に係るエフォートは、「(3) その他の活動」に記入してください。

・日本学術振興会特別研究員(SPD、PD、RPD)であって、平成28年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合には、「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金(研究遂行経費)については、記入しないでください。

③ 「役割(代表・分担の別)」  
当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

④ 「平成28年度の研究経費(期間全体の額)(千円)」  
平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額(応募中のものは応募額)を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額(予定額)を下段に( )書きで記入してください。

また、本人が研究分担者等の場合は、平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額(予定額)を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の額(予定額)を下段に( )書きで記入してください(分担金が配分されない場合は、それぞれ「0」を記入してください。)。

なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を「研究内

容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」欄に記入してください。

#### (5) 「エフォート」

本欄に記入する、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」及び「(3) 他の活動」に係る全仕事時間を100%として、そのうちそれぞれの研究活動等の実施に必要な時間の配分率(%)を記入してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。なお、科研費においては、重複応募は可能であっても、重複して採択されることがない研究項目(特別推進研究等)を記載する場合は、「ー」と記入してください。

また、競争的資金制度により研究を行う場合には、当該研究活動に係るエフォートを必ず記入してください。本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定していただき、e-Radに登録することとなります。

⑥ 「研究内容の相違点及び他の研究費と本応募研究課題に応募する理由」

応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に

加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞つて明確に記入してください。

なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に記入してください。

① 「資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)」  
研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。なお、科研費の場合には研究種目・審査区分名(新学術領域研究(研究領域提案型)にあつては「計画研究・公募研究」の別を含む。)及び研究期間のみ記入してください。ただし、特別研究員奨励費については、課題番号も入力してください。

(例1) 基盤研究(C) 審査区分「一般」で研究期間が平成27~30年度

→ 基盤研究(C) (一般) (H27~30)

(例2) 挑戦的萌芽研究(研究領域提案型)で研究期間が平成28~30年度

→ 挑戦的萌芽研究(H28~30)

(例3) 新学術領域研究(研究領域提案型)の計画研究で研究期間が平成28~32年

→ 新学術領域研究(研究領域提案型)(計画研究) (H28~32)

(例4) 特別研究員奨励費(平成27~29年度)

→ 特別研究員奨励費(H27~29) 15J12345

② 「研究課題名(研究代表者氏名)」

研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、( )書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) 研究代表者	(00000) 研究分担者	(00)	
研究分担者	00000000 (00) 研究分担者	(00000) 連携研究者	(00)	
連携研究者	00000000 (00) 連携研究者	(00000) 連携研究者	(00)	
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

## 平成28年度(2016年度)挑戦的萌芽研究 研究計画調査

平成XX年XX月XX日  
1版

## 新規

機関番号	研究種目番号	審査区分番号	細目番号	分割番号	整理番号
00000	00	-	0000	0	0000

研究種目	挑戦的萌芽研究					
	分野	分科	細目	細目表 キーワード	細目表以外の キーワード	研究代表者 氏名
研究機関 部局						
職						
研究課題名						
	年度	研究経費 (千円)	設備購入費	消耗品費	旅費	人件費・謝金
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	平成28年度					
	平成29年度					
	平成30年度					
	総計					
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する					
合計	00 名					

**挑戦的萌芽ー1****研究目的**

本欄には、研究の全体制想及びその中の本研究の具体的な目的について、焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。  
宜文體を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。  
① 研究費助成事業における審査及び評価に関する規程（公募要領75頁参照）を参考にしてください。

② 研究の学術的情向、（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経験、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）

③ 当該分野における本研究の学術的な特色及び予想される結果と意義

**研究目的（概要）※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。****研究の斬新性・チャレンジ性**

本欄には、次の点について、焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。

- ① 本研究が、どのような点で斬新なアイデアやチャレンジ性を有しているか。
- ② 本研究が、新しい原理の発展や新たな着想や方方法論の提案を行うものである点、または成功した場合に卓越した成果が期待できるものである点等

**研究計画・方法（つづき）****挑戦的萌芽—3****研究計画・方法**

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成28年度の計画と平成29年度以後の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、焦点を設り、具体的かつ明確に記述してください。また、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともにを行う研究計画は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性、及び研究目的との関連性についても述べてください。さらに、研究体制の全体像を明らかにするため、連携研究者及び研究助学者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行いうる者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の役割についても記述してください。

なお、研究期間の途中で異動や追加等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

**研究計画・方法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。**

## 挑戦的萌芽－5

### 人権の保護及び法令等の対応（公募要領4頁参照）

本欄には、研究計画を遂行するに当たつて、相手方の同意、協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理、安全対策に対する取組が必要とする研究等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのが記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査、インターネット調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組織えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

### 挑戦的萌芽－6

### 挑戦的萌芽－6

（金額単位：千円）

設備備品費の明細				消耗品費の明細			
記入に当たっては、挑戦的萌芽研究 研究計画面調書作成が、記入要領を参照してください。				記入に当たっては、挑戦的萌芽研究 研究計画面調書作成・記入要領を参照してください。			
年度	品名・仕様 (数量×単価)	金額	品名 金額	年度	品名・仕様 (設置機器)	金額	品名 金額
28							

## 挑戦的萌芽-7

## 研究費の応算・受入等の状況・エフォート

本欄は、第2段審査(合議審査)において、「研究課題が十分に遂行し得るかどうかを判断する際に参考するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただきが必要があります。本応募課題の研究代表者は該問題における、(1) 応募中の研究費、(2) 受入予定の研究費、(3) その他の活動について記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画書等で詳しく述べてください。  
 ① エフオート欄には、年間の全仕事時間を1.0%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。  
 ② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。  
 ③ 科研費の「新学術領域研究(研究領域選択)」においては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。  
 ④ 所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても記入してください。

## (1) 応募中の研究費

資金制度・研究費名 (研究期間 研究課題名 (研究代表者名))	研究課題名 (研究代表者名)	役割 (代表・分担の別)	平成28年度の研究経費 (総額(開会体の額) 千円)	エフオート(%)
【本応募研究課題】 挑戦的萌芽研究 (H28~H )		代表	( )	(総額 千円)

## 挑戦的萌芽-8

## 研究費の応算・受入等の状況・エフォート(つづき)

## 研究費の応算・受入等の研究費

資金制度・研究費名 (研究期間 研究課題名 (研究代表者名))	研究課題名 (研究代表者名)	役割 (代表・分担の別)	平成28年度の研究経費 (総額(開会体の額) 千円)	エフオート(%)

(3) その他の活動  
上記の応算中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフオートを記入してください。

合計  
上記(1)、(2)、(3)のエフオートの合計

100 (%)



## 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

### 平成 28 年度 研究費申請書作成・記入要領（新規）

以下の項目は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（PDF ファイル）の後半部分を構成することになります。  
研究代表者は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください（3MB 以上のファイルは添付不可）。

研究計画調書は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」という。）あて提出するものであり、日本学術振興会の科学研究所委員会における審査資料となるものです。  
つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。  
なお、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内容の通知が行われることの通知にに基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることになります。

言己

**この研究計画調書様式は、「若手研究（A）」の新規応募に際して使用する様式です。**  
**※※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持つ作成してください。**  
**※※ 所定の様式の変更は認めません。**  
**※※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。**

#### 応募情報（We b 入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（We b 入力項目）」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）の ID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。  
応募情報（We b 入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDF ファイル）の前半部分を構成することになります。  
応募情報（We b 入力項目）に係る作成・入力要領は「平成 28 年度応募情報（We b 入力項目）（基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B））作成・入力要領」を参照してください。

- (1) 研究代表者氏名
- (2) 年齢
- (3) 新規・継続区分
- (4) 細目表キーワード・細目表以外のキーワード
- (5) 分割番号
- (6) 研究代表者番号
- (7) 所属研究機関・部局・職
- (8) 学位・現在の専門・エフォート
- (9) 研究課題名
- (10) 研究経費
- (11) 開示希望の有無

(1) 「研究目的」、「研究計画・方法」、「研究経費の妥当性・必要性」欄  
研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(2) 「研究活動の状況及び本研究計画との関連性」、「これまでに受けた研究費とその成果等」欄  
研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(3) 「研究業績」欄  
研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。（頁の追加等はできません。）なお、産業財産権等の知的財産権を有する場合は、その旨記入してください。（特許出願番号等）

(4) 「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性」欄  
平成 26 年度又は平成 27 年度に、「特別推進研究」「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」において、研究進捗評価を受けた研究代表者は、研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(5) 「今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法」欄  
研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

なお、科研費は国民から徴収された税金等でまかなわれるものであるため、研究者は、その研究成果を社会・国民にできるだけ分かりやすく説明することが求められています。  
このため、研究成果を社会・国民に発信する方法（例えば、ホームページの作成、研究成果広報用パンフレットの作成、公開行事等への参加、マスメディアへの発表予定）等の記述してください。  
例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、

ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

(7) 「設備品費の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、單に〇〇〇一式とするだけではなくその内部も記入してください。

(8) 「消耗品費の明細」欄には、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

(9) 「旅費等の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

① 旅費は、国内旅費及び外国旅費に分けて、研究代表者及び研究協力者の海外・国内出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等その事項毎に記入してください。

② 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、実験資料の収集等を行う研究協力者（ボストドクター・リサーチアシスタント（RA）・外国の機関に所属する研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等その事項毎に記入してください。  
(例：資料整理（内訳：○人×○月）・△△△千円）

③ その他は、上記のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像料、通信費（切手、電話等）、運搬費、(研究実施場所併り)会議費(会場借料、食事(アルコール類を除く)費用等)、リース・レンタル費用(コンピュータ、自動車、実験機器、器具等)、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用(学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究結果広報活動費用等)、実験廃棄物処理費)等その事項毎に記入してください。

(10) 「研究費の応募・受入等の状況・エフォート」欄  
研究代表者の応募時点における、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」、「(3) その他の活動」について、次のことに留意し、それぞれの状況を記入してください。

・「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。

・複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。  
又は「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。

・所属研究機関内で、研究活動等を職務として行うため一律に配分されるような基盤的経費については、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入する必要はありませんが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフォートは、「(3) その他の活動」に記入してください。

また、科研費の連携研究者として参画している研究課題に係るエフォートは、「(3) その他の活動」に記入してください。

・日本学術振興会特別研究員(SPD、PD、RPD)であって、平成28年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合には、「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金(研究遂行経費)については、記入しないでください。

① 「資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）」  
研究費の名称、研究期間・配分機関等名を記入してください。なお、科研費の場合には研究種目・審査区分名（新学術領域研究（研究領域提案型））にあつては「計画研究・公募研究」の別を含む。）及び研究期間のみ記入してください。ただし、特別研究員奨励費については、課題番号も入力してください。

(例 1) 基盤研究（C）審査区分「一般」で研究期間が平成27～30年度

→ 基盤研究（C）（一般）(H27～30)

(例 2) 挑戦的萌芽研究で研究期間が平成28～30年度

→ 挑戦的萌芽研究(H28～30)

(例 3) 新学術領域研究（研究領域提案型）の計画研究で研究期間が平成28～

32年度

→ 特別研究員奨励費(H27～29) 15J12345

② 「研究課題名（研究代表者氏名）」  
研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、（ ）書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

③ 「役割（代表・分担の別）」  
当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

④ 「平成28年度の研究経費（期間全額）（千円）」  
平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額（応募中のものは応募額）を上段に記入し、併せて研究期間全額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。  
また、本人が研究分担者等の場合は、平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額（予定額）を上段に記入し、併せて研究期間全額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全額の直接経費の総額を「研究内容の相違点及び他の研究費に記入してください。

⑤ 「エフォート」  
本欄に記入する、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」及び「(3) その他の活動」に係る全仕事時間を100%として、そのうちそれの研究活動等の実施に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。  
なお、科研費においては、重複応募は可能であっても、重複して採択されることがない研究種目（特別推進研究等）を記載する場合は、「ー」と記入してください。  
また、競争的資金制度により研究を行なう場合には、当該研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定していただき、e-Radに登録することになります。

⑥ 「研究内容の相違点及び他の研究費に記入する理由」  
応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞って明確に記入してください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全額の直接経費の総額を当該欄に記入してください。

## 平成28年度(2016年度)若手研究(A) 研究計画調書

平成XX年XX月XX日  
1版

## 新規

機関番号	研究項目番号	審査区分番号	細目番号	分割番号	整理番号
00000	00	-	0000	0	0000

研究種目	若手研究(A)				
分野					
分科					
細目					
細目表 キーワード					
細目表以外の キーワード					
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)				
年齢 (H28.4.1現在)	0歳(S、年月生まれ)				
所属研究機関					
部局					
職					
学位					
現在の専門	エコナート 00%				

研究課題名					
研究経費	年度	研究経費 (千円)	設備備品費	消耗品費	旅費
〔 千円未満の 端数は切り 捨てる 〕	平成28年度				
	平成29年度				
	平成30年度				
	平成31年度				
	総計				

開示希望の有無	審査結果の開示を希望する				
---------	--------------	--	--	--	--

**研究目的**

本欄には、研究の全体構造及びその中の研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。（記述に当たっては、「科学実験費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領7・5頁参照）を参考にしてください。）。

- ① 研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏え着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）
- ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、
- ③ 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

**研究目的（概要）※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。**

**研究目的（つづき）**

著手（A）－1

## 研究計画・方法（つづき）

**研究計画・方法**

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成28年度と平成29年度の計画に分けて、適宜文脈を引かずつ記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、次の点についても、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

① 本研究を遂行する上での具体的な工夫（効率的に研究を進める上でのアイディア、効率的に研究を進めための研究協力者からの支援等）

② 研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者及び研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や実験専門家の研究支援を行なう者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の具体的な役割（図表を用いる等）

③ 研究代表者が、本研究とは別に職務として行なう研究のために雇用されている場合、または職務ではないが別に行なう研究がある場合には、その研究内容と本研究との関連性及び特徴点、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

**研究計画・方法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。**

<p><b>研究業績</b></p> <p>本欄には、これまでに発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関する重要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのびり、発表年（署名）毎に線を引いて区別（線は移動可）し、通し番号を付して記入してください。なお、学術会議へ投稿中の論文を記入する場合は、登録が決定しているものに限ります。</p> <p>なお、研究業績においては、主に2011年以降の業績を中心に入力してください。それ以前の業績であっても本研究に深く関わるものや今までに発表した主要な論文等（10件以内）を記入しても構いません。</p> <p>① 例えは発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、著者の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。</p> <p>② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えて也可。著者名が多数にわたる場合は、主たる著者を登録し以下を省略して記入する場合、その個数と、掲載されている順番を○番目と記入してください。</p>	2015以降
	2014
	2013

<p><b>研究活動の状況及び本研究計画との関連性</b></p> <p>現在、参画している研究の状況（研究費の種類、研究期間、研究課題、研究内容、役割分担内容）と今回応募している本研究計画との関連性を具体的に記述してください。</p>
--

<p><b>これまでに受けた研究費とその成果等</b></p> <p>本欄には、研究代表者がこれまでに受けた研究費（科研費、所属研究会機関より指掌された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等、なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成績等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、科研費とそれ以外の研究費に分け、次の点に留意し記述してください。</p> <p>① それぞれの研究費毎に、研究題目名（科研費）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成績及び中間・最終評価（当該研究費の研究進捗評価結果がある場合には、若手（A）-8「研究計画と研究進捗評価の関連性」欄に記述してください。）。</p> <p>② 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述してください。</p>
---

**研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性**

・本欄には、本応募の研究代表者が、平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」の研究代表者として、研究進捗評価を受けた場合に記述してください。  
 ・本欄には、研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性（どのような関係にあるのか、研究進捗評価を受けた研究を具体的にどのように発展させるのか等）について記述してください。

**研究業績（つづき）**

2012

2011

2010以前

### 今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、具体的に記述してください。  
 ① 本研究を実施するための明確な目標と、具体的な研究内容  
 ② 研究対象に対する実施する研究施設、設備、研究資源等の状況  
 ③ 研究者による実験結果の発信方法等

### 研究略歴

本欄には、最終学校卒業後の研究履歴を現在から順に年度をさかのぼって記入してください。その際、どのような研究を行ってきたのか、研究内容とともに特筆すべき事項（受賞歴等）を簡潔に記入してください。

### 研究費の妥当性・必要性

本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年度において、各項目（設備備品費、旅費、人件費、謝金）が全体の研究経費の90%を超える場合及びその他の費用で、特に大きな割合を占める経費には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

### 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領4頁参照）

本欄には、研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
 例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・ヒト遺伝子解析研究・組織えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。  
 なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

若手 (A) - 1.2

(金額単位：千円)

旅費等の明細						
年度	記入に当たっては、若手研究 (A) 研究計画調書作成・記入要領を参照してください。			記入に当たっては、若手研究 (A) 研究計画調書作成・記入要領を参照してください。		
	国内旅費 事項	国外旅費 事項	金額	人件費・謝金 事項	金額	その他 事項
28						

若手 (A) - 1.1

(金額単位：千円)

消耗品費の明細		
記入に当たっては、若手研究 (A) 研究計画調書作成・記入要領を参照してください。		
年度	品名・仕様 (数量×単価) (設置機関)	金額
28		

**若手 (A) - 1 3**

**研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

本欄は、第2段審査(合議審査)において、「研究資金の受け入れたる研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参考するところです。(1)応募するときの研究費を正しく記載していただく必要があります。本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1)応募中の研究費、(2)受入予定の研究費、(3)その他の活動について、次に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調査書作成・記入要領を確認してください。

①「エフオート」欄には、年間の全仕事時間を1.00%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。

②「応募中の研究費」欄には、本応募研究課題を記入してください。

③「研究費の「新学術領域研究(研究領域選択型)」にあつては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。

④所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても記入してください。

**(1) 応募中の研究費**

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由(科研究費の研究代表者の場合は、研究期間全般の受入額を記入すること)	研究費(代表・分担の割合別)(千円)	平成28年度エフオート(%)	平成28年度エフオート(%)
<b>【本応募研究課題】 若手研究 (A) (H28~H )</b>	<b>代表 ( )</b>		<b>(総額 千円)</b>		

**研究費の応募・受入等の状況・エフオート(つづき)**

<b>(2) 受入予定の研究費</b>					
本欄は、第2段審査(合議審査)において、「研究資金の受け入れたる研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参考するところです。(1)応募するときの研究費を正しく記載していただく必要があります。本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1)応募中の研究費、(2)受入予定の研究費、(3)その他の活動について、次に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調査書作成・記入要領を確認してください。					
①「エフオート」欄には、年間の全仕事時間を1.00%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。					
<b>(3) その他の活動</b>					
上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフオートを記入してください。					
<b>合計</b>					
上記(1)、(2)、(3)のエフオートの合計					
100 (%)					

## Ⅱ 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

### 平成28年度着手研究（B） 研究計画調書作成・記入要領（新規）

**研究計画調書**は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」という。）あて提出するものであり、日本学術振興会の科学研究費委員会における審査資料となるものです。

つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないようして記入してください。

なお、「若手研究（B）」については、科研費（基金分）を交付することから、研究費の執行にあたり、年度をまたぐ物品の購入等が可能になります。（公募要領3頁を参照）

また、科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内定の通知が行われば、この通知に基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることになります。

言己

※ この研究計画調書は、「若手研究（B）」の新規応募に際して使用する様式です。  
 ※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持つて作成してください。  
 ※ 所定の様式の改変は認めません。  
 ※※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。

### I 応募情報（Web入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（Web入力項目）」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。

応募情報（Web入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDFファイル）の前半部分を構成することになります。

応募情報（Web入力項目）に係る作成・入力要領は「平成28年度応募情報（Web入力項目）要領」を参照願います。

- |           |                         |
|-----------|-------------------------|
| （Web入力項目） | 1. 新規・継続区分              |
|           | 2. 審査希望分野               |
|           | 3. 細目番号                 |
|           | 4. 分割番号                 |
|           | 5. 細目表キーワード・細目表以外のキーワード |
|           | 6. 研究代表者氏名              |
|           | 7. 年齢                   |
|           | 8. 所属研究機関・部署・職          |
|           | 9. 学位・現在の専門・エフォート       |
|           | 10. 研究課題名               |
|           | 11. 研究経費                |
|           | 12. 顯示希望の有無             |

以下の項目は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（PDFファイル）の後半部分を構成することになります。

研究代表者は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください（3MB以上のファイルは添付不可）。

作成に当たっては、下記の指示及びそれとの記入欄に記載している指示に従い、下記（1）、（3）、（4）、（5）について、（1）を1インチ以上以上の文字等を使用して記入してください。

なお、次のように研究計画は公募の対象としていませんので、ご注意ください。

① 単に販売の研究機器の購入を目的とする研究計画  
 ② 他の経費で指置されるのがふさわしい大型研究装置等の製作を目的とする研究計画  
 ③ 商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究計画（商品・役務の開発・販売等に係る市場動向調査を含む。）

④ 業として行う受託研究

⑤ 研究期間のいすれかの年度における研究経費の額が10万円未満の研究計画また、今回応募する研究種目について、「競争的資金の適正な執行に関する指針」（公募要領5頁参照）に示される「不合理な重複」の考え方に関する場合には、審査の段階で「不合理な重複」と判断される可能性がありますので、研究計画調書を作成する際には、十分に御留意ください。

- (1) 「研究目的」、「研究計画・方法」、「研究経費の妥当性・必要性」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従って記入してください。（頁の追加等はできません。）なお、産業財産権等の知的財産権を有する場合は、その旨記入してください。（特許出願番号等）
- (2) 「研究業績」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。（頁の追加等はできません。）
- (3) 「研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性」欄  
 平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基盤研究（S）」又は「若手研究（S）」において、研究進捗評価を受けた研究代表者は、研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。
- (4) 「今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法」欄  
 研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。
- なお、科研費は國民から徵収された税金等でまかなわれるものであるため、研究者は、その研究成果を社會・國民にできるだけ分かりやすく説明することが求められています。このため、研究成果を社會・國民に発信する方法（例えば、ホームページの作成、研究成果広報用パンフレットの作成、公開行事等への参加、マスメディアへの発表予定）等についても記述してください。（公募要領8～9頁参照）
- (5) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄  
 研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インターネット調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

(6) 「設備備品費の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつて記入してください。  
多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、単に〇〇〇一式とするだけではなくその内訳も記入してください。

(7) 「消耗品費の明細」欄には、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入し、それを各年度毎に区分し、かつて記入してください。

(8) 「旅費等の明細」欄には、次のことに留意し、それを各年度毎に区分し、かつて記入してください。

① 旅費は、国内旅費及び外国旅費に分けて、研究代表者及び研究協力者の海外・国内出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等その事項毎に記入してください。

② 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者（ボストドクター・リサーチャー・システム（R.A.）・外国の機関に所属する研究者等）の事項毎に記入してください。

（例：資料整理（内訳：○人×○月）・△△△千円）

③ その他は、上記のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所併り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器、器具修理費用等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究活動費用等）、実験廃棄物処理費）等その事項毎に記入してください。

#### (9) 「研究費の応募・受入等の状況・エフォート」欄

研究代表者の応募時点における、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」、「(3) その他の活動」について、次のことに留意し、それぞれの状況を記入してください。  
・「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」欄には、科研費のみならず他の競争的資金制度についても記入してください。  
・複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。  
・所属研究機関内で競争的に分配される研究費についても、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。  
・所属研究機関内で、研究活動等をして行うため一律に配分されるような基礎的経費については、「(1) 応募中の研究費」又は「(2) 受入予定の研究費」に記入する必要はありませんが、そのような経費を活用して行う研究活動等のエフォートは、「(3) その他の活動」に記入してください。  
また、科研費の連携研究者として参画している研究課題に係るエフォートは、「(3)

その他の活動」に記入してください。  
・日本学術振興会特別研究員（S.P.D.、P.D.、R.P.D.）であつて、平成28年度の特別研究員奨励費の受給を予定している場合には、「(2) 受入予定の研究費」に記入してください。なお、日本学術振興会より毎月支給される研究奨励金（研究遂行経費）については、記入しないでください。

- ① 「資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）」  
研究費の名称、研究期間、配分機関等名を記入してください。なお、科研費の場合には研究種目・審査区分名（新学術領域研究（研究領域提案型）にあつては「計画研究・企画研究」の別を含む。）及び研究期間のみ記入してください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に記入してください。

(6) 「設備備品費の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつて記入してください。

（例1）基盤研究（C）審査区分「一般」で研究期間が平成27～30年度  
→ 基盤研究（C）（一般）（H27～30）

（例2）挑戦的萌芽研究で研究期間が平成28～30年度  
→ 挑戦的萌芽研究（H28～30）

（例3）新学術領域研究（研究領域提案型）の計画研究で研究期間が平成28～32年度  
→ 新学術領域研究（研究領域提案型）（計画研究）（H28～32）

（例4）特別研究员奨励費（H27～29）15J12345  
→ 特別研究员奨励費（H27～29）15J12345

#### (2) 「研究課題名（研究代表者氏名）」

研究課題名を記入してください。なお、研究分担者等で参画している場合は、（ ）書きで当該研究課題の研究代表者等の氏名を記入してください。

(3) 「役割（代表・分担の別）」  
当該研究者の役割が研究代表者等の場合は「代表」と、研究分担者等の場合は「分担」と記入してください。

(4) 「平成28年度の研究経費（期間全体の額）（千円）」  
平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する研究費の直接経費の額（応募中のものは「応募額」）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する総額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。  
また、本人が研究分担者等の場合は、平成28年度に本人が受け入れ自ら使用する分担金の額（予定額）を上段に記入し、併せて研究期間全体で自ら使用する分担金の総額（予定額）を下段に（ ）書きで記入してください。  
（ ）書きで記入してください。  
また、科研費においては、重複応募は可能であっても、複数の研究期間を指します。  
研究種目（特別推進研究等）を記載する場合は、「ー」と記入してください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」欄に記入してください。

(5) 「エフォート」  
本欄に記入する、「(1) 応募中の研究費」、「(2) 受入予定の研究費」及び「(3) その他の活動」に係る全仕事時間を100%として、そのうちそれの研究活動等の実施に必要となる時間の配分率（%）を記入してください。「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた全仕事時間を指します。  
なお、科研費においては、重複応募は可能であっても、複数の研究期間を指します。  
研究種目（特別推進研究等）を記載する場合は、「ー」と記入してください。  
また、競争的資金制度により研究を行う場合には、当該研究活動に係るエフォートを必ず記入してください。本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定していただき、e-Radに登録することとなります。

(6) 「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」  
応募中又は受入予定の研究費と本応募研究課題の研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由について、焦点を絞って明確に記入してください。  
なお、科研費の研究代表者である場合は、研究期間全体の直接経費の総額を当該欄に記入してください。

<< 2つの細目を選択した場合>>

<< 1つの細目を選択した場合>>

機関番号	研究種目番号	審査区分番号	細目番号	分割番号	整理番号
00000	00	-	0000	-	0000

機関番号	研究種目番号	審査区分番号	細目番号	分割番号	整理番号
00000	00	-	0000	-	0000

### 平成28年度(2016年度)若手研究(B) 研究計画調書

平成XX年XX月XX日  
1版

新規		平成28年度(2016年度)若手研究(B) 研究計画調書		平成XX年XX月XX日 1版	
研究種目		若手研究(B)		研究種目 若手研究(B)	
分野	分科	細目	細目表	研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)
細目	細目表 キーワード	細目表 キーワード	細目表以外の キーワード	年齢 (H28.4.1現在)	0歳(S. 年 月生まれ)
細目表 キーワード	細目表以外の キーワード	細目表 キーワード	細目表以外の キーワード	所属研究機関	
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)	年齢 (H28.4.1現在)	0歳(S. 年 月生まれ)	部局	
年齢 (H28.4.1現在)	所属研究機関	職		学位	修士 100%
部局				現在の専門	修士 100%
職				研究課題名	
学位				研究経費	研究経費 (千円)
現在の専門				研究経費	研究経費 (千円)
研究課題名				研究経費	研究経費 (千円)
研究絏費 <small>〔千円未満の 端数は切り捨てる〕</small>	年度 平成28年度	研究絏費 (千円)	設備備品費	設備備品費	使用内訳(千円)
	平成29年度		消耗品費	消耗品費	
	平成30年度		旅費	旅費	
	平成31年度		人件費・謝金	人件費・謝金	
	総計		その他	その他	
開示希望の有無	審査結果の開示を希望する				

**研究目的**  
 本欄には、研究の全体制想及びその中の本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。  
 研究費助成事業における審査及び評価に関する規程（公募要領75頁参照）を参考にしてください。  
 ① 研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）  
 ② 研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするか、  
 ③ 当該分野における本研究の学術的新色・独創的な点及び予想される結果と意義

**研究目的（概要）※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。**

**研究目的（つづき）**

## 研究計画・方法（つづき）

**研究計画・方法**

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成28年度の計画と平成29年度以降の計画に分けて、適宜文献引用しつ記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べることも、次の点についても、次の方針についても、具体的かつ明確に記述してください。

① 本研究を遂行するまでの具体的な工夫（効果的に研究を進める上でのアイディア、効率的に研究を進めるための研究協力者からの支援等）

② 研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者及び研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他の技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の具体的な役割（図表を用いる等）

③ 研究代表者が、本研究とは別に職務として行う研究のために雇用されている者である場合、または職務ではないが別に行う研究がある場合には、その研究内容と本研究との関連性及び相違点（なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください）。

**研究計画・方法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。**

**若手（B）-5**

<b>研究業績</b>	<p>本欄には、これまでに発表した論文、著書、産業財産権・招待講演のうち、本研究に関連するものを選定し、現在から順に差表示</p> <p>年次を過去にさかのぼり、発表年（西暦）毎に線を引いて区別（線は移動可）、通し番号を付して記入してください。なお、学</p> <p>術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、推薦が決定しているものに限ります。</p> <p>なお、研究業績については、主に2011年以後の業績を中心記入してください。それ以前の業績であっても本研究に深く関わる</p> <p>ものや今までに発表した主要な論文等（10件以内）を記入しても構いません。</p> <p>① 例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、著譜の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入して</p> <p>ください。</p> <p>② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以</p> <p>下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、研究代表者には下線を付けて</p> <p>ください。</p> <p>2015以降</p>
2014	
2013	
2010以前	

**若手（B）-6**

<b>研究業績（つづき）</b>	2012

**研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性**

・本欄には、本応募の研究代表者が、平成26年度又は平成27年度に、「特別推進研究」、「基礎研究（S）」又は「若手研究（S）」の研究代表者として、研究進捗評価を受けた場合に記述してください。  
 ・本欄には、研究計画と研究進捗評価を受けた研究課題の関連性（どのような関係にあるのか、研究進捗評価を受けた研究を具体的にどのように発展させるのか等）について記述してください。

**今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法**

本欄には、次の点について、要点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。  
 ① 本研究等を実施するための研究費・研究施設・設備・研究資料等  
 ② 研究能力者が多い場合には、必要に応じその者との連絡調整の状況など、研究着手に向けての状況  
 ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

**研究歴**

本欄には、最終学校卒業後の研究履歴を現在から順に年度をさかのぼって記入してください。その際、どのような研究を行ってきたのか、研究内容とともに特筆すべき事項（受賞歴等）を簡潔に記入してください。

**若手 (B) - 9****人権の保護及び法令等の遵守 (公募要領4頁参照)**

本欄には、研究計画を遂行するに当たつて、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究などと法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
例えば、個人情報を伴うアンケート調査、インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組織えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。  
なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

**研究経費の要当性・必要性**

本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。また、研究計画のいづれかの年次において、各費目（設備備品費・旅費・人件費・謝金）が全体の研究経費の90%を超える場合及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性を記述してください。

**若手 (B) - 10**

(金額単位：千円)

設備備品費の明細		消耗品費の明細		
記入に当たっては、若手研究 (B) 研究計画調書作成・記入要領を参考してください。		記入に当たっては、若手研究 (B) 研究計画調書作成・記入要領を参考してください。		
年度	品名・仕様 (数量×単価) (設置機関)	品名	金額	金額
28				

**研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

本欄は第2段審査（会議審査）において、「研究費金の不合理な重複や過度の集中にならない」、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参考することとしますので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただきが必要があります。本応募課題の研究代表者の応募時点における、（1）応募中の研究費、（2）受入予定の研究費、（3）その他の活動について次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。

① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち該研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記入してください。

② 本応募中の研究費欄には、本応募研究課題を記入してください。

③ 「研究費の種別」欄の先頭には、「計画研究」「公募研究」の別を記入してください。

④ 所属研究機関内で競争的・配分される研究費についても記入してください。

**（1）応募中の研究費**

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）		研究課題名（研究代表者氏名）		代表割合	平成28年度の研究経費（総額全額の割合）	研究内容の沿革及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由（研究費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること）
年度	事項	金額	事項			
28	国内旅費 事項	金額	国外旅費 事項	金額	事項	金額

（総額 千円）

**旅費等の明細** 記入に当たっては、若手研究（B）研究計画調書作成・記入要領を参照してください。

年度	事項	金額
28	旅費等の明細	金額

研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）			
(2) 受入予定の研究費			
資金制度 研究費名 期間 （研究費名、研究費額等名）	研究課題名 （研究代表者氏 名）	役割 （代表・ 分担の 別）	平成28年度 の研究経費 （費用全体の 割合）
			エフ ォー ト (%)
			研究内容の相違点及び他の研究費に加 えて本応募研究課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全 体の受入額を記入すること)
(3) その他の活動			
上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う 研究活動や教育活動等のエフオートを記入してください。			
合計			100 (%)
上記(1)、(2)、(3)のエフオートの合計			

## 平成28年度 経営研究課題 研究費計画調書（件）記入要領

この研究計画調書は、「基盤研究（S・A・B・C）」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究（A・B）」の継続研究課題のうち、研究計画の大幅な変更を行おうとする課題（①研究目的の変更・研究課題名の変更、②内約を受けた研究経費の変更年次計画の変更（補助金分のみ該当）、③研究経費の減額・研究期間の短縮等）が提出の対象となります。この他の継続研究課題については、提出の必要がありませんので注意してください。

なお、記入に当たっては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。

言己

※ 研究計画調書の作成に当たっては、公募要領に基づいて、研究代表者が責任を持つて作成願います。なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義については、公募要領3.1～3.2頁を参照してください。

※ 所定様式の改変は認めません。

※ 英語で記入された研究計画調書も受け付けます。

## 応募内容ファイル（添付ファイル項目）

以下の項目は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（PDFファイル）の後半部分を構成することになります。

研究代表者は、「応募内容ファイル（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものと、「電子申請システム」にアクセスして添付してください（3MB以上のファイルは添付不可）。

- 作成に当たっては、下記の指示及びそれとの記載している指示に従い、下記（1）、（3）については、11ポイント以上の文字等を使用して記入してください。
- なお、次のような研究計画は公募の対象としていませんので、ご注意ください。
- ① 単に既製の研究機器の購入を目的とする研究計画
  - ② 他の経費で措置されるのがふさわしい大型研究装置等の製作を目的とする研究計画
  - ③ 商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究計画（商品・役務の開発・販売等に係る市場動向調査を含む。）
  - ④ 企業として行う受託研究
  - ⑤ 研究期間のいずれかの年度における研究経費の額が100万円未満の研究計画
- また、今回応募する研究種目にについて、「競争的資金の適正な執行に関する指針」（公募要領5頁参照）に示される「不合理な重複」の考え方には、審査の段階で「不合理な重複」と判断される可能性がありますので、研究計画調書を作成する際には、十分に御留意ください。

(1) 「研究目的」、「平成27年度までの研究経過」、「平成27年度までの研究の評価」、「平成28年度以降の研究計画・方法」、「当初計画との変更点」、「研究経費の妥当性・必要性」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(2) 「研究成果の差異状況」欄

この研究の成果に關して、学術誌等に発表した論文（著者名、論文名、掲載誌名、査読の有無、卷、最初と最後の頁、発表年（西暦）及び学会等における発表状況について記入してください。

(3) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄

研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する研究など法律等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

(4) 「設備品費の明細」欄には、次のこととに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

多数の図書、資料を購入する場合は「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度、図書、資料の内容が判明するような表現で記入してください。また、機械器具の場合は、単に○○○一式とするだけなく、その内訳も記入してください。

(5) 「消耗品費の明細」欄には、薬品、実験用動物、ガラス器具等その品名毎に記入し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

(6) 「旅費等の明細」欄には、次のことに留意し、それを各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。

## I 応募情報（We b 入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「応募情報（We b 入力項目）」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。

応募情報（We b 入力項目）は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDFファイル）の前半部分を構成することになります。

応募情報（We b 入力項目）に係る作成・入力要領は、「平成28年度応募情報（We b 入力項目）（基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B））作成・入力要領」を参照してください。

### （We b 入力項目）

1. 新規・継続区分（「継続」を選択し、該当する課題番号を入力）
2. 研究計画最終年度前年度応募の有無（審査区分「一般」と「海外」のみ。「該当しない」を選択）
3. 細目番号・分割番号（審査区分「海外」と「特設分野」以外）
4. 審査希望分野（審査区分「海外」と若手研究（B）のみ）・関連する細目番号（審査区分「海外」のみ）
5. 分野名（審査区分「特設分野」のみ）
6. 細目表キーワード・細目表以外のキーワード（審査区分「海外」以外）
7. 研究代表者氏名
8. 年齢（若手研究のみ）
9. 所属研究機関・部局・職
10. 学位・現在の専門・エフォート（若手研究のみ）
11. 研究課題名
12. 研究概要（審査区分「特設分野」のみ）
13. 研究経費
14. 研究代表者連絡先（基盤研究（S）と審査区分「特設分野」のみ）
15. 研究組織（若手研究以外）

- ① 旅費は、国内旅費及び外国旅費に分けて、研究代表者、研究分担者、連携研究者及び研究協力者の海外・国内外張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等その事項毎に記入してください。
- ② 人件費・謝金は、資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配付・回収、研究資料の収集等を行う研究協力者（ボストドクター・リサーチアシスタント（RA）・外国の機関に所属する研究者等）に係る謝金、報酬、賃金、給与、労働者派遣業者への支払いのための経費等その事項毎に記入してください。  
(例：資料整理（内訳：○人×○月）・△△△千円)

- ③ その他は、上記のほか当該研究を遂行するための経費（例：印刷費、複写費、現像・焼付費、通信費（切手、電話等）、運搬費、研究実施場所借り上げ費（研究機関の施設において補助事業の遂行が困難な場合に限る）、会議費（会場借料、食事（アルコール類を除く）費用等）、リース・レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具等）、機器修理費用、旅費以外の交通費、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成績広報用パンフレット作成費用、一般市民を対象とした研究成果広報活動費用等）、実験廃棄物処理費）等その事項毎に記入してください。

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学年 役割分担	平成28年度 研究経費 （千円）	平成29年度 エフオ ート （%）
研究代表者	00000000 (00)	(00000)	(00)		
研究分担者	00000000 (00)	(00000)	(00)		
連携研究者	00000000 (00)	(00000)	(00)		
合計	000 名				

## 平成28年度（2016年度）基盤研究（S）研究計画調書

平成XX年XXX月XXX日  
版継続（研究計画の大変な変更を行おうとする課題）  
(00000000)

研究種目	基盤研究(S)	研究課題名				
分野						
分科						
細目						
細目表 キーワード 細目表以外の キーワード						
研究代表者 氏名 (漢字等)	(フリガナ) (漢字等)					
所属研究機関 部局						
職						
研究經費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年 度	研究経費 (千円)	設備備品費	消耗品費	旅費	使用内訳 (千円)
平成28年度						
平成29年度						
平成30年度						
平成31年度						
平成32年度						
総計						
開示希望の有無	審査結果の開示を希望しない					
研究計画最終年度前年度応算	—					
合計	00 名					
研究經費合計						

00000-00-0-0000-0-0000

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学習 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) (000)	(00000) (000)		
研究分担者	00000000 (00) (000)	(00000) (000)		
連携研究者	00000000 (00) (000)	(00000) (000)		
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

## 平成28年度（2016年度）基盤研究（A）（一般）研究計画調書

平成XX年XX月XX日  
版継続（研究計画の大変な変更を行おうとする課題）  
(00000000)

研究種目	基盤研究(ア)	审査区分	一般				
分野							
分科			-				
細目							
細目表							
キーワード							
細目表以外の キーワード							
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)						
所属研究機関							
部 局							
職							
研究課題名							
	年度	研究経費 (千円)	設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
研究 経 費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	平成28年度						
	平成29年度						
	平成30年度						
	平成31年度						
	平成32年度						
	総計						
開示希望の有無	審査結果の開示を希望しない						
研究計画最終年度前年度応募	-						

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局職種	現在の専門 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) (000)	(00000) (00)		
研究分担者	00000000 (00) (000)	(00000) (00)		
連携研究者	00000000 (00) (000)	(00000) (00)		
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

平成XX年XX月XX日 1版

## 平成28年度（2016年度）基盤研究（B）（一般）研究計画調書

継続（研究計画の大変な変更を行おうとする課題）  
(00000000)

研究種目	基盤研究(B)	審査区分	一般	
分野				
分科			-	
細目			-	
細目表、 キーワード、 細目表以外の キーワード				
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)			
所属研究機関				
部局				
職				
研究課題名				
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 総計	研究経費 (千円) 設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他	使用内訳(千円)	審査結果の開示を希望しない 研究計画最終年度応募 一

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00)	(00000)	(000)	
研究分担者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
連携研究者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

平成XX年XX月XX日 1版

## 平成28年度（2016年度）基盤研究（C）（一般）研究計画調書

継続（研究計画の大変な変更を行おうとする課題）  
(00000000)

研究種目	基盤研究(C)	審査区分	一般	
分野				
分科				
細目				
細目表 キーワード				
細目表以外の キーワード				
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)			
所属研究機関				
部局				
職				
研究課題名				
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 総計	研究経費 (千円) 設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金	使用内訳(千円) その他	審査結果の開示を希望しない
研究計画最終年度応募	—			

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学年 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) 0000 (00)	(00000) (00)		
研究分担者	00000000 (00) 研究分担者 連携研究者 連携研究者	(00000) (00) (00)		
連携研究者	00000000 (00) 連携研究者	(00000) (00)		
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

## 平成28年度（2016年度）基盤研究（A）（海外学術調査）研究計画調書

平成XX年XX月XX日  
1版継続（研究計画の大幅な変更を行おうとする課題）  
(00000000)

研究種目	基盤研究(A)	审査区分	海外学術調査
審査希望分野			
関連する細目			
研究代表者 氏名	(アリガナ) (漢字等)		
所属研究機関			
部 局			
職			
研究課題名			
	年度	研究経費 (千円)	使用内訳(千円) 設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・輸送費 その他
研究経費 (千円未満の 端数は切り捨てる)	平成28年度		
	平成29年度		
	平成30年度		
	平成31年度		
	平成32年度		
	総計		
開示希望の有無	審査結果の開示を希望しない		
研究計画最終年度前年度応募	—		
合計	00 名		研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学習 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) 研究分担者 連携研究者	(00000) (00) (00)	(00000) (00) (00)	(00000)
研究代表者	00000000 (00)	(00000)	(00000)	(00000)
研究分担者	00000000 (00)	(00000)	(00000)	(00000)
連携研究者	00000000 (00)	(00000)	(00000)	(00000)
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

## 平成28年度(2016年度)基盤研究(B) (海外学術調査)研究計画調書

平成XX年XX月XX日  
1版継続（研究計画の大幅な変更を行おうとする課題）  
(00000000)

研究種目	基盤研究(B)	审査区分	海外学術調査
審査希望分野			
関連する細目			
研究代表者 氏名	(アリガナ) (漢字等)		
所属研究機関			
部 局			
職			
研究課題名			
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度 総計	研究経費 (千円) 設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・輸送費 その他	使用内訳 (千円)
顯示希望の有無	審査結果の開示を希望しない		
研究計画最終年度前年度応募	—		

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学年 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
研究分担者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
連携研究者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
合計	00000000 (00)	(00000)	(00)	

平成XX年XX月XX日  
版

## 平成28年度（2016年度）基盤研究（B）（特設分野研究）研究計画調査書

継続（研究計画の大幅な変更を行おうとする課題）  
(00000000)

研究種目	基盤研究(B)	審査区分	特設分野研究				
分野名							
キーワード							
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)						
所属研究機関							
部 局							
職							
研究課題名							
研究の要約							
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	平成28年度						
	平成29年度						
	平成30年度						
	平成31年度						
	平成32年度						
	総計						
開示希望の有無	審査結果の開示を希望しない						
	研究経費合計						
	00000-00-0-0000-0000						

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学年 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 （千円）
研究代表者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
研究分担者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
連携研究者	00000000 (00)	(00000)	(00)	
合計	00000000 (00)	(00000)	(00)	

平成XX年XX月XX日  
版

## 平成28年度（2016年度）基盤研究（C）（特設分野研究）研究計画調査書

継続（研究計画の大幅な変更を行おうとする課題）  
(00000000)

研究種目	基盤研究(C)	審査区分	特設分野研究				
分野名							
キーワード							
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)						
所属研究機関							
部 局							
職							
研究課題名							
研究の要約							
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	平成28年度						
	平成29年度						
	平成30年度						
	平成31年度						
	平成32年度						
	総計						
開示希望の有無	審査結果の開示を希望しない						
	研究経費合計						
	00000-00-0-0000-0000						

## 研究組織（研究代表者、研究分担者及び連携研究者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局 職種	現在の専門 学年 役割分担	平成28年度 エフオ 研究経費 (千円)
研究代表者	00000000 (00) 研究代表者	(00000) 研究分担者	(000) 連携研究者	(00)
研究分担者	00000000 (00) 研究分担者	(00000) 連携研究者	(000) 連携研究者	(00)
連携研究者	00000000 (00) 連携研究者	(00000) 連携研究者	(000) 連携研究者	(00)
合計	00 名			研究経費合計 00000-00-0-0000-0-0000

## 平成28年度（2016年度）挑戦的萌芽研究 研究計画調査

平成 XX 年 XX 月 XX 日  
1版継続（研究計画の大変更を行おうとする課題）  
(00000000)

研究種目	挑戦的萌芽研究					
分野						
分科						
細目						
細目表 キーワード						
細目表以外の キーワード						
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)					
所属研究機関 部 局						
職						
研究課題名						
年度	研究経費 (千円)	設備購入費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
平成28年度						
平成29年度						
平成30年度						
総計						
研究希望の有無	審査結果の開示を希望しない					

機関番号	研究項目番号	審査区分番号	細目番号	分割番号	整理番号
00000	00	-	0000	0	0000

平成28年度(2016年度)若手研究(A) 研究計画調書

平成XX年XX月XX日  
1版

継続(研究計画の大幅な変更を行おうとする課題)  
(00000000)

研究種目	若手研究(A)
分野	
分科	
細目	
細目表キーワード	
細目表以外のキーワード	
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)
年齢 (H28.4.1現在)	0歳(S.年月生まれ)
所属研究機関	
部局	
職	
学位	
現在の専門	エコート 00%
研究課題名	

機関番号	研究項目番号	審査区分番号	細目番号	分割番号	整理番号
00000	00	-	0000	0	0000

平成28年度(2016年度)若手研究(B) 研究計画調書

平成XX年XX月XX日  
1版

継続(研究計画の大変更を行おうとする課題)  
(00000000)

研究種目	若手研究(B)
分野	
分科	
細目	
細目表キーワード	
細目表以外のキーワード	
研究代表者 氏名	(フリガナ) (漢字等)
年齢 (H28.4.現在)	0歳(S.年月生まれ)
所属研究機関	
部局	
職	
学位	
現在の専門	エコート 00%
研究課題名	

研究經費	年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 総計	研究經費 (千円) 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 開示希望の有無	使用内訳(千円) 設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他 〔千円未満の端数は切り捨てる〕	研究經費 (千円) 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 総計	使用内訳(千円) 設備備品費 消耗品費 旅費 人件費・謝金 その他 〔千円未満の端数は切り捨てる〕
開示希望の有無	審査結果の開示を希望しない				

**継続-1**

<b>研究目的</b>	本欄には、研究の全体構想及びその中の本研究の具体的な目的について、冒頭にその趣要を簡潔にまとめて記述してください。 宜文歴を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。（記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に際する規程」（公募要領7・5頁参照）を参考にしてください。） ① 研究目的（研究費の交付を希望する期間内に何をどうして明らかにしようとするのか） ② 当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義 ③ 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ
<b>研究目的（概要）※</b>	当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。

**継続-2**

<b>平成27年度までの研究経過</b>	本欄には、研究の進展状況、新たに得られた知見を記述してください。
----------------------	----------------------------------

**平成28年度以降の研究計画・方法**

本欄には、平成28年度以降の研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、平成28年度の計画と平成29年度以降の計画について述べるとともに、次の点についても、要点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

① 研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに研究計画である場合は、研究分担者の具体的な役割（困難を用いる等）、学術的観点から他の研究組織との関連性、妥当性及び研究費への応募資格を有しない企業の研究者、その他の技術者や専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可）の役割についても記述してください。

② 研究者が、本研究とは別に職務として行う研究のために雇用されている場合、または職務ではないが別に行う研究がある場合には、その研究内容と本研究との関連性及び相違点

③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わった場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述してください。

**研究計画・方法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。****平成27年度までの研究の評価**

本欄には、当初に計画した研究目的、研究計画・方法に対し、どこまで達成されたか。また、研究遂行上に生じた学術上の問題点等について記述してください。

## 継続－5

**当初計画との変更点**  
本欄には、研究計画・方法、設備及び主な研究経費等について、科研費の交付を受けた当初の内容と、これを変更する場合にはその変更点及びその理由を記述してください。

<b>研究成績の発表状況</b> 本欄には、この研究の成果に関して、学術誌等に発表した論文（著者名、論文名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）及び学会等における発表状況並びに社会・国民への発信状況について記入してください。
---

## 継続－6

### 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領4頁参照）

本欄には、研究計画に対する当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  
例えば、個人情報を用いたアンケート調査・インターネット調査・インタビュー調査・動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

<b>研究費の妥当性・必要性</b> 本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模・研究体制等を踏まえ、次頁以降に記述する研究経費の妥当性・必要性、预算概要について記述してください。また、各項目（設備備品費、旅費、人件費、謝金）が全体の研究経費の90%を超える場合は、各項目の額を記述してください。
---

**研究費の妥当性・必要性**  
本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模・研究体制等を踏まえ、次頁以降に記述する研究経費の妥当性・必要性、预算概要について記述してください。また、各項目（設備備品費、旅費、人件費、謝金）が全体の研究経費の90%を超える場合は、各項目の額を記述してください。

**継続-8**

(金額単位：千円)

旅費等の明細						
年度	記入に当たっては、継続研究課題 研究計画調書作成・記入要領を参照してください。		記入に当たっては、継続研究課題 研究計画調書作成・記入要領を参照してください。		記入に当たっては、継続研究課題 研究計画調書作成・記入要領を参照してください。	
	国内旅費 事項	金額	国外旅費 事項	金額	人件費・勘定 事項	金額
28						

**継続-7**

(金額単位：千円)

消耗品費の明細			
記入に当たっては、継続研究課題 研究計画調書作成・記入要領を参照してください。			
年度	品名・仕様 (数量×単価)	金額	金額
28			

## 科学研究費助成事業研究分担者承諾書（他機関用）

研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名

研究分担者の所属研究機関番号等  
印研究種目名  
研究課題名

(研究期間 平成 年度～平成 年度)

標記研究課題について、研究計画の遂行に關して研究代表者と協力しつつ、補助事業として研究遂行責任を分担して研究活動を行う研究分担者となることを承諾します。  
 また、科研費の補助条件（交付条件）及び以下の内容を理解し、遵守するとともに研究代表者から分担金の配分を受け科研費を適正に使用することを約束します。

- ・学術研究に対する国民の負託及び科研費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、科研費を適正かつ効率的に使用することも、研究において不正行為を行わないことを約束します。
- ・当該研究課題の交付申請前まで（交付決定後においては、研究代表者が日本学術振興会に研究分担者の変更承認申請を行った場合に限り）、日本学術振興会が日本学術振興会に研究分担者の心得（「科学の健全な発展のために一誠実な科学者の心得－日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会、CITI Japan e-Learningプログラム等）の通読・履修をすること、または、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成26年8月26日 文部科学大臣決定）を踏まえ研究機関が実施する研究倫理教育の受講をすることが

研究分担者の所属研究機関・部局・職・氏名  
印研究分担者の所属研究機関番号等  
研究分担者の所属研究機関番号等  
印

機 関 番 号	部 局 番 号	職 番 号	研 究 者 番 号

本機関に所属する上記の者が標記研究課題の研究分担者となることを承諾します。  
 上記の者は、科研費の公募要領に定める応募資格を有する者とともに、科研費及びそれ以外の競争的資金の不正な使用等に伴う科研費の交付対象から除外されている者ではありません。

研究分担者の所属研究機関長の職・氏名・職印  
研究分担者の所属研究機関長の職・氏名・職印  
印

機 関 番 号	部 局 番 号	職 番 号	研 究 者 番 号

研究分担者の所属研究機関番号等  
研究分担者の所属研究機関番号等  
印

- 注. 1 所属機関長の職・氏名・職印欄は、学部長、附置研究所等の部局の長が承諾書に捺印する研究分担者の所属機関に關するものであります。
- 注. 2 同一の研究課題について、同一の研究機関から複数の研究分担者が参加しているときは、これらの部局部局・職・氏名・職印及び「研究分担者の所属研究機関番号等」欄に連記して差し支えありません。
- 注. 3 研究分担者は、内容を確認の上、氏名・研究者番号を必ず記入してください。研究者番号の記入に当たっては、所属研究機関の事務局に問い合わせの上、誤りの無いよう記入してください。
- 注. 1 所属機関長の職・氏名・職印欄は、学部長、附置研究所等の部局の長が承諾書に捺印する研究分担者の所属機関に關するものであります。
- 注. 2 同一の研究課題について、同一の研究機関から複数の研究分担者が参加しようとする場合は、「研究分担者の所属研究機関番号等」欄に連記して差し支えなりません。
- 注. 3 研究分担者は、内容を確認の上、氏名・研究者番号を必ず記入してください。研究者番号の記入に当たっては、所属研究機関の事務局に問い合わせの上、誤りの無いよう記入してください。

平成27年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究種目名を記入）の補助事業完了届  
独立行政法人日本学術振興会理事会長 聞

平成27年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究種目名を記入）の補助事業完了届  
〔印〕

平成 年 月 日

研究代表者 所属研究機関・部局・職・氏名

〔印〕

機関番号

記

平成27年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究種目名を記入）の補助事業について、当初の研究計画における到達目標を達成したため、下記のとおり完了し、当該補助事業の翌年度以降の内約を辞退しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

(1) 課題番号

記

(1) 課題番号 2 6 2 3 4 5 6 7

- 164 -

〔印〕

(2) 研究課題名

○○○○○にに関する研究

(3) 交付決定額

円…①+②	6, 500, 000 円…①+②
うち直接経費	5, 000, 000 円…①
間接経費	1, 500, 000 円…②

(4) 補助金の使用状況

1) 既受領額

(前期分)

直接経費	3, 500, 000 円…③
間接経費	1, 050, 000 円…④

(後期分)

直接経費	1, 500, 000 円…⑤
間接経費	450, 000 円…⑥

(2) 支出額

直接経費	4, 000, 000 円…⑦
間接経費	〔⑦×30%〕 1, 200, 000 円…⑧ (②=「0」であれば「0」を記入) (円未満切り捨て)

(3) 未使用額

直接経費 〔③+⑤-⑦〕 1, 000, 000 円…⑨

間接経費 〔④+⑥-⑧〕 300, 000 円…⑩ (〔⑨+⑩〕=返還金額)

(5) 補助事業の完了年月日

平成27年10月15日

(6) 補助事業の完了理由書

別紙のとおり

平成27年○○月○○日

○○大学○○学部・教授 ○○ ○○

機関番号 1 2 3 4 5

研究者番号 1 0 2 3 4 5 6 7

平成27年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（基盤研究（A））の補助事業完了届  
到達目標を達成したため、下記のとおり完了し、当該補助事業の翌年度以降の内約を辞退しますので、よろしくお取り計らい  
願います。

記

## 様式 U-1-1 [作成上の注意]

様式U-1-1 別紙

平成27年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究種目名を記入）の補助事業完了理由書	
平成 年 月 日 〔印〕	平成 年 月 日
研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名	
平成 年 月 日付で完了した平成27年度科学的研究費助成事業（科学研究費補助金）（研究種目名を記入）の補助事業については、次のとおり当初の研究計画に達成しております。	
<p>〔1〕完了した研究課題について</p> <p>〔①研究種目名、②研究課題名、③当初研究期間、④年度毎の当初交付額（内約額含む）、⑤年度毎の実使用額、を記述してください。〕</p>	
<p>〔2〕当該研究課題の研究計画調査に記載した到達目標</p> <p>〔①研究種目名、②研究課題名、③当初研究期間、④年度毎の当初交付額（内約額含む）、⑤年度毎の実使用額、を記述してください。〕</p>	

<p>〔1〕完了した研究課題について</p> <p>〔①研究種目名、②研究課題名、③当初研究期間、④年度毎の当初交付額（内約額含む）、⑤年度毎の実使用額、を記述してください。〕</p>	
<p>〔2〕当該研究課題の研究計画調査に記載した到達目標</p> <p>〔①研究種目名、②研究課題名、③当初研究期間、④年度毎の当初交付額（内約額含む）、⑤年度毎の実使用額、を記述してください。〕</p>	

1 . ごの補助事業完了届は、研究が予想以上に進展し、継続研究課題の当初の到達目標を既に達成したため、研究種目を変えて更なる研究開発展を目指す場合に、研究代表者が作成し、研究機関を通じて平成27年10月23日（金）**必書**までに日本学術振興会研究事業部研究助成第一課に提出すること。「研究種目を変えて更なる研究開発を目指す場合」とは、「基礎研究（C）（一般）」から「基礎研究（B）（一般）」へ変更する場合などであるが、「基礎研究（A）（一般）」から「基礎研究（A）（海外学術調査）」など、審査区分のみを含む。また、新たに応募する研究課題の研究種目とも同じで、新たな届出書を提出する必要がないので注意すること。

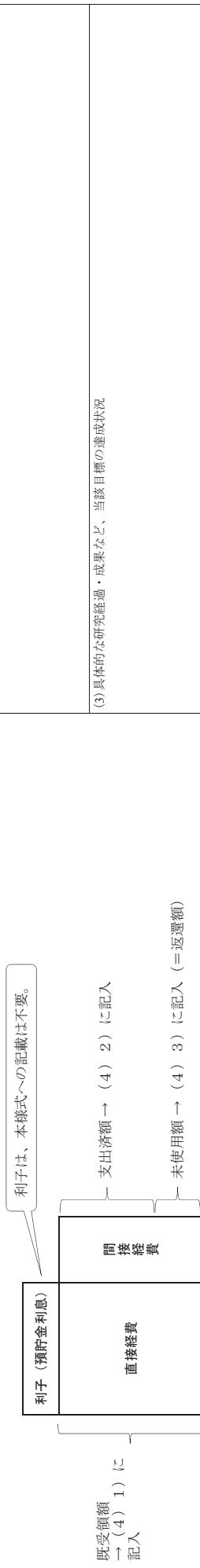
2 . 「(3) 交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の交付決定額を記入すること。（間接経費交付決定額変更申請や調整金による次年度使用や前倒し使用を行うなど交付決定額を変更した場合は、変更後の交付決定額を記入すること。）なお、間接経費の交付を受けない場合は、この欄を含め全ての間接経費欄に「0」を記入すること。

3 . 「(4) 1) 既受領額」欄には、既に受領している金額を前期・後期と分けて記入すること。  
9月30日までに受領した分については前期分に、10月1日以後に受領した分については後期分に含めて記入すること。

4 . 「(4) 2) 支出済額」欄には、この申請書の提出時の支出済額（利子を除く。）を記入すること。

5 . 「(4) 2) 支出済額」欄の⑧の間接経費の額は、円未満を切り捨てた額を記入すること。

### 補助金の使用状況



5 . 「(5) 補助事業の完了年月日」欄には、研究が完了した年月日を記入すること。  
なお、補助金の交付を受けていた研究課題は、この届出書を提出する前に完了していなければならぬことに注意すること。

**【電子申請システムを利用して応募の手続に係る注意事項】**  
日本学術振興会科研費電子申請システムを利用した新たな研究課題の応募は、平成27年1月2日より受付が可能となる予定であり、それ以前にアクセスした場合には、重複応募の制限により応募が受け付けられないもので注意すること。

参考：平成28年度の応募研究課題】			
研究種目名	研究課題名	審査区分	細目名（細目番号）
応募経費（千円）	計		
(内訳：H28	H29	H30	H31 H32 )

## 平成27年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（基盤研究（A））の補助事業完了理由書

## 様式 U-1-1 別紙 [作成上の注意]

平成27年〇〇月〇〇日

○○大学〇〇学部・教授 ○○ ○○ [印]

1. この補助事業完了理由書は、研究が予想以上に進展し、継続研究課題の当初の到達目標を既に達成したため、研究種目を変えて更なる研究発展を目指す場合に、研究代表者が様式U-1-1「補助事業完了届」に添付し、研究機関を通じて平成27年10月23日（金）（必着）までに日本学術振興会研究事業部研究助成第一課に提出すること。

(1) 完了した研究課題について  
〔①研究種目名、②研究課題名、③当初研究期間、④年度毎の当初交付額（内約額含む）、⑤年度毎の実使用額、を記述してください。〕

①基盤研究（A）  
②○○〇〇に関する研究  
③平成26年度～平成28年度

④平成26年度：13,500,000円  
平成27年度：5,200,000円  
平成28年度：0円

⑤平成26年度：13,500,000円  
平成27年度：5,200,000円  
平成28年度：0円

(2) 当該研究課題の研究計画調書に記載した達成目標

(3) 具体的な研究経過・成果など、当該目標の達成状況

1. この補助事業完了理由書は、研究が予想以上に進展し、継続研究課題の当初の到達目標を既に達成したため、研究種目を変えて更なる研究発展を目指す場合に、研究代表者が様式U-1-1「補助事業完了届」に添付し、研究機関を通じて平成27年10月23日（金）（必着）までに日本学術振興会研究事業部研究助成第一課に提出すること。

2. 「(1)完了した研究課題について」欄の「④年度毎の当初交付額（内約額含む）」、「⑤年度ごとの実使用額」欄には、直接経費と間接経費の合計額を記入すること。  
3. 「(2)当該研究課題の研究計画調書に記載した達成目標」欄には、応募の際、研究計画調書に記載した達成目標を簡潔に記入すること。

4. 「(3)具体的な研究経過・成果など、当該目標の達成状況」欄には、初年度以降、当該研究をどのように遂行し、その結果どのような成果を上げて目標を達成し、研究を完了することを具体的に記入すること。

5. 「参考：平成28年度の応募研究課題」欄には、平成28年度に新たに応募する研究課題の「研究種目名」、「審査区分」、「研究課題名」、「細目名（細目番号）」、「応募経費」について、正確に記載すること。

研究種目名	基盤研究（S）	審査区分	－	細目名（細目番号）	□□□□（〇〇〇〇）
研究課題名	△△△△にに関する研究				
応募経費（千円）	計 60,000 (内訳：H28 26,000 H29 15,000 H30 10,000 H31 5,000 H32 4,000 )				

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（研究種目名を記入）の補助事業完了届

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（若手研究（B））の補助事業完了届

平成 年 月 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名

〔印〕

機関番号

□□□□□□□□

研究者番号

□□□□□□□□

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（研究種目名を記入）の補助事業について、当初の研究計画における到達目標を達成したため、下記のとおり完了し、当該補助事業の翌年度以降の交付を辞退しますので、よろしくお取りください。願います。

## 記

(1) 課題番号 □□□□□□□□

(1) 課題番号 □2 6 2 4 6 3 5 7

(2) 研究課題名

(2) 研究課題名 ○○○○○に關する研究

(3) 交付決定額  
直接経費  
間接経費(3) 交付決定額  
直接経費  
間接経費

(4) 助成金の使用状況

1) 既受領額（累計）  
直接経費  
間接経費1) 既受領額（累計）  
直接経費  
間接経費2) 支出済額（累計）  
直接経費  
間接経費2) 支出済額（累計）  
直接経費  
間接経費※⑥〔⑤×30%（円未溝切り捨て）〕  
(ただし、前年度までに支出された間接経費は、直接経費の支出済額の30%を超える分も含めて構わない。)

3) 未使用額

直接経費  
間接経費3) 未使用額  
直接経費  
間接経費

(5) 補助事業の完了年月日

平成27年10月15日

(6) 補助事業の完了理由書  
別紙のとおり

〔印〕

〔印〕

(5) 補助事業の完了年月日

平成27年10月15日

(6) 補助事業の完了理由書  
別紙のとおり

## 様式 U-1-2 [作成上の注意]

様式U-1-2 別紙

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（研究種目名を記入）の補助事業完了理由書

平成 年 月 日  
〔印〕

研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名

- この補助事業完了届は、研究者が予想以上に進展し、研究課題の当初の到達目標を既に達成したこと。研究種目を変えて更なる研究発展を目指す場合に、研究代表者が作成し、研究機関を通じて平成27年10月23日（金）（必要）までに日本学術振興会研究事業部研究助成第一課に提出する。
- 「研究種目を変えて更なる研究発展を目指す場合」とは、「基礎研究（C）（一般）」から「基礎研究（B）（一般）」へ変更する場合などである。（「基礎研究（A）（一般）」から「基礎研究（A）（海外学術調査）」など、審査区分のみを変更する場合も含む。）また、新たに応募する研究種目と、完了した継続研究課題の研究種目との間に重複応募の制限が設けられない場合には、この届出書を提出する必要がないので注意すること。

2. 「（3）交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の交付決定額を記入すること。なお、間接経費の交付を受けない場合は、この欄を含め全ての間接経費欄に「0」を記入すること。

3. 「（4）1）既受領額（累計）」欄には、補助事業開始年度からこの申請書の提出時までに日本学術振興会から受領している助成金額（支払請求書等を提出していいる助成金がある場合は、その金額も含めること。）を記入すること。

4. 「（4）2）支出済額（累計）」欄には、補助事業開始年度からこの申請書の提出時までの支出額の累計額（利子を除く。）を記入すること。

5. 「（4）2）支出済額（累計額）」欄の④の間接経費の額は、田中欄を切り替えて額を記入する。ただし、前年度以前に受領した間接経費について、研究代表者又は研究分担者の所属する研究機関において、前年度中に間接経費が終了している場合には、⑤の直接経費の額に開わず執行済みの間接経費の額を加味して額を記入すること。

### 助成金の使用状況

利子（預貯金利息）	利子は、本様式への記載は不要。		
既受領額 →（4）1）に 記入	支出済額 → （4）2）に記入		
直接経費	間接経費		
		未使用額 → （4）3）に記入（=返還額）	

(1) 完了した研究課題について 〔①研究種目名、②研究課題名、③当初研究期間、④年度毎の請求額（予定額含む）、⑤年度毎の実使用額、を記述してください。〕			
(2) 当該研究課題の研究計画図面に記載した到達目標 〔①研究種目名、②研究課題名、③当初研究期間、④年度毎の請求額（予定額含む）、⑤年度毎の実使用額、を記述してください。〕			
(3) 具体的な研究経過・成果など、当該目標の達成状況			
研究種目名	審査区分	細目名（細目番号）	
応募経費（千円）	計	(内訳:H28 H29 H30 H31 H32 )	

【電子申請システムを利用して応募の手続に係る注意事項】  
日本学術振興会科学研究費助成事業電子申請システムを利用した新たな研究課題の応募は、平成27年1月2日（月）より受付が可能となる予定であること。  
この制限により応募を受け付けられないので注意すること。

【参考：平成28年度の応募研究課題】

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（若手研究（B））の補助事業完了理由書

平成27年○月○日

○○大学○○学部・教授 ○○ ○○ [印]

平成27年10月15日付で完了した科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（若手研究（B））の補助事業について、次のとおり当初の研究計画における到達目標を達成しています。

(1) 完了した研究課題について 〔①研究種目名、②研究課題名、③当初研究期間、④年度毎の請求額（予定額含む）、⑤年度毎の実使用額、を記述してください〕	
① 若手研究（B）	② ○○○○にに関する研究
③ 平成26年度～平成28年度	④ 平成26年度：1,300,000円
⑤ 平成27年度：1,300,000円	平成28年度：1,300,000円
平成26年度：1,300,000円	平成27年度：650,000円
平成28年度：0円	

(2) 当該研究課題の研究計画摘要に記載した到達目標

(3) 具体的な研究経過・成果など、当該目標の達成状況

【参考：平成28年度の応募研究課題】

研究種目名	若手研究（A）	審査区分	—	細目名（細目番号）	□□□□（○○○○○）
研究課題名 応募経費（千円）	△△△△にに関する研究 計 15,000 (内訳：H28 5,000)	H29 4,500	H30 3,500	H31 2,000	H32 —

## 平成27年度科学研究費助成事業（研究種目名を記入）の補助事業完了届

平成27年度科学的研究費助成事業（若手研究（A））の補助事業完了届

平成 年 月 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名

[印]

機関番号

[印]

○○大学○○学部・教授 ○○ ○○

〔印〕

研究者番号

[印]

機関番号 1 2 3 4 5

〔印〕

科学研究費助成事業（研究種目名を記入）の補助事業について、当初の研究計画における到達目標を達成したため、下記のとおり完了し、当該補助事業の翌年度以降の内約を辞退しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

科学的研究費助成事業（若手研究（A））の補助事業について、当初の研究計画における到達目標を達成したため、下記のとおり完了し、当該補助事業の翌年度以降の内約を辞退しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

(1) 課題番号 [ ]

(1) 課題番号 [2] 6 2 3 4 5 6 7

〔印〕

(2) 研究課題名

(2) 研究課題名 ○○○○○に関する研究

〔印〕

(3) 交付決定額

(3) 交付決定額

直接経費〔①〕	間接経費〔②〕	合計〔①+②〕
科学研究費補助金（平成27年度）		
学術研究助成基金助成金（期間全体）		

(4) 使用状況

(4) 使用状況

〔印〕

1) 既受領額

1) 既受領額

〔印〕

2) 支出済額

2) 支出済額

〔印〕

3) 未使用額

3) 未使用額

〔印〕

直接経費〔⑤〕	間接経費〔⑥〕	直接経費〔⑦〕	間接経費〔⑧〕	合計〔⑤+⑥〕	合計〔⑦+⑧〕
科学研究費補助金（平成27年度）					
学術研究助成基金助成金（累計額）					

※④ (②=「0」であれば「0」を記入)

※④ (②=「0」であれば「0」を記入)

〔印〕

直接経費〔⑤〕	間接経費〔⑥〕	直接経費〔⑦〕	間接経費〔⑧〕	合計〔⑤+⑥〕	合計〔⑦+⑧〕
科学研究費補助金（平成27年度）					
学術研究助成基金助成金（累計額）					

※⑥ (⑤×30%) (円未満切り捨て) (ただし、助成金については前年度までに支出された間接経費は、直接経費の支出済額の30%を超える分も含めて構わない。)

※⑥ (⑤×30%) (円未満切り捨て) (ただし、助成金については前年度までに支出了された間接経費は、直接経費の支出済額の30%を超える分も含めて構わない。)

直接経費〔⑤〕	間接経費〔⑥〕	直接経費〔⑦〕	間接経費〔⑧〕	合計〔⑤+⑥〕	合計〔⑦+⑧〕
科学研究費補助金（平成27年度）					
学術研究助成基金助成金（累計額）					

※⑦ (③-⑤) (円未満切り捨て)

※⑦ (③-⑤) (円未満切り捨て)

〔印〕

直接経費〔⑤〕	間接経費〔⑥〕	直接経費〔⑦〕	間接経費〔⑧〕	合計〔⑤+⑥〕	合計〔⑦+⑧〕
科学研究費補助金（平成27年度）					
学術研究助成基金助成金（累計額）					

※⑧ (④-⑥) (円未満切り捨て)

※⑧ (④-⑥) (円未満切り捨て)

〔印〕

直接経費〔⑤〕	間接経費〔⑥〕	直接経費〔⑦〕	間接経費〔⑧〕	合計〔⑤+⑥〕	合計〔⑦+⑧〕
科学研究費補助金（平成27年度）					
学術研究助成基金助成金（累計額）					

※⑨ (③-⑦) (円未満切り捨て)

※⑨ (③-⑦) (円未満切り捨て)

〔印〕

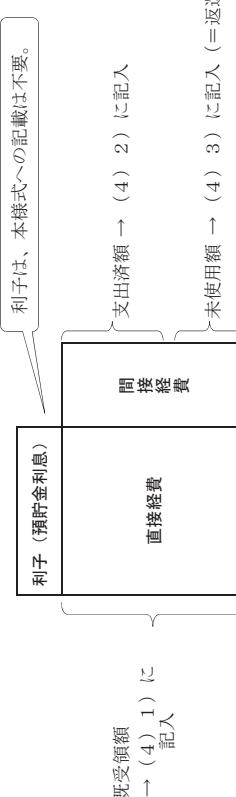
## 様式 U-1-3 [作成上の注意]

様式U-1-3 別紙

科学研究費助成事業（研究種目名を記入）の補助事業完了理由書

1 . ごの補助事業完了届は、研究が予想以上に進展し、継続研究課題の当初の到達目標を既に達成したため、研究種目を変えて更なる研究発展を目指す場合に、研究代表者が作成し、研究機関を通じて平成27年10月23日(金)必着までに日本学術振興会研究事業部研究助成第一課に提出すること。「研究種目を変えて更なる研究発展を目指す場合」とは、「基盤研究(B)（一般）」から「基盤研究(A)（一般）」へ変更する場合などである。（「基盤研究(B)（一般）」から「基盤研究(A)（一般）」へ変更する場合も含む。）また、新たに応募する研究種目との間に重複応募の制限が設けられない場合には、この届出書を提出する必要がないので注意すること。
2 . 「(3) 交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の交付決定額を記入すること（間接経費交付決定額変更申請を行なうなど交付決定額を変更した場合には、変更後の交付決定額を記入すること）。なお、間接経費の交付を受けない場合は、この欄を含め全ての間接経費欄に「0」を記入すること。
3 . 「(4) 1) 既受領額」欄には、科学研究費補助金については当該年度の受領額を、学術研究助成基金助成金については、研究開始年度からこの申請書の提出時までに日本学術振興会から受領している額の累計額を記入すること。
4 . 「(4) 2) 支出済額」欄には、科学研究費補助金については当該年度の支出額を、学術研究助成基金助成金については、研究開始年度からこの申請書の提出時までの支出額の累計額(利子を除く。)を記入すること。
5 . 「(4) 2) 支出済額」欄の④の間接経費の額は、円未満を切り捨てた額を記入すること。ただし、前年度以前に受領した助成金の間接経費について、研究代表者又は研究分担者の所属する研究機関において、前年度中に間接経費の執行が終了している場合には、その額を含めた額(必ずしも⑥=⑤×30%とはならない。)となるため、所属する研究機関に確認して記入すること。

### 使用状況



- 6 . 「(5) 補助事業の完了年月日」欄には、研究が完了した年月日を記入すること。  
なお、補助金及び助成金の交付を受けていた研究課題は、この届出書を提出する前に完了していることにはばならないことに注意すること。
- 【電子申請システムを利用した応募の手続に係る注意事項】  
日本学術振興会科学研究費助成事業電子申請システムの応募は、平成27年11月2日(月)より受付が可能となる予定であり、それ以前にアクセスした場合には、重複応募の制限により応募が受け付けられないことで注意すること。

【参考：平成28年度の応募研究課題】			
研究種目名	審査区分	細目名(細目番号)	
応募経費(千元)	計 (内訳：H28	H29	H30 H31 H32 )

## 様式 U-1-3 別紙 【作成上の注意】

科学研究費助成事業（若手研究（A））の補助事業完了理由書

平成27年○月○日

○○大学○○学部・教授 ○○ ○○ [印]

平成27年10月15日付で完了した科学研究費助成事業（若手研究（A））の補助事業については、次とおり当初の研究計画における到達目標を達成しています。

(1) 完了した研究課題について  
〔①研究種目名、②研究課題名、③当初研究期間、④年度毎の請求額（予定額含む）、⑤年度毎の実使用額、を記述してください。〕(2) 若手研究（A）  
○○○○にに関する研究

③ 平成26年度～平成28年度

④ 平成26年度：8,450,000円（科学研究費補助金4,550,000円 学術研究助成基金助成金3,900,000円）

平成27年度：3,250,000円（科学研究費補助金1,950,000円 学術研究助成基金助成金1,300,000円）

平成28年度：3,250,000円（科学研究費補助金4,550,000円 学術研究助成基金助成金1,950,000円）

⑤ 平成26年度：7,800,000円（科学研究費補助金4,550,000円 学術研究費補助金1,950,000円）

平成27年度：3,250,000円（科学研究費補助金1,950,000円 学術研究助成基金助成金1,300,000円）

平成28年度：0円

(2) 当該研究課題の研究計画調査書に記載した到達目標

(3) 具体的な研究経過・成果など、当該目標の達成状況

【参考：平成28年度の応募研究課題】

研究種目名	基礎研究（B）	审査区分	一般	細目名（細目番号）	□□□□（○○○○）
研究課題名	△△△△にに関する研究				
応募経費（千円）	計 20,000 (内訳：H28 10,000)	H29 5,000	H30 3,000	H31 2,000	H32 — )